

平成 27 年

農林水産業気象災害年報

平成 29 年 3 月

岩 手 県

目 次

I 気象の概況

1	年間の気象概況	1
2	旬別の気象概況	1
3	主な気象データ	4

II 農林水産物の生育状況

1	水稻	8
2	畑作物（小麦、大豆）	10
3	野菜（きゅうり、トマト、ピーマン、ほうれんそう、ねぎ、 キャベツ、レタス、だいこん）	11
4	花き（りんどう、小ぎく）	13
5	果樹（りんご、ぶどう）	14
6	飼料作物（牧草、とうもろこし）	16
7	特用林産物（乾しいたけ、まつたけ）	16
8	水産物（養殖わかめ、養殖こんぶ、養殖ほたてがい、養殖かき）	17

III 農林水産業気象災害の発生状況

1	1月7日の暴風雪災害	18
2	2月13日の暴風雪災害	20
3	3月9日から11日の大雨暴風雪災害	22
4	5月13日の地震災害	26
5	5月14日・17日の強風災害	27
6	6月4日の強風災害	29
7	6月6日の降雹災害	30
8	6月14日の降雹災害	31
9	6月16日の大雨・降雹災害	33
10	6月20日の落雷災害	35
11	6月27日から28日の大雨・波浪災害	37
12	7月25日の大雨災害	40
13	9月9日から11日の大雨災害	42
14	9月18日の大雨災害	47
15	5月から9月の暑熱災害	50
16	10月1日から2日の大雨暴風災害	58
17	10月8日の台風第23号災害	61
18	11月27日の強風災害	63

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 9月10日から11日の大雨災害 | 65 |
| 2 | 10月1日から2日の大雨・暴風災害 | 65 |
| 3 | 10月8日の台風第23号災害 | 66 |

V 参考資料

- | | | |
|---|------------------------|----|
| 1 | 農林水産部災害対策実施マニュアル | 67 |
| 2 | 農作物等気象災害防止対策本部設置要綱 | 84 |
| 3 | 農業共済事業の種類と仕組み | 88 |
| 4 | 漁業共済事業の種類と仕組み | 90 |
| 5 | 森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要 | 93 |
| 6 | 森林保険の制度と仕組み | 94 |
| 7 | 農作物災害対策要綱 | 95 |
| 8 | 農作物災害復旧対策事業の実施状況 | 96 |
| 9 | 平成元年以降の農林水産業気象災害 | 99 |

I 気象の概況

1 年間の気象概況

【天候の特徴】

- ・ 1月の少雪
- ・ 2月～3月の高温
- ・ 4月～7月の高温、少雨
- ・ 8月下旬の低温
- ・ 10月～12月の高温

1月は、平均気温が高めで推移し、降雪量が少なかった。

2月から3月にかけては、平均気温が高めで推移した。

4月から7月にかけては、全般的に降水量は少なく、平均気温は高めで推移した。

8月は、上旬は高温で経過したが、下旬は曇りや雨の日が続き、気温はかなり低かった。

9月は、前半は低気圧や前線の影響で雨の日が多かった。後半は、高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

10月から12月にかけては、高気圧に覆われて晴れる日が多く、平均気温は高めで推移した。

2 旬別の気象概況 ※岩手県の天候のまとめ（盛岡地方気象台作成）より抜粋

〈1月〉：平均気温が高い、降雪量が少ない

上旬：冬型の気圧配置となる日が多かった。内陸の山沿いでは曇りの日が多く、沿岸部では晴れの日が多かった。6日から7日にかけて冬型の気圧配置が強まり、岩泉・釜石・久慈で1月の日最大風速の極値を更新した。

中旬：低気圧と高気圧が交互に日本付近を通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり内陸では曇りや雪の日が多く沿岸部では晴れの日が多かった。

下旬：低気圧と高気圧が交互に日本付近を通過した。低気圧は三陸沖を通過したため、沿岸部では曇りや雨の日が多かった。

〈2月〉：平均気温が高い、日照時間が少ない

上旬：冬型の気圧配置となる日が多く、曇りや雪の日が多かった。8日から9日にかけて低気圧や前線の影響で大荒れの天気となった。

中旬：13日から14日にかけて低気圧が通過し大荒れの天気となり、久慈・岩泉・小本で2月の日最大風速の極値を更新した。低気圧の通過後は16日まで冬型の気圧配置が続いた。その後、18日から19日にかけて日本の東を低気圧が発達しながら通過したため、沿岸部では曇や雨となった。

下旬：高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。22日から23日にかけてと26日から27日にかけては、日本海と関東の東を低気圧が通過した影響で大荒れの天気となり、遠野・江刺で2月の日最大風速の極値を更新した。低気圧の通過後は、一時的に冬型の気圧配置となった。

〈3月〉：平均気温が高い、降水量が多い、日照時間が多い

上旬：低気圧と高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。低気圧は三陸沖を通過することが多かったため、沿岸部でも雨や曇の日が多かった。

中旬：11日は強い冬型の気圧配置となり大荒れの天気となった。その後は、移動性高気圧に覆われる日が多く晴れて気温の高い日が続いた。19日は三陸沖を低気圧が通過した影響で沿岸部では雨となった。

下旬：高気圧に覆われる日が多く、低気圧や前線の影響を受ける日が無かったため、晴れて気温の高い日が続いた。

〈4月〉：平均気温が高い、日照時間が多い

上旬：前半は低気圧と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。また、南から暖かい空気が流れ込んだため気温が高く経過した。後半は寒冷な移動性高気圧に覆われる日が多く気温が低く経過した。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響をうける日が多く雨や曇の日が多かった。15日と20日は前線を伴った低気圧の影響で大雨となったところがあった。

下旬：高気圧に覆われる日が多く、晴れて気温が高く経過した。

〈5月〉：平均気温が高い、日照時間が多い、少雨

上旬：高気圧に覆われて晴れる日が多く気温が高く経過した。

中旬：低気圧や高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

〈6月〉：16日の局地的大雨、26日から28日にかけての大雨

上旬：高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。

中旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、寒気を伴った気圧の谷の影響で大気の状態が不安定となり、局地的に大雨となる日があった。14日は区界で、16日は紫波で、17日は藪川で6月の日最大1時間降水量の極値を更新した。特に、紫波の95.5mmは年の極値を更新する大雨となった。

下旬：前半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。27日から28日にかけて低気圧が通過したため沿岸北部と両磐地域では大雨となり、普代では24時間降水量が観測開始以来最大となる343.5mmを観測した。

〈7月〉：高温、少雨、日照時間が多い

上旬：前半は低気圧や前線の影響で雨や曇の日が多かった。後半は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

中旬：前半は高気圧に覆われて晴れる日が多く、暖かい南風が入り気温が高かった。14日は、県内の8箇所の日最高気温の7月としての高い方からの極値を更新し、山田では通年の極値を更新した。後半は梅雨前線や台風の影響で曇や雨の日が多かった。

下旬：日本の南の高気圧に覆われて晴れる日が多く、南から暖かい空気が入り気温が高かった。22日は、県内の6箇所の日最高気温の7月としての高い方からの極値を更新し、花巻・大迫・江刺では通年の極値を更新した。23日から25日にかけて梅雨前線の影響で大雨となった。28日は南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、久慈で44.5mmの日最大1時間降水量を観測し7月としての極値を更新した。

〈8月〉：上旬の高温、下旬の低温

上旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かった。2日は、上空に寒気を伴った気圧の谷が通過した影響で大気の状態が不安定となり、山形では48.5mmの日最大1時間降水量を観測し8月としての極値を更新した。後半は、オホーツク海高気圧の影響で曇の日が多かった。

中旬：低気圧や前線の影響で曇や雨の日が多かった。11日は上空に寒気が流れ込んだため大気の状態が非常に不安定になり、川井では67.5mmの日最大1時間降水量を観測し、年の極値を更新した。18日は三陸沖を通過した低気圧の影響で、沿岸で局地的な大雨となり、大船渡では45.0mmの日最大1時間降水量を観測し、8月としての極値を更新した。

下旬：低気圧や前線の影響で曇や雨の日が多かった。また、オホーツク海高気圧から冷たい空気が流れ込んだため、気温がかなり低くなる日が続いた。

〈9月〉：8日から11日の大雨、17日から19日の大雨

上旬：前線や低気圧の影響で曇や雨の日が多かった。8日から11日にかけて低気圧や台風の影響で大雨となった。

中旬：14日から17日にかけては移動性高気圧に覆われて晴れる日が続いたが、その他の日は前線や低気圧の影響で曇や雨の日が多かった。11日は台風第18号から変わった低気圧の影響で大雨となった。17日から19日にかけては前線をともなった低気圧の影響で沿岸部では大雨となったところがあった。旬平均気温は平年並だった。

下旬：25日から26日にかけて前線や気圧の谷の影響で雨となった、その他の日は高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

〈10月〉：日照時間が多い

上旬：高気圧に覆われて晴れる日が多かった。1日から2日にかけては発達した低気圧の影響で大雨となった。8日は、日本の東を台風第23号が北上した影響で海上を中心に暴風となった。

中旬：11日から13日にかけて前線や気圧の谷の影響で曇や雨となったが、その他の日は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

下旬：前半は移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。24日は前線の通過により雨が降った。後半は低気圧や気圧の谷の影響で曇や雨の日が多かった。

〈11月〉：平均気温が高い、降水量が多い

上旬：前半は高気圧に覆われて晴れる日が多く、後半は低気圧や前線の影響で曇や雨の日が多かった。

中旬：前半は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、後半は低気圧や前線の影響で曇や雨の日が多かった。14日から15日にかけては、低気圧や前線の影響で雨となった。

下旬：低気圧や前線の影響で曇や雨の日が多かった。

〈12月〉：平均気温が高い、日照時間が多い

上旬：3日に前線が通過し曇や雨となり前線の通過後は冬型の気圧配置となったため、4日は雪が降った。後半は、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

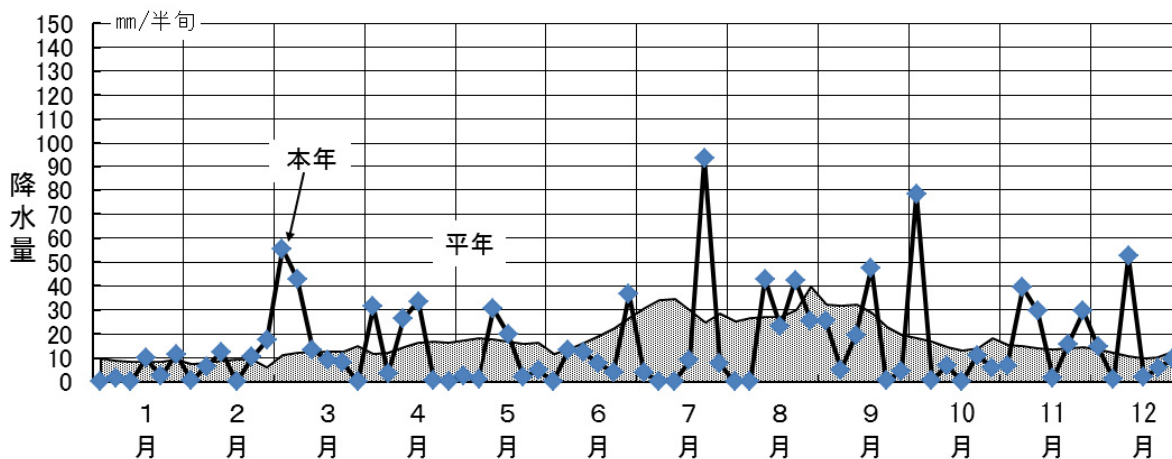
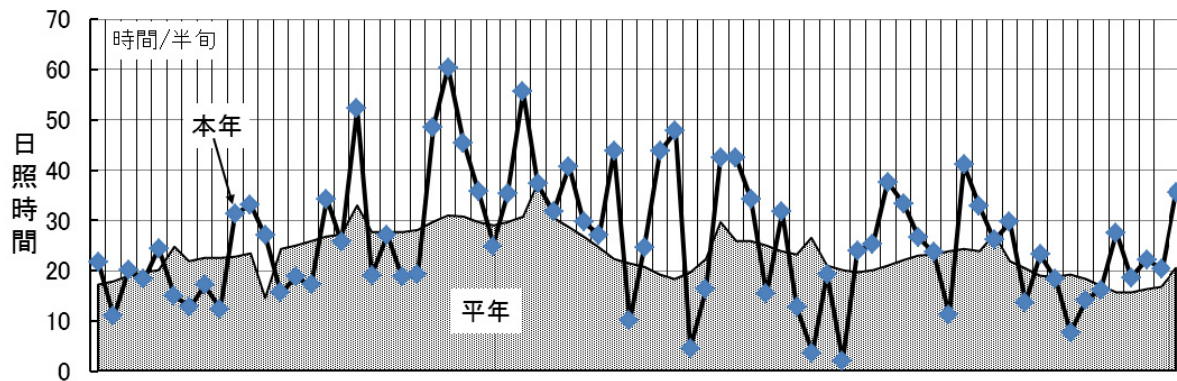
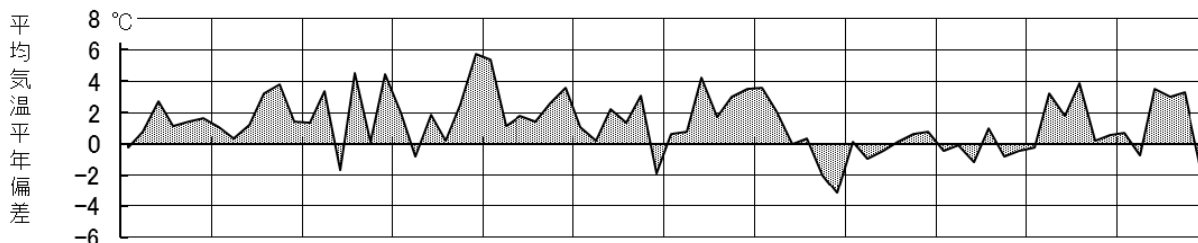
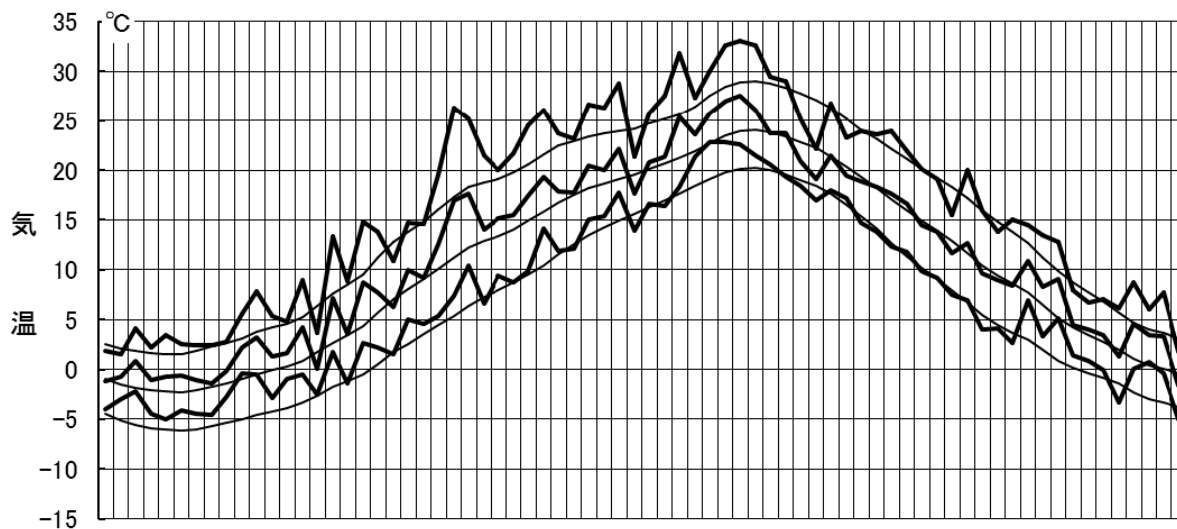
中旬：11日は低気圧の影響で、県内全域で大雨となった。その後は低気圧と高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わったが、低気圧の影響は少なく晴れの日が多かった。

下旬：前半は低気圧の影響で雨の降る日や、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となり雪の降る日があった。期間を通して冬型の気圧配置は長続きせず、移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。

3 主な気象データ

(1) 盛岡における気温、降水量、日照時間

2015年の気象経過[旬別：盛岡地方気象台]



(2) 終霜

気象官署	月 日	平 年	昨 年
盛岡	4月22日	5月3日	4月24日

(3) 梅雨入り、梅雨明け（東北北部）

	月 日	平 年 (平年差)	昨 年 (昨年差)
梅雨入り	6月26日頃	6月14日頃 (12日遅い)	6月6日頃 (20日遅い)
梅雨明け	7月29日頃	7月28日頃 (1日遅い)	7月25日頃 (4日遅い)

(4) 気象官署及び特別地域気象観測所（盛岡、宮古、大船渡）における記録更新（第5位まで）

ア 月平均気温

気象官署	月	記録 (°C)	備 考
大船渡	3	6.0	高い方から2位
盛岡	3	4.4	高い方から2位
宮古	3	5.3	高い方から3位
大船渡	4	11.0	高い方から2位
盛岡	4	10.5	高い方から3位
大船渡	5	16.6	高い方から1位
盛岡	5	16.6	高い方から1位
宮古	5	15.9	高い方から1位
大船渡	11	10.1	高い方から4位

イ 日最高気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	3月31日	20.5	高い方から4位
大船渡	3月29日	20.0	高い方から5位
宮古	3月31日	22.6	高い方から5位
大船渡	4月28日	29.2	高い方から2位
大船渡	4月27日	28.9	高い方から3位
盛岡	4月29日	29.0	高い方から1位
盛岡	4月30日	28.2	高い方から2位
大船渡	5月24日	30.6	高い方から3位
盛岡	5月30日	31.2	高い方から4位
宮古	5月24日	31.6	高い方から4位
大船渡	8月5日	37.0	高い方から1位（通年の極値更新）

ウ 日最低気温

気象官署	月 日	記録 (°C)	備 考
大船渡	4月 28日	13.5	高い方から3位
大船渡	5月 29日	16.5	高い方から5位
盛岡	5月 30日	18.0	高い方から1位
盛岡	7月 31日	24.2	高い方から5位
大船渡	7月 31日	24.1	高い方から5位
大船渡	11月 15日	15.2	高い方から4位

エ 月間日照時間

気象官署	月	記録 (時間)	備 考
大船渡	1	128.2	少ない方から2位
大船渡	2	116.3	少ない方から5位
大船渡	5	253.7	多い方から2位
盛岡	5	234.3	多い方から5位
宮古	5	249.9	多い方から3位
大船渡	10	186.3	多い方から2位
盛岡	12	140.6	多い方から3位

オ 月間降水量

気象官署	月	記録 (mm)	備 考
大船渡	3	184.5	多い方から1位
大船渡	5	82.0	少ない方から4位

カ 日降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備 考
大船渡	9月 18日	129.5	多い方から4位
盛岡	12月 11日	49.5	多い方から3位

キ 日最大1時間降水量

気象官署	月 日	記録 (mm)	備 考
盛岡	3月 10日	13.5	多い方から1位
宮古	6月 28日	24.5	多い方から3位
大船渡	8月 18日	45.0	多い方から1位
盛岡	12月 11日	9.5	多い方から3位

ク 降雪の深さの月合計（降雪量）

気象官署	月	記録（cm）	備考
盛岡	3	90	多い方から2位

ケ 降雪の深さの日合計（降雪量）

気象官署	月 日	記録（cm）	備考
—	—	—	—

II 農林水産物の生育状況

1 水稲（作況指数は「105」、うるち米1等米比率は96.2%）

水稲の移植後、良好な気象条件で経過し生育初期～分けつ期の生育は旺盛であった。幼穂形成期・減数分裂期も障害不稔等が懸念されるような気象条件にならなかったことから、出穂盛期は8月1日と平年より3日早かった。

本年は出穂が早まり、登熟初期は高温多照で経過したが、玄米品質の低下が懸念されるような高温条件とはならなかった。

8月第3半旬以降は一転して低温少照で経過したことから、登熟はやや緩慢であった。

登熟期後半は、移動性高気圧に覆われて晴れる日もあったが、前線や低気圧の影響で曇や雨の日が多かったことから、成熟期（水稲生育診断圃）は平年より2日遅い9月18日だった。

本年は、栄養生長期の良好な気象経過により全県で穂数が平年より多く確保され、一穂粒数は平年より少なかった（特に北上川上流）ものの、総粒数は平年並から上回った地帯が多かった（北上川上流は平年をやや下回った）。また、登熟歩合及び玄米千粒重は平年をやや上回った。粒厚は総粒数により地域性があり、北上川下流は概ね平年と同様だったが、東部・北部は平年よりやや小粒割合が高くなり、一方、北上川上流は平年より大粒割合が高かった。

なお、一部地域でいもち病発生（穂いもち）が広く見られたが、全県的な減収要因とならなかったことから本県の作況指数は「105」（やや良、収量560kg/10a）となった。

うるち米の1等米比率が96.2%（平成28年10月31日現在）と全国第1位（全国第2位は長野県96.1%）であった。また、もち米の1等米比率が87.4%（平成28年10月31日現在）と全国第2位（全国第1位は北海道91.6%）であった。

主な落等理由は着色粒（カメムシ類）、形質（その他）及び充実度であった。

その他、飼料用もみは4,276トン、飼料用玄米は18,991トンであり、全て合格した。

(1) 播種期・育苗期（播種盛期は平年並の4月15日、苗質は良好）

播種作業はおおむね平年並に始まり、県全体の盛期（50%終了）は4月15日で平年並となった。

気温は育苗期間中を通じて平年を大きく上回って経過した。育苗期の病害発生は全般に少なく、苗質は草丈が平年よりやや長かったが、充実度（風乾重/草丈）は平年を上回るなど良好であった。

(2) 移植期～活着期（移植盛期は平年より2日早い5月15日、活着は概ね良好）

5月も天候は良好に経過し圃場の準備作業は順調に行われた。県全体の移植盛期は5月15日と平年並、終期は5月22日と適期内に田植え作業が終わった。

移植期は気温が高く、良好な気象条件で経過し、活着は概ね良好であった。しかし、苗の草丈が平年より長く、各地域で風の強い日があるなど、移植直後に強風に遭遇した圃場では植え傷みが広く目立った。

また、月降水量は平年を下回る地域がほとんどで、一部、用水確保に苦慮した地域があったが、移植作業は概ね計画どおり行われた。

(3) 分けつ期（高温経過により生育は良好）

6月以降も引き続き高温多照で経過した。降水量は、全般に平年より少なく経過したが、局地的豪雨により短時間で極めて降水量が多い期間（紫波、6月第4半旬）があるなど、一部で圃場内への土砂流入や畦畔崩壊等の被害も見られた。

東北北部が6月26日頃に梅雨入り（平年より12日遅い）して以降、日照時間は平年を下回る日が多かったが、気温は平年を上回って経過した。

このため、分けつ発生は旺盛で、各農業改良普及センターが実施した一斉生育調査（6月15日及び6月25日の調査結果）では、各地域で草丈、茎数、葉数とも平年を上回った。

(4) 本田生育期の土壌と稲体栄養（地上部乾物重大・窒素吸収量大）

6月25日調査以降、各地域とも必要茎数は確保され、葉色が低下傾向であったこと、乾土効果による土壌中の窒素発現が期待できないと判断されたこと等から、「ひとめぼれ」、「あきたこまち」「いわてっこ」は基準量N2kg/10aを上限に、「どんぴしゃり」はN2kg/10aの

追肥を基本として、幼穂形成期の追肥指導を行った。

(5) 幼穂形成期～出穂期（出穂盛期は3日早い8月1日）

7月以降も引き続き平年に比べて気温が高く経過し、障害不稔等が懸念されるような気象条件とはならなかった。なお、東北北部の梅雨明けは7月29日頃（平年より1日遅い）であった。

幼穂形成期は平年並、減数分裂期は1日早かった（幼穂形成期7月11日、減数分裂期7月24日）。また、出穂盛期は8月1日と平年より3日早かった。

出穂期間は全般に良好な気象経過であったことから出穂・開花は良好であった。

(6) 登熟期～成熟期（登熟歩合は平年並）

本年は出穂が早く、登熟初期は高温多照で経過したが、8月第3半旬以降、一転して低温少照で経過したことから登熟はやや緩慢となった。本年は、玄米品質の低下が懸念されるような高温条件とはならなかった。

9月1日に各普及センターで行った一斉調査では、県全体の沈下粳歩合は85.6%（平年86.8%）と概ね平年並であった。

登熟期後半は、移動性高気圧に覆われて晴れる日もあったが、前線や低気圧の影響で曇や雨の日が多かった。月平均気温は平年並、月降水量は県の南部と沿岸では多く、内陸北部で平年並だった。月間日照時間は多かった。

水稻生育診断圃における成熟期は、平年より2日遅い9月18日であった。

(7) 刈取り期（刈取り盛期は平年より1日早い10月3日）

収穫作業は概ね平年並に進み、刈取盛期は平年より1日早い10月3日であった。

(8) 収量（作況指数105）

全县で穂数は平年を上回り、一穂粒数は平年より少なかった（特に北上川上流）ものの、総粒数は平年並から上回った地帯が多かった（北上川上流は平年をやや下回った）。

また、登熟歩合及び玄米千粒重は平年をやや上回った。

粒厚分布は、県全体では概ね平年並だった。地域別には、北上川下流は概ね平年と同様だったが、総粒数が平年を上回った東部・北部は平年よりやや小粒方向にシフトした一方、総粒数が平年を下回った北上川上流は平年より大粒方向にシフトした。

(9) 品質（1等米比率96.2%と全国第1位。落等原因トップは斑点米カメムシ）

品質では、うるち米の1等米比率が96.2%と全国第1位（全国第2位は長野県96.1%）、東北第1位（第2位は山形県94.9%）であった。（平成28年10月31日確定、農林水産省）

もち米の1等米比率は87.4%と全国第2位（全国第1位は北海道91.6%）であった。（平成28年10月31日確定、農林水産省）

2等以下に格付けされた主な理由は、「着色粒（カメムシ類）」が43.1%（総検査数量に占める割合1.6%）、「形質（その他）」が13.5%（同0.5%）、「充実度」が11.5%（同0.4%）であった。また、品種別の1等米比率は、「ひとめぼれ」が96.6%、「あきたこまち」が96.1%、「どんぴしゃり」が96.9%、「いわてっこ」が93.0%であった。（平成28年10月31日確定、東北農政局）

その他、飼料用もみは4,276トン、飼料用玄米は18,991トンであり、全て合格であった。

(10) 病害虫の発生（葉いもち・穂いもち 少、紋枯病 多、斑点米カメムシ類 多（斑点米 並））

葉いもちの発生は、6月下旬から7月中旬にかけて降雨が少なく、感染好適条件がほとんど出現しなかったことから、平年より少なかった。しかし、北上、胆江、一関地域の7月下旬調査における発生圃場率は平年を上回っており、7月30日に地域限定の注意報が発表された。

穂いもちの発生は、8月上旬にほとんど降雨がなかったため、少なかった。発生程度は8月中旬以降の雨による軽微な発生であったが、北上、胆江、遠野、一関地域の発生圃場率は平年並から高く、葉いもち、穂いもちともに発生に地域間差が見られた。

紋枯病の発生は、6月から7月の高温経過により、早期感染及び水平進展が進んだこと、

7月下旬から8月上旬にかけての高温、7月下旬と8月中旬の降雨により、垂直進展も進んだことにより、多かった。収穫期の発生圃場率は過去10年間で最も高くなり、発生程度も県南部では止葉まで枯れ上がる圃場が散見されるなど、平年より高かった。

斑点米カメムシ類の発生は、8月上旬までの高温傾向により発生時期は早まり、アカヒゲホソミドリカスミカメを中心に発生量も多く、7月30日に注意報が発表された。しかし、8月中下旬の降雨や8月下旬の低温により活動が抑制され、8月下旬の発生圃場率は平年並となり、9月中旬は平年より低くなった。

斑点米の発生は、割れ粳率が平年並であったこと、薬剤散布、畦畔管理が例年並に徹底されたことなどから、平年並となった。

2 畑作物

(1) 小麦

ア 27年産小麦（26年播種）

【播種～初期生育】 台風の接近に伴う降雨等により一部圃場準備が遅れた地域も見られたが、播種は県南部等を中心に9月下旬頃より始まり、全体的には概ね平年並の時期に行われた。越冬前の初期生育は葉色も濃く概ね良好に推移した。晩播した圃場で、12月初めの降雪がそのまま根雪になった所では生育量の不足が見られた。

【越冬後の生育】 根雪始めは早かったものの、雪解けが早かったことから根雪期間の長さは概ね平年並となった（農研センターの場合、12月2日～2月28日までの89日間で過去10年平均より6日長い）。また、3月下旬に日照に恵まれ、この時期に花巻市などの主産地を中心に排水のよい圃場では融雪期追肥が実施されたが、4月上旬から中旬にかけて雨が多く、やや湿害傾向が見られた。

【茎立～出穂・開花】 4月21日以降5月中旬まで目立った降雨がなく、高温・干ばつ傾向が続いた。越冬後から平年を上回る気温で推移していたが、4月21日以降は日照時間も平年を上回り、気温も2～3℃程度高く経過した。播種期や地域による違いはあるものの、平均すれば約1週間程度出穂・開花が早まった。

【生育・登熟状況】 降雨の少ない状況が続き、根張りの劣る麦では葉先枯れ、枯上がりなどが一部見られた。生育状況としては、穂数等は概ね平年並、稈長・穂長などは短め、千粒重はやや小さめとなった。成熟は平年より1週間程度早まった。

【刈取り状況】 刈取りは平年より1週間程度早く、6月20日頃より県中部と県南部より始まった。6月26～28日の雨で一時中断したものの、全体に収穫は好天に恵まれ順調に進んだ。7月1日現在の刈取り進捗状況は70～80%と推定され、ここ10年ほどで最も早かった。

【成熟期調査結果】（生育診断圃を中心とした）

- ・出穂 ナンブコムギ・ゆきちからとも5日程度早い。
- ・成熟 ナンブコムギ・ゆきちからとも6日程度早い。
- ・稈長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並。
- ・穂長 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並。
- ・穂数 ナンブコムギ・ゆきちからとも平年並～やや多。

【収穫量及び検査結果】 湿害の発生は少なかったが干害等により収量は伸び悩み、県平均収量は10a当たり平均収量対比105の187kg/10aとなった。（平成28年11月22日確定、農林水産省）

27年産の麦類の検査結果は、検査数量が7,080t（26年産・確定値6,102t）、一等比率が95.5%（26年産・確定値88.1%）となった。（平成28年4月30日確定、東北農政局）

【病害の発生】（病虫害防除所調査結果より）

- ・雪腐病：発生圃場率、発生程度ともにほぼ平年並であった。
- ・縞萎縮病、萎縮病：発生程度の高い圃場が散見されたが、発生圃場率は平年よりやや低か

った。

- ・赤かび病：6月上～中旬の巡回調査では、発生穂率1%以上の圃場は認められなかった。

イ 27年播種（28年産麦生育状況）

播種作業は概ね平年並の時期に実施。県南の一部で播種が遅れた所があるが出芽および出芽後の生育も概ね平年並。越冬前の生育は概ね順調に推移したが、晩播や水稲跡などでは湿害等が散見された。

越冬後は雪腐病の発生は少なかったが、一部で鳥害や凍上害が散見された。

(2) 大豆

【播種～本葉展開期】 播種は平年より早めにスタートし、播種作業は順調に進んだ。土壌の乾燥により出芽揃いがやや劣った地域が一部見られたが、全体に初期生育は概ね良好であった。6月以降も湿害の発生は少なく、中耕培土も順調に実施された。

【開花期】 7月に入ってから7月22日まで県内全般に降雨が極めて少ない状況が続いたため、全体に草丈が短く、また、土壌乾燥による葉の立ちや裏返り、葉巻などが見られた。このため、7月上旬から主産地を中心に畦間灌水が一部で実施された。7月23日から25日にかけてのまとまった雨により土壌の乾燥状態はかなり緩和された。

【莢伸長期～成熟期】 8月上旬は再び高温・少雨状況となり、干ばつ傾向が見られた。しかし、8月中旬以降は雨の日が多くなり、土壌は湿潤状態に転じた。

9月は8日から11日、17日から19日にかけて大雨に見舞われ、全体に土壌水分が高い状態が続いた。登熟期の日照時間は平年を上回り、登熟は概ね順調に進んだ。主茎長は平年より全体に長く、倒伏がやや目立った。

10月中旬以降成熟期を迎え、刈取りが県中～県南部から始まった。10月中旬から下旬にかけて晴天が続き、子実水分が順調に低下したことなどから、平年より5日程度早く刈取りが進んだ。汚損粒および被害粒等の発生は平年に比べ少なかった。

【病害虫の発生】

- ・紫斑病：子実調査では発生圃場率は平年より低かった。
- ・べと病（べと病類似症状を含む）：子実調査によると発生圃場率は平年よりやや高かった。品種別では、シュウリュウで発生程度の高い圃場が見られた。
- ・モザイク病（褐斑粒）：子実調査では平年並に発生は少なかった。
- ・マメシンクイガ：子実調査では発生圃場率は平年よりやや少なかった。
- ・カメムシ類：子実調査では発生圃場率は平年並だった。

【収量及び品質】 10aあたり収量は県全体で153kg/10a、平均収量対比は129となった（平成28年4月20日現在、農林水産省）。

27年産の普通大豆の検査結果は、検査数量が4,812t（26年産・確定値3,693t）、一等比率が53.8%（26年産・確定値33.2%）となった。（平成28年3月31日確定、東北農政局）

3 野菜

(1) きゅうり

露地普通作型では定植後7月まで少雨乾燥傾向が続いたことにより、一部初期生育が緩慢で生育抑制気味の圃場も見受けられたが、灌水の実施や降雨により概ね生育は回復した。しかし、圃場が乾燥気味に経過し、6月下旬にはフケ果の発生が一部地域で発生したほか、果実肥大が緩慢で出荷数量が伸び悩んだ。7月下旬にまとまった降雨があり、生育が回復したものの、例年のような増量とはならず、9月上旬の低温以降は果実肥大も緩慢となり9月末頃に収穫終了となる圃場が多かった。かん水施設を整備し、初期の乾燥時に適切な水管理を実施した圃場においては、今年も10月下旬まで収穫が継続された。

病害虫では早期からアブラムシやアザミウマの発生が多く、ウイルス病の発生も多い年だった。生育前半の病害発生が非常に少なかったが、7月下旬のまとまった降雨により各種病

害が多発し、特にべと病と炭疽病の発生が多く見られた。キュウリホモプシス根腐病については、発生圃場面積が昨年よりも減少し、対策技術の確実な実践と、早期被害リスクの把握による総合防除対策が浸透しつつある。

収量は前年比 104.2%、全体出荷量も 103%といずれも昨年を若干上回った。

(2) トマト

雨よけ作型の定植時期である 4 月以降、極端な低温もなく推移し、生育は順調に推移した。6～7 月も好天となり、7 月末までの出荷量は例年より 2 割増しの前倒し出荷となった。しかし、高温乾燥基調の天候や着果負担増加の影響から、7 月以降は草勢が低下する圃場が多く見受けられたほか、萎れや落花、尻腐れ果や軟化玉の発生も見られた。8 月以降は小玉傾向となり、9 月上旬には極端な低温の影響から果実肥大や着色が緩慢になり、裂果などの障害果が増加した。

病害虫では、全般に病害の発生は少なかったが、アザミウマやアブラムシの発生が早くから確認され、6 月以降はアザミウマの多発による白ぶくれ果の発生が見られ、9 月頃まで多発傾向が続いた。また、サビダニの被害も多く地域で確認された。土壌病害では、高温期を中心に青枯病、かいよう病の発生が見られた。

収量は前年比 98.8%、全体出荷量 98.6%とほぼ前年並みであった。

(3) ピーマン

4 月中旬以降の高温、少雨により、施設作型では生育が促進され、5 月定植の露地作型では土壌水分が不足し活着が遅れるなどの影響を受けた。

出荷開始は早まったが、乾燥による尻腐れ果が 6 月の出荷初期から多発したほか、露地作型では圃場の乾燥による生育の停滞も見られた。

7 月以降は、施設作型では着果負担の増加により草勢の低下する圃場が目立ち、露地作型ではかん水設備がなく生育が停滞する圃場がみられた。8 月には降雨により露地作型で生育が回復したものの、9 月に入ると赤果やひび割れ果の発生が増加した。

病害虫は、6 月以降アブラムシとアザミウマの発生が増加し、タバコガは 7 月以降発生が確認され、8 月には一部発生が目立つところも見られた。

8 月以降、斑点病・青枯病の発生圃場では増加傾向となり、9 月に入ると草勢の低下とともに斑点病の多発圃場が見られた。

収量は前年比 99%、全体出荷量も前年比 99%と昨年並となった。

(4) ほうれんそう

昨年より融雪が早く、圃場準備や播種作業が比較的順調に進み、4～6 月の気温も高めに経過したことから生育は前進傾向で推移した。5 月以降の高温・乾燥により生育停滞や抽台が発生し、地域毎に生育中かん水や遮光等の対策がなされた。6 月下旬の梅雨入り以降生育は回復傾向となったが、7～8 月の高温により生育停滞、しおれ、枯死等が発生し、播種も停滞したことから夏期出荷量が減少した。その後は盆明け以降の気温低下に伴い、生育は回復したが、日照不足や低温により軟弱株が増加した。また、10 月上旬の強風によりハウスビニール等に被害が見られた地域があった。

病害虫は萎凋病が 6 月中旬以降発生し、ハウレンソウケナガコナダニは 4～6 月にかけて、アブラムシは 5～7 月に平年並に発生した。アザミウマ類は 5 月～8 月に発生し、一部地域で多発した。

生食用露地ほうれんそうの春どりは、生育初期の乾燥による生育不良や虫害（アブラムシ、カメノコハムシ）の発生が見られ、十分な収量を確保できない地域もあった。秋どりは概ね順調な生育となったが、9～10 月の降雨や強風の影響から収量が低下した地域が見られた。

(5) ねぎ

定植は概ね順調に行われたが、4～5 月の乾燥により全体的に生育が停滞ぎみとなり、一部で活着不良や葉先枯れが見られた。6 月下旬の降雨により全体的に生育は回復したが、一部地域では乾燥による影響が続く、生育遅延が見られた。7 月以降は概ね順調な生育となったが、べと病、さび病、ネギアザミウマ、ネギコガ等の被害が見られ、花北地域では萎凋病

の発生が確認された。8月は乾燥による生育遅延が見られていたが、8月下旬の降雨により急激な太りによる外皮の裂けが発生した。また、防除が遅れた地域では、軟腐病、黒斑病、さび病の発生が確認された。収穫は概ね順調に行われたものの、天候不順により生育が緩慢となり出荷量は減少傾向となった。

(6) キャベツ

降雨等の影響で圃場準備が遅れ、県北部では4月下旬から定植が開始された。生育は5～7月にかけて少雨の影響が大きく、生育遅れや不揃い、小玉傾向となった。8月中旬以降は降雨があり、生育は順調に進んだものの、9月以降は気温の低下に伴い生育が緩慢となった。春系品種は11月中旬で収穫が終了となった。

害虫は7～8月にコナガ、タマナギンウワバ、アブラムシが大発生し、大きな被害を受けた圃場があった。また、ジアミド系殺虫剤抵抗性コナガが発生し、被害が見られた。病害は7～8月にかけて株腐病、軟腐病が多く発生した。

(7) レタス

県東部の春レタスの定植は平年並の3月下旬頃から開始され、概ね順調な生育となった。県北部の定植は平年並の4月中旬から始まった。5～6月は乾燥により生育停滞が見られたものの、かん水を行ったことにより生育が回復し、本格的な出荷は平年並の6月上旬となった。7～8月上旬は高温・少雨の影響で小玉傾向であったが、腐敗性の病害は少なく、出荷は順調に行われた。8月中旬以降は適度な降雨により生育が回復した。病害では斑点病、べと病、腐敗病が発生した。9月は低温により生育および結球が停滞し、10月前半で収穫終了となった。

(8) だいこん

高冷地での播種作業は平年並の4月下旬から開始された。5月は乾燥のため降雨を待っての播種となり作業は遅れたが、出芽には影響せず、生育は概ね順調で6月下旬頃から収穫が開始した。7月は少雨の影響で生育にバラつきの目立つ圃場があった。8月は高温の影響で出芽不良や生育不揃いがあり、出荷は減少傾向となった。8月末が最終播種となり、順調に作業が行われた。8～9月はキスジノミハムシやネキリムシ類が多発し、被害が増加した。10月は生育が緩慢になったが、害虫被害は減少し、概ね順調な出荷となった。

4 花き

(1) りんどう

ア 生育期

萌芽・展葉期は平年よりやや早い地域が多かった。7月までは降雨量が全般的に少ない傾向にあったが、気温は平年より高めに推移したため、生育は進んだところが多かった。草丈は平年並からやや進んだ生育となり、また、側芽発生期も早かった。

イ 開花期

気温が高めに推移したため全般的に開花が前進化した。地域差はあるが、早生種は概ね8月上旬には開花終期となった。一部の品種では高温による花弁の着色不良や開花遅延などの障害の発生がみられた。

一方で晩生種も早生種と同様に平年より開花が早く、9月上～中旬に開花盛期となった。また、極晩生種についても平年より早い開花となった。

ウ 病害虫

主要病害である葉枯病、褐斑病、花腐菌核病は全般的に少ない発生となった。一方、7月以降、県内各地で黒斑病の発生がみられ、8月に急増する地域が多かった。

害虫ではハダニ類の発生が早く、6月以降発生が増え始め、8月まで多い傾向が続いた。リンドウホソハマキは、平年並の発生量となり、前半は平年より少ない傾向にあったが、秋期の発生率および程度は平年並であった。

(2) 小ぎく

ア 育苗・定植期

8月咲品種は、平年並の4月下旬から5月上旬に定植された。定植後の生育は、圃場の乾燥の影響でやや緩慢であった。

一方、9月咲品種は、平年並の5月下旬から6月上旬に定植となったが、一部で乾燥の影響により初期生育の確保ができなかったところがあった。

イ 生育期・開花期

8月咲品種は生育期間の5月から7月に降雨が少ない地域が多く、初期生育の遅れにより草丈はやや短い傾向となった。開花期は7月までは早い傾向にあったが、8月以降は開花抑制となった。

9月咲品種は概ね順調な生育であったが、8月中旬～9月上旬にかけて低温のため生育が遅れ、9月中旬以降の出荷となるとところが多かった。

ウ 病害虫

主要病害では、白さび病が親株や育苗時からみられ、定植後も発生が続いた地域が多かったが、平年よりは少ない傾向にあった。

害虫ではアブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類の発生が多くみられた。オオタバコガは7月以降、県内各地で発生が確認され、発生は10月まで続いた。また、一部でキクヒメタマバエの被害が発生した。

5 果 樹

(1) りんご

ア 花芽の状況

平成27年産りんごの花芽の状況は、花芽率を県平均で見ると「つがる」、「ジョナゴールド」、「ふじ」とも平年より高めとなった。一方、それぞれの品種で平年以下の地点もあり、地域的なバラツキもみられた。また、弱小花芽率は、平年より低い、県南部の一部地域で平年より高い地域も認められた。

7月まで気温の高い状態が続くとともに、4～7月の乾燥傾向により花芽率低下が懸念されたが、花芽形成期である7月の日照時間が多めで推移したことにより、花芽率は平年より高くなったと推察される。

イ 発芽～展葉期

1月中旬以降、気温は高く推移したため、発芽は平年より10日前後早くなった。3月下旬の気温は特に高くなったため、展葉も平年並より10日前後早く推移した。

ウ 開花期および結実の状況

4月下旬から5月上旬も高い気温となったため、開花は「ふじ」で平年より10日前後早くなった。「つがる」や「ジョナゴールド」も同様の傾向となった。

開花中、好天に恵まれたため、概ね結実は良好であったが、中心果を始め結実率が劣る品種、地域が見られた。結実が低下した要因として、4月8～10、18、19、22、26日の低温（降霜等）、花芽不良が考えられた。また、収量への影響は少なかったものの、果軸の変形やサビ果が多く発生した地域がみられた。

エ 果実肥大

開花が早く、結実後の気温が高かったため、6月1日現在の果実肥大は平年の約130～200%となった。その後、7月下旬のまとまった降雨があるまで少雨の状態が続いたため、果実肥大量が鈍化したが、お盆以降から雨の日が多くなったため、収穫時期の肥大状況は平年並からやや大きめとなった。また、土壌水分の急激な変化により樹が衰弱した園地が昨年に引き続き散見された。

オ 収穫期および果実品質

早生種は平年に比べ、糖度は高めとなり、硬度は低くなった。デンプン指数については

8月下旬には一気に成熟の進む地域が多く、開花が早まった分、収穫期も早まった。8月中旬まで高温だったため、成熟に対して着色が遅れる傾向があったものの、8月下旬には夜温が下がったことから、着色が一気に進む傾向が見られた。8月中旬以降の降雨による「きおう」へのつる割れが懸念されたが、少なめの発生に止まった。

「ジョナゴールド」については、早生種同様、糖度は平年より高く、硬度は低めとなり、デンプン指数は早く抜ける傾向となった。早生種同様、成熟が早まり、内陸では、例年より10日ほど早く収穫期となった。全般的に着色は良好であったものの、成熟の早まりに比べ着色作業が遅れた園地がみられた。

「ふじ」の糖度、蜜入り指数は平年よりやや高め、硬度は平年よりやや低めとなり、デンプン指数は平年並となった。収穫時に硬度が低かったため、越年販売時にはさらに硬度が低下した果実が多かった。「シナノゴールド」では、昨年ほどではないが、収穫の遅れによる裂果が散見された。早生・中生種ほどではないが、晩生種も成熟が早まったことで裂果を助長したものと思われる。

降雹については、6月6日に江刺地域、6月14日に盛岡東部、宮古西部、6月16日に紫波西部などで発生し、果実の損傷が発生した。

収穫期の強風害では、10月1～2日の発達した低気圧、10月8～9日接近の台風23号などにより落果や倒木の被害が認められた。

カ 病害虫

4月から8月まで乾燥ぎみの天候が続いたため、県下全般にハダニ類の発生が見られた。その他、県南地区で斑点落葉病、県北地区で炭疽病の発生がみられたものの全般的に病害虫の発生は少なかった。

全県的な発生ではないものの、近年、モモチョッキリゾウムシ、リンゴワタムシ、カイガラムシ類の被害報告が増加する傾向にある。

キ 作柄評価

生産量は、数量で前年対比112%となった。(平成28年3月上旬時点、全農岩手県本部)これは、開花の早まったことで初期の果実肥大が良好となり、結実も良好となったことが要因と考えられる。

販売単価については、前年比108%となった。全国的に豊作基調だったものの、青森県において強風による落果等の被害が大きかったことに加え、青森県産りんごの輸出量が増大していることから、国内市場での供給量不足が懸念され、価格が堅調に推移したためと思われる。

(2) ぶどう

ア 発芽期～展葉期

4月の気温が高めで推移したため、発芽及び展葉は平年より10日程度早まった。

イ 開花期～結実期

4月下旬以降は気温も高めに推移したため、定点観測地点の満開期は平年より16日早い6月2日に観測され、観測開始(昭和49年)以来、最早の生育となった。一方、高めの気温により、新梢伸長が旺盛になり、開花期まで乾燥が続いたこと等により若干の花振るいが見られ、結実率は平年を下回った。

ウ 新梢伸長期

発芽から開花まで生育が早まったことにより、初期の新梢長は平年の200%超であったが、7月の乾燥等により樹勢が弱まり、最終的な新梢長は平年の85%となった。

発芽から開花まで気温が高めで推移したことから、房長は平年より大きめとなり、果粒肥大は、生育期間を通してほぼ平年並となった。

エ 収穫期

「キャンベルアーリー」、「紅伊豆」、「サニールージュ」等品種全般に着色はやや早く、収穫時期の着色も良好であったが、高温等により着色が遅れる園地もみられた。

8月中下旬は日照不足となったが、生育期間を通して気温が高めで推移したため、糖度は平年より高めとなった。

8月の降雨により、「キャンベルアーリー」を中心に裂果が見られた。

オ 落葉期

9月以降は気温が平年並となったため、落葉は平年並だった。
新梢の登熟程度は、概ね平年並だった。

カ 病害虫

6月までは降水量が少なかったため、全般に病害の発生は少なかった。一方、醸造用品種を中心に5月下旬頃からうどんこ病の発生が見られた。害虫の発生は全般的に少なかったが、春先のツマグロアオカスミカメによる葉の被害、夏季乾燥によるサビダニ類、ハダニ類の発生があった。

キ 作柄評価

生産量は、系統取扱の出荷販売実績から、前年比99%の数量となった。これは、開花までの生育が一気に進んだことによる花振るいと収穫期直前の降雨による裂果が原因と考えられた。

販売単価については前年比106%であり、概ね好調な単価が維持された。

6 飼料作物

(1) 牧草

ア 1番草

5月は降水量が少なく、収量はやや少から平年並。収穫時は晴天が続いたため作業は順調に進んだ。

イ 2番草

7月上、中旬は降水量が少なかったため、再生が鈍く草丈が短く収量はやや不良から平年並であった。収穫作業は収量確保のため草丈の伸長を待って収穫を遅らせる農家もあった。

ウ 3番草

収量は平年並から良好であった。10月以降、晴天が続かず収穫作業は遅れ気味となった。

(2) とうもろこし

ア 播種～生育・出穂期

播種～除草剤散布までの作業は順調に終了した。しかし、県北部では降水量が少なく、粘土質の圃場で生育の遅れが見られた。

生育遅早は、5月～6月の高温によりやや早く順調な地域が多かったが、8月下旬からの気温低下により子実の登熟速度は鈍化した。

イ 収穫期

黄熟期到達は一関地域を除くと8月下旬以降の降水と低温により、やや遅れ～平年並となった。一関地域は平年より半月以上早まった。

収量は平年並～やや良となった。

ウ 局地的に生じた障害等

一部地域では9月下旬、10月上旬の強風により、圃場で倒伏、折損の発生があった。

7 特用林産物

(1) 乾しいたけ

1～3月にかけて平均気温が高い状態が続き、例年より早く芽切りが始まった。4月上旬と中旬は曇や雨の日が多かったが、下旬は晴れの日が続き過乾燥状態であったこと、5月以

降も気温がかなり高い状態が続いたことから、生産量は平成 26 年を下回る 83 t（平成 29 年 2 月 16 日・林野庁公表）となった。

(2) まつたけ

7 月以降、気温が平年より高めに推移し、8～9 月の降水量も平年より多かったため、原基が順調に形成されたと思われる。9 月の発生期には気温が低下し、降水量も多かったことから、子実体が順調に発生し、作柄は全県的に良好であった。

8 水産物

(1) 養殖わかめ

養殖施設の復旧整備がほぼ完了し、生産量は前年産を上回る 15,093 t（県水産振興課調べ）となったが、前年と同様に平成 27 年の春先に 5℃以下の冷水が接岸したことで生育不良が発生し、計画数量には達しなかった。

(2) 養殖こんぶ

養殖施設の復旧により生産の再開が進み、生産量は 6,754 t（県水産振興課調べ）となったが、前年と同様に、平成 27 年初夏の水温が高めに推移したことで生育不良が発生し、生産量は前年並みの水準となった。

(3) 養殖ほたてがい

養殖施設の復旧により生産の再開が進み、生産体制を震災前の状況に戻したが、貝毒の発生による自主規制等により、生産量は 3,652 t（県水産振興課調べ）となり、前年を若干下回った。

(4) 養殖かき

養殖施設の復旧により生産の再開が進み、平成 25 年度に導入した種苗の成貝出荷が本格的に開始されたことで、生産量は前年を上回る 3,599 t（県水産振興課調べ）となった。

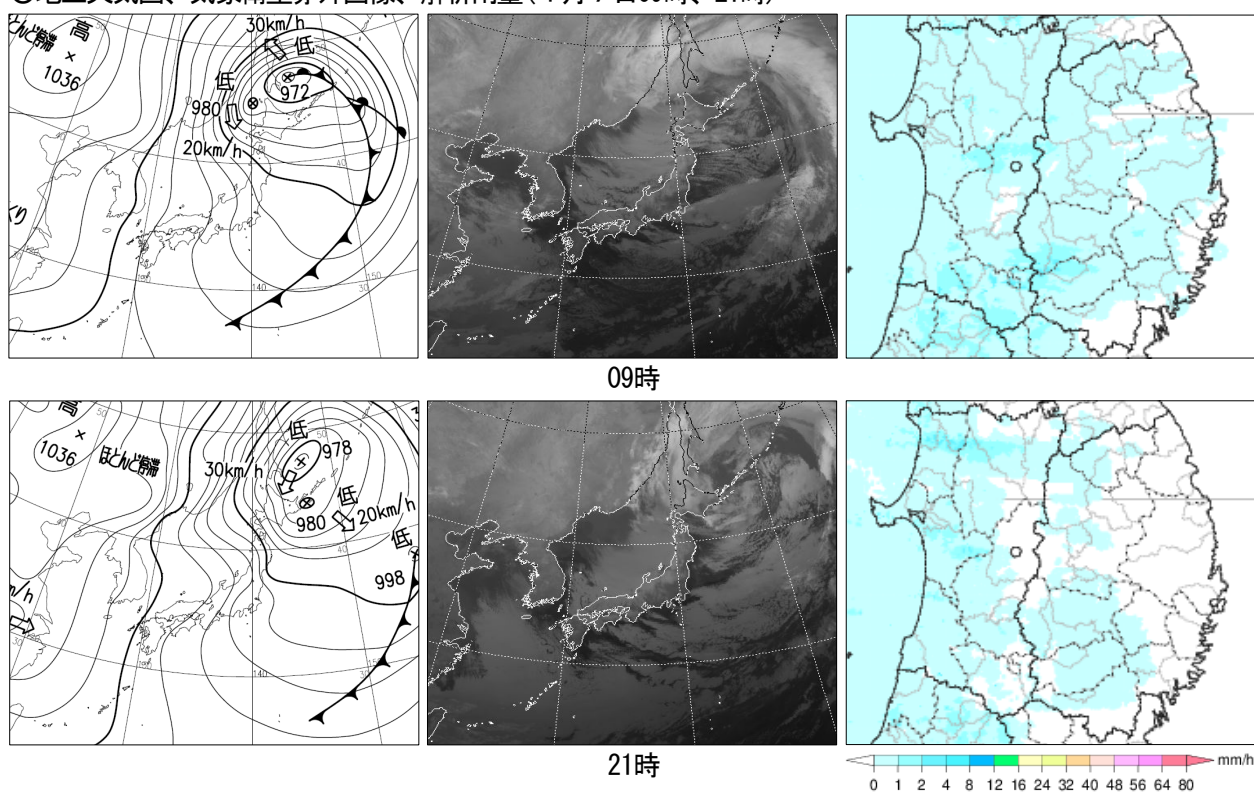
Ⅲ 農林水産業気象災害の発生状況

1 1月7日の暴風雪災害

(1) 気象概況

発達した低気圧がオホーツク海南部にあり、日本付近は強い冬型の気圧配置となった。このため、県内は沿岸を中心に西よりの風が雪を伴って強くなった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(1月7日09時、21時)



○警報・注意報の発表状況(1月7日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風雪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	風雪	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	大雪	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
	乾燥	沿岸北部
	なだれ	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市
	着雪	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市

○岩手県気象情報の発表状況(1月6日～7日)

- ・暴風雪と高波に関する岩手県気象情報 第1号
- ・暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第2号～第4号

○1月7日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名	最大風速			最大瞬間風速			
	値	風向	起時	値	風向	起時	
アメダス	久慈	13.4	西南西	15時10分	23.9	西	13時30分
	岩泉	13.8	西南西	13時22分	26.0	西南西	14時58分

	小本	10.8	南西	19時28分	23.4	西南西	13時05分
	山田	9.0	西北西	14時54分	21.8	北西	14時47分
	遠野	12.2	西	10時33分	22.3	西南西	03時07分
	新町	14.3	北西	16時47分	26.9	北西	15時35分
	釜石	12.5	西	18時57分	24.7	西	14時59分
官署等	盛岡	10.1	西南西	11時55分	16.7	西南西	11時32分
	宮古	12.0	西南西	15時15分	29.1	西	15時11分
	大船渡	10.9	北北西	24時00分	23.5	北北西	20時37分

※黄色は1月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

○1月7日の主な地点の日降雪量(cm)

地点名		値
アメダス	湯田	26
	祭時	30
官署等	盛岡	1
	宮古	0
	大船渡	0

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	3,372	パイプハウス破損等 18棟	岩泉町、山田町
水産業	漁船	1,000	漁船の転覆等 2隻	山田町
計		4,372		

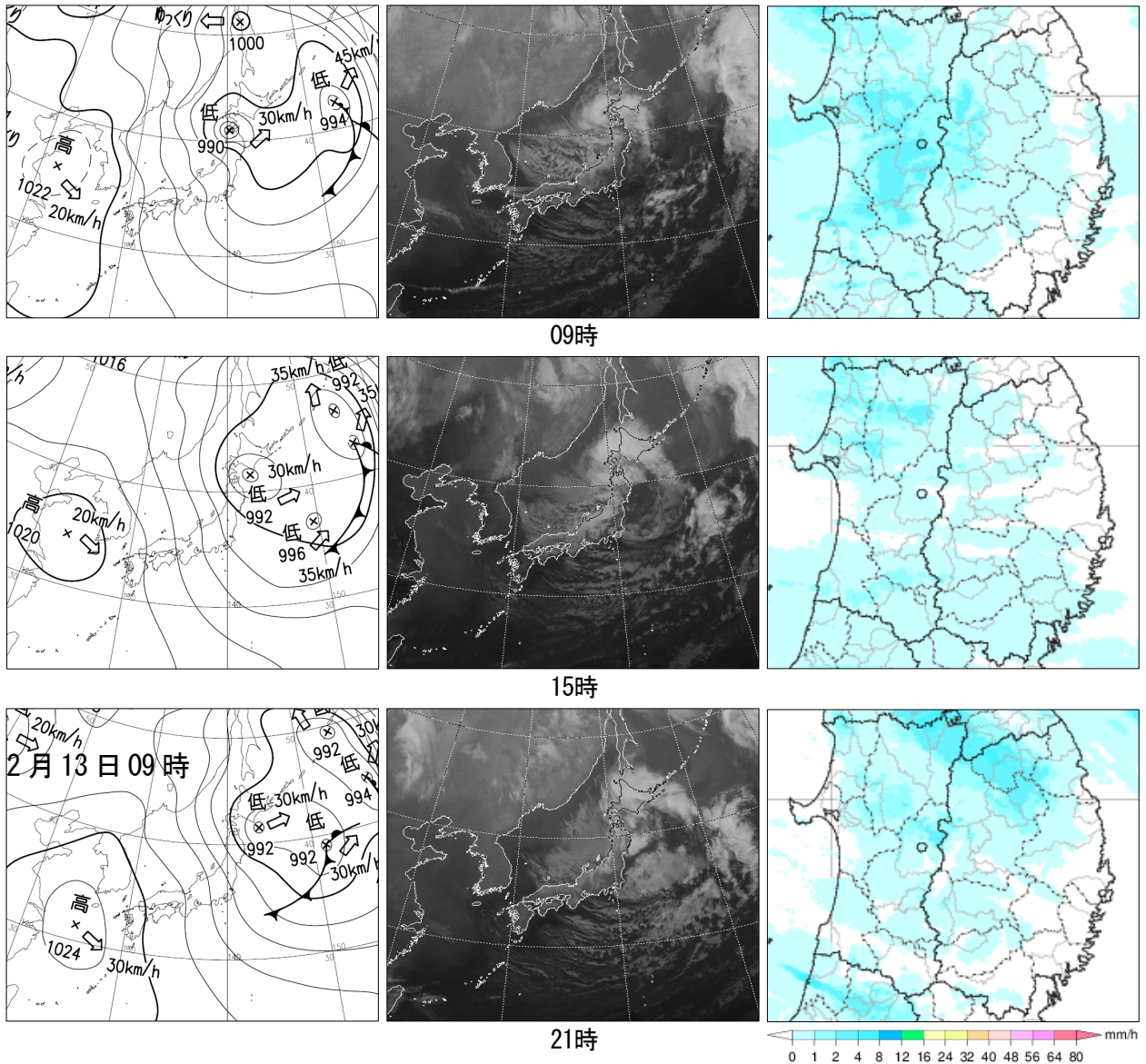
(単位:千円)

2 2月13日の暴風雪災害

(1) 気象概況

急速に発達した低気圧が日本海中部にあつて北東に進み東北地方北部を通過し、日本付近は次第に強い冬型の気圧配置となった。このため、県内は沿岸を中心に西よりの風が雪を伴って強くなり、内陸では北部を中心に大雪となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(2月13日09時、15時、21時)



○警報・注意報の発表状況(2月13日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風雪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雪		二戸地域
	風雪	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	大雪	沿岸北部、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県
	なだれ	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、久慈地域、一関市
	着雪	沿岸北部、二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市

○岩手県気象情報の発表状況(2月12日～14日)

- ・暴風雪と大雪及び雷に関する岩手県気象情報 第2号～第3号
- ・大雪に関する岩手県気象情報 第4号～第5号

○2月13日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速			
	値	風向	起時	値	風向	起時	
アメダス	久慈	13.9)	西)	11時59分	23.6)	西)	12時11分
	小本	12.0)	南西)	11時22分	25.3)	南南西)	11時51分
	釜石	11.3	西	09時53分	25.1	西	08時48分
	住田	11.0	西北西	23時19分	23.7	西	23時30分
官署等	盛岡	13.3	南	08時35分	21.9	南	09時02分
	宮古	9.6	西南西	14時53分	19.6	西	14時49分
	大船渡	15.1	北西	23時39分	26.1	北北西	23時36分

※)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

※黄色は2月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

○2月13日の主な地点の日降雪量(cm)

地点名	値	
アメダス	二戸	38
	奥中山	34
	雫石	21
官署等	盛岡	9
	宮古	1
	大船渡	1

(2) 被害状況

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	牛 2頭	二戸市
	農業施設	畜舎・パイプハウス倒壊等 8棟	二戸市、岩泉町、奥州市
計	20,124		

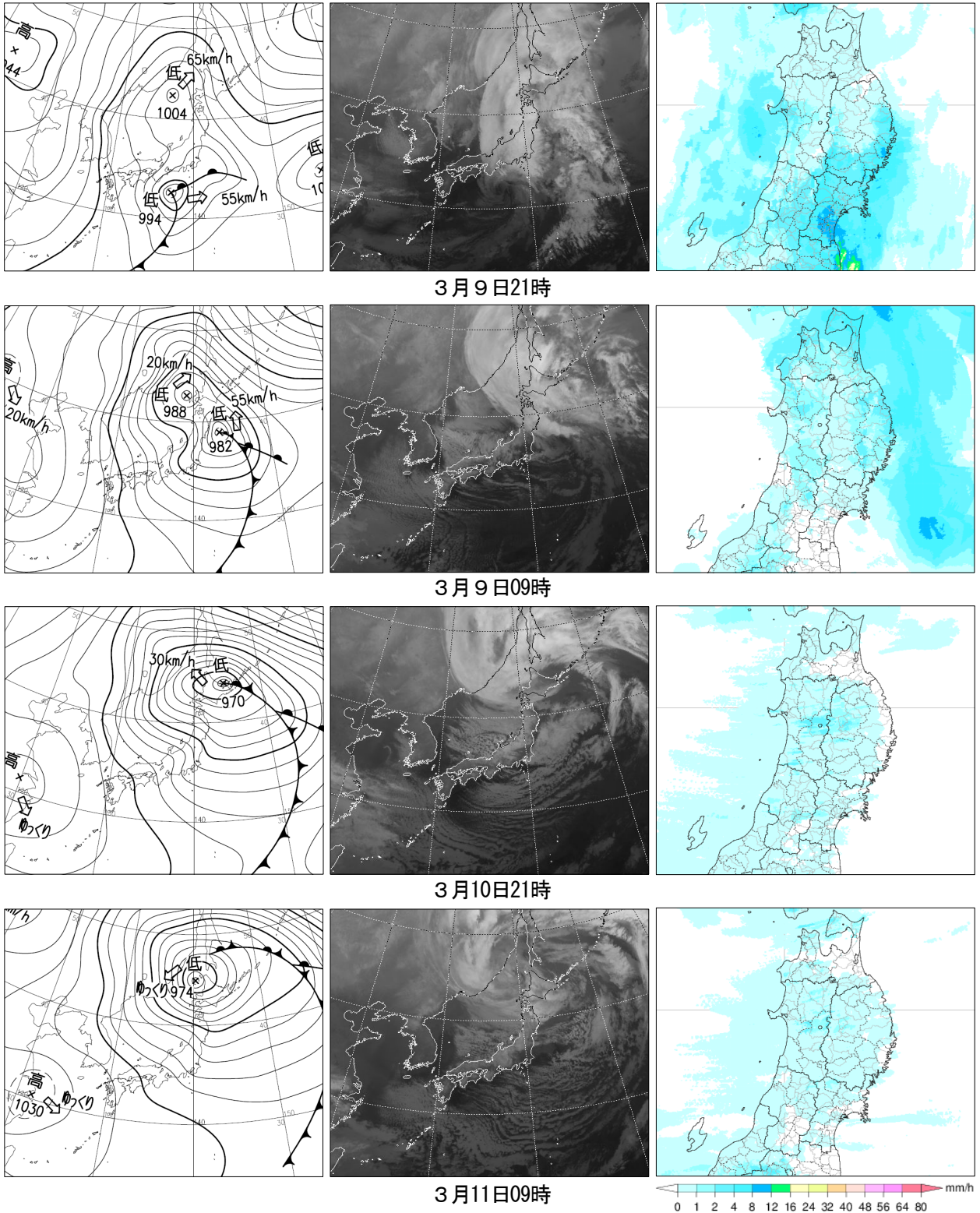
(単位:千円)

3 3月9日から11日の大雨暴風雪災害

(1) 気象概況

10日、前線を伴う低気圧が関東の東にあって急速に発達しながら三陸沖を北上し、11日にかけて日本付近は強い冬型の気圧配置となった。このため、県内は沿岸を中心に西よりの風が雪を伴って強くなり、海上は高波となった。また、大雨となった地域があった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(3月9日21時、3月10日09時、21時、3月11日09時)



○警報・注意報の発表状況(3月9日～11日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風雪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	風雪	内陸、住田町
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	内陸、住田町
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	釜石地域、宮古市、大船渡市、陸前高田市、山田町
	大雨	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、花巻市、北上市
洪水		釜石地域
	洪水	内陸、沿岸北部、大船渡地域
	大雪	内陸、宮古地域
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県
	なだれ	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、遠野市、一関市
	着雪	内陸、宮古地域

○岩手県気象情報の発表状況(3月9日～11日)

- ・暴風と高波及び大雨に関する岩手県気象情報 第1号～第4号
- ・暴風と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第5号
- ・暴風雪と高波及び大雪に関する岩手県気象情報 第6号、第7号

○3月9日～11日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名		日最大風速			日最大瞬間風速		
		値	風向	起時	値	風向	起時
アメダス	久慈	16.8	西南西	10日16時59分	29.2	西	10日17時15分
	普代	10.6	南南西	10日17時13分	31.8	南南西	10日16時53分
	小本	14.2	南西	10日17時07分	30.0	南南西	10日16時08分
	雫石	11.2	西南西	10日15時31分	25.4	西	10日15時12分
	紫波	10.9	西	10日14時03分	26.2	西	10日12時15分
	新町	15.6	北西	10日13時38分	30.7	北北西	10日14時01分
官署等	盛岡	12.0	西南西	11日20時20分	21.2	西南西	11日15時43分
	宮古	14.7	東南東	10日04時43分	25.0	東	10日00時04分
	大船渡	15.8	北北西	10日11時53分	30.1	北北西	10日11時39分

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

※黄色は3月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

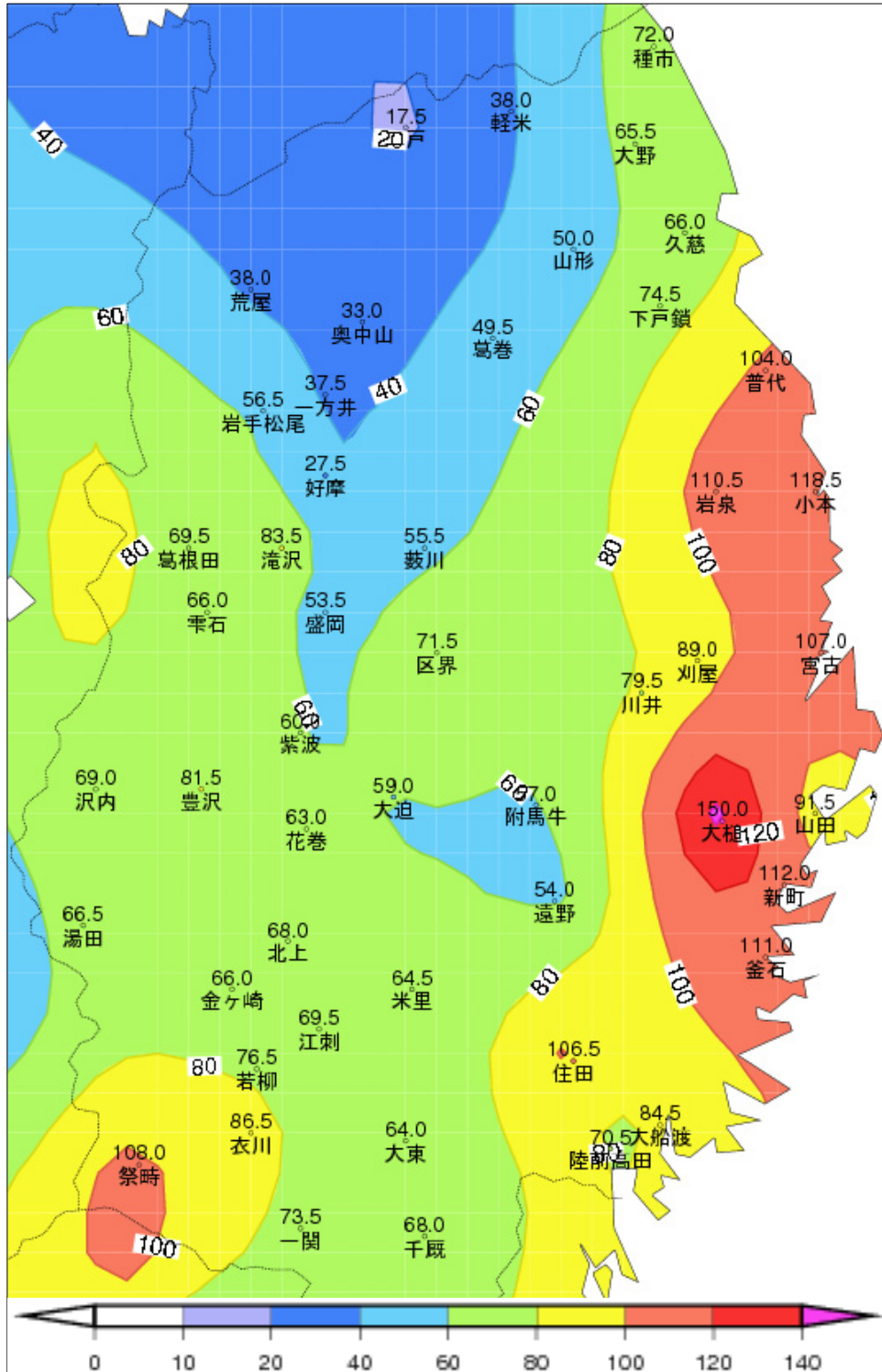
○3月9日～11日の主な地点の降水量(mm)

地点名		期間合計	9日		10日		11日	
			日	日最大1時間(起時)	日	日最大1時間(起時)	日	日最大1時間(起時)
アメダス	岩泉	110.5	19.0	7.0 (23時53分)	91.5	21.0 (05時38分)	0.0	-
	小本	118.5	21.5	6.5 (23時13分)	97.0	18.0 (03時59分)	0.0	-
	大槌	150.0	46.5	11.5 (23時59分)	103.0	24.5 (02時14分)	0.5	0.5 (03時28分)
	新町	112.0	43.0	11.0 (24時00分)	69.0	19.0 (05時33分)	0.0	-

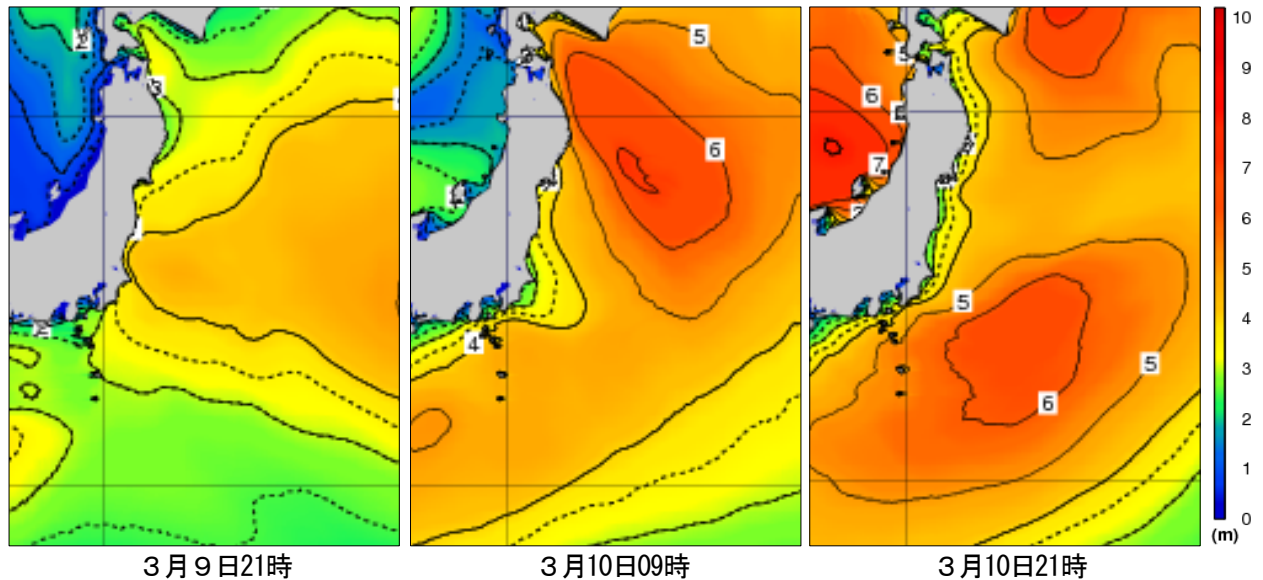
	釜石	111.0	48.0	11.0 (23時59分)	63.0	17.0 (05時16分)	0.0	-
官署等	盛岡	53.5	0.5	0.5 (23時51分)	42.5	13.5 (04時55分)	10.5	2.0 (04時46分)
	宮古	107.0	26.0	6.5 (24時00分)	81.0	14.5 (03時36分)	0.0	-
	大船渡	84.5	29.0	7.0 (23時38分)	55.0	10.0 (05時14分)	0.5	0.5 (20時12分)

※黄色は3月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

○3月9日~11日の期間合計降水量(mm)の分布図



○沿岸波浪図(3月9日21時、3月10日09時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

	区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	22	ほうれんそう 0.05ha9kg	陸前高田市
	農業施設	9,436	パイプハウス破損等 41棟	田野畑村、滝沢市、山田町等 7市町村
	農地・農業用施設	23,000	農地の法面崩壊 3箇所、頭首工等農業用施設の破損 5箇所	陸前高田市、奥州市
林業	林業施設	7,300	林道法面の崩壊 1箇所、治山施設破損 1箇所	一関市、大槌町
水産業	漁船	1,686	漁船の破損等 6隻	山田町、宮古市、大槌町等 4市町
	漁港施設	1,600	流木等の流入・漂着 3箇所	釜石市、宮古市
	計	43,044		

(単位:千円)

4 5月13日の地震災害

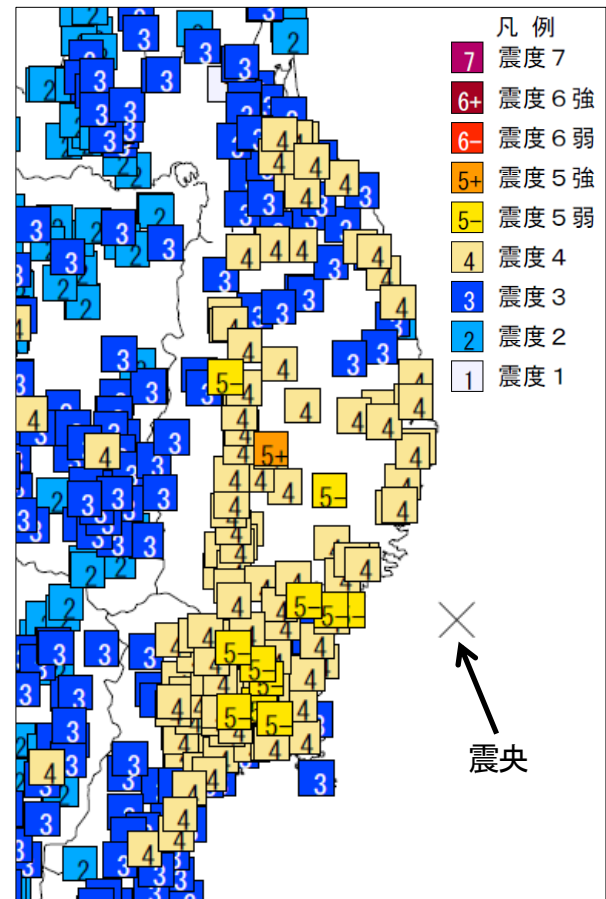
(1) 概要

5月13日06時12分に宮城県沖の深さ46kmでM6.8の地震が発生し、岩手県で震度5強を観測した他、北海道から中部地方にかけて震度5弱～1を観測した。県内では、花巻市で震度5強、滝沢市、遠野市、一関市で震度5弱を観測した他、全域で震度4～2を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

○東北地方の主な震度

(市町村名称は地震情報で発表する場合の名称)

震度	県	市町村
5強	岩手県	花巻市
5弱	岩手県	遠野市 一関市、滝沢市
	宮城県	石巻市、気仙沼市、登米市、栗原市、涌谷町
4	青森県	八戸市、六戸町、おいらせ町、五戸町、青森南部町、階上町
	岩手県	北上市、奥州市、金ヶ崎町、平泉町、盛岡市、二戸市、八幡平市、紫波町、矢巾町、九戸村、一戸町、宮古市、久慈市、山田町、普代村、野田村、大船渡市、陸前高田市、釜石市、住田町、大槌町
	秋田県	秋田市、大仙市、井川町
	宮城県	大崎市、色麻町、宮城加美町、宮城美里町、南三陸町、仙台宮城野区、塩竈市、東松島市、松島町、利府町、大和町、大郷町、富谷町、大衡村、女川町、名取市、岩沼市、大河原町
	山形県	中山町



岩手県周辺の震度分布図(観測点震度)

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	500	営農指導施設の損傷 1棟	陸前高田市
	農地・農業用施設	9,000	農地の法面崩壊 1箇所、農業用施設の破損 1箇所	北上市、花巻市
林業	林業施設	1,400	林道法面の崩壊 2箇所	金ヶ崎町
計		10,900		

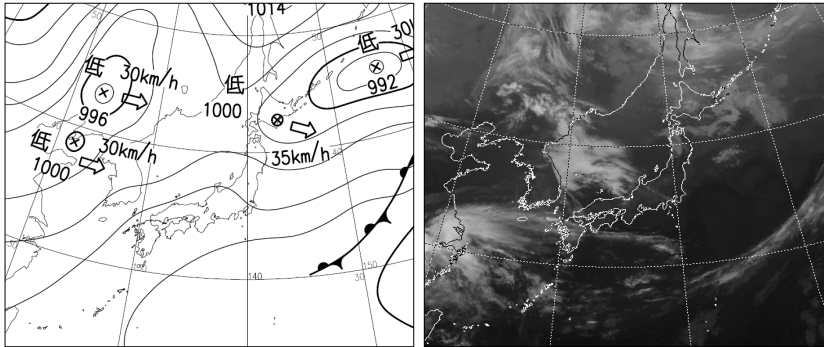
(単位:千円)

5 5月14日・17日の強風災害

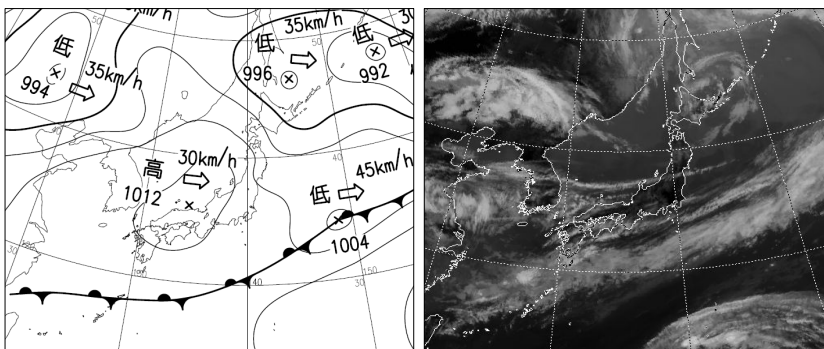
(1) 気象概況

発達した低気圧が千島近海などにあり、北日本は気圧の傾きが大きくなった。このため、県内は広い範囲で西よりの風がやや強くなった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(5月14日06時、5月17日12時)



5月14日06時



5月17日12時

○警報・注意報の発表状況(5月14日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	乾燥	岩手県
	なだれ	花北地域、奥州金ヶ崎地域、八幡平市、一関市、雫石町

○警報・注意報の発表状況(5月17日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	乾燥	岩手県
	濃霧	岩手県
	霜	内陸、沿岸北部
	なだれ	花北地域、奥州金ヶ崎地域、一関市、八幡平市、雫石町

○5月14日、17日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名	日	日最大風速			日最大瞬間風速			
		値	風向	起時	値	風向	起時	
アメダス	14	紫波	12.9	西	07時52分	21.0	西	09時08分
		遠野	13.3	西北西	10時47分	23.6	西	09時28分
		若柳	12.5	西	06時44分	24.0	西	07時23分
官署等		盛岡	8.8	南西	05時58分	15.3	南西	07時51分

	宮古		6.7	西南西	10時28分	13.5	西	08時18分
	大船渡		7.1	北西	10時25分	13.7	北北西	10時23分
アメダス	好摩	17	9.0	南南西	09時11分	19.3	北西	13時01分
	新町		10.1	北西	14時06分	19.3	北北西	15時20分
	若柳		10.6	西	15時04分	19.0	北西	11時49分
	住田		9.5	西北西	12時51分	19.8	西	12時46分
官署等	盛岡		9.5	西	13時18分	15.9	西北西	14時04分
	宮古		6.4	西	14時09分	17.6	西南西	14時02分
	大船渡		9.1	北北西	13時49分	17.6	北北西	13時09分

※)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

※黄色は5月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	342	パイプハウスの破損 6棟	北上市、花巻市
計		342		

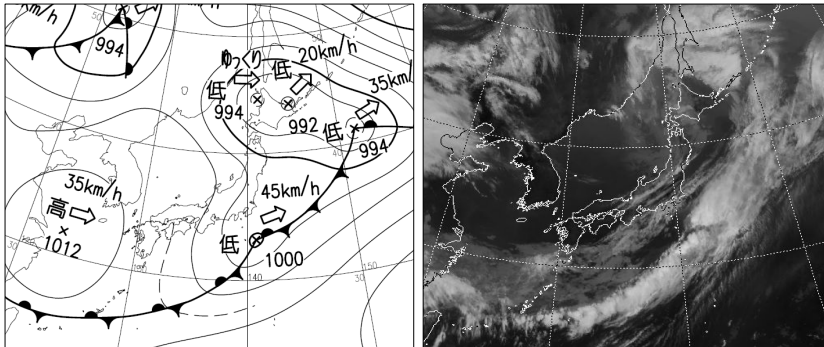
(単位:千円)

6 6月4日の強風災害

(1) 気象概況

発達した低気圧が北海道付近にあり、北日本は気圧の傾きが大きくなった。このため、県内は広い範囲で西よりの風が強くなった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(6月4日09時)



○警報・注意報の発表状況(6月4日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
	乾燥	沿岸北部、沿岸南部
	濃霧	岩手県
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	霜	沿岸北部、二戸地域、盛岡地域

○6月4日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名		日最大風速			日最大瞬間風速		
		値	風向	起時	値	風向	起時
アメダス	沢内	8.1	南西	12時04分	20.8	南西	13時08分
	遠野	11.5	西	07時33分	21.7	西北西	07時30分
	新町	12.3	西北西	01時02分	23.7	北西	00時57分
	釜石	10.6	西	03時58分	21.7	西	03時40分
	住田	9.7	西北西	11時40分	20.1	西	14時05分
官署等	盛岡	8.7	西北西	14時40分	15.3	南西	11時49分
	宮古	9.7	西南西	01時35分	18.7	西	01時52分
	大船渡	12.2	北西	01時34分	20.1	北北西	01時34分

※黄色は6月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

(2) 被害状況

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物 807	きゅうり 0.10ha	宮古市
計	807		

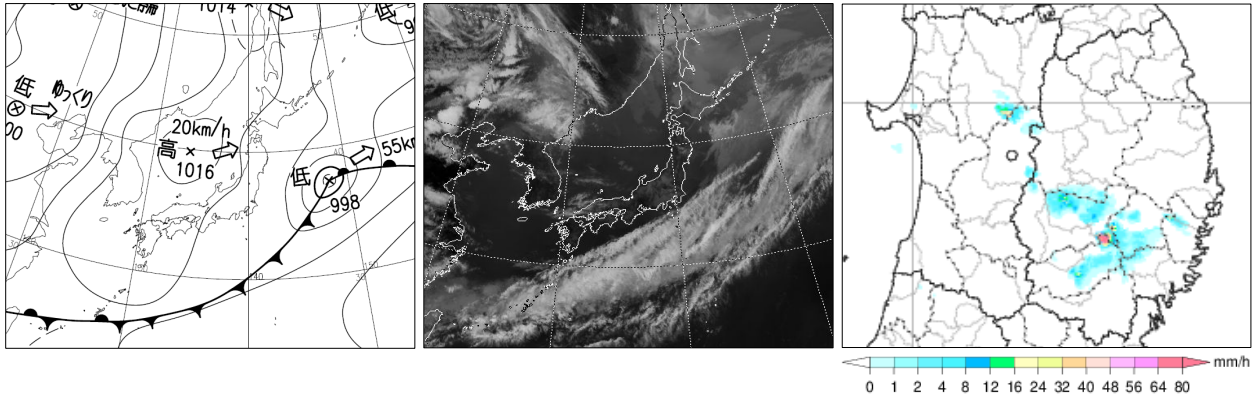
(単位:千円)

7 6月6日の降雹災害

(1) 気象概況

日本付近は気圧の谷となり、東北地方の上空約5,500メートルに氷点下15度以下の寒気が流入した。このため、県内は大気の状態が不安定となり、雷雨となった地域があった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(6月6日15時)、レーダーエコー(6月6日17時)



○警報・注意報の発表状況(6月6日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	宮古市、山田町
	大雨	奥州金ケ崎地域、大船渡地域、花巻市、北上市、遠野市、平泉町
	洪水	奥州金ケ崎地域、大船渡地域、花巻市、北上市、遠野市、平泉町
	雷	岩手県
	霜	沿岸北部、二戸地域、盛岡地域

(2) 被害状況

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	りんご 12.80ha	奥州市
計	18,672		

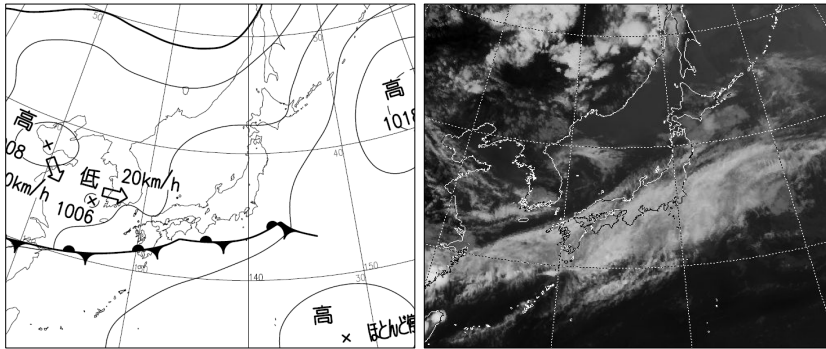
(単位:千円)

8 6月14日の降雹災害

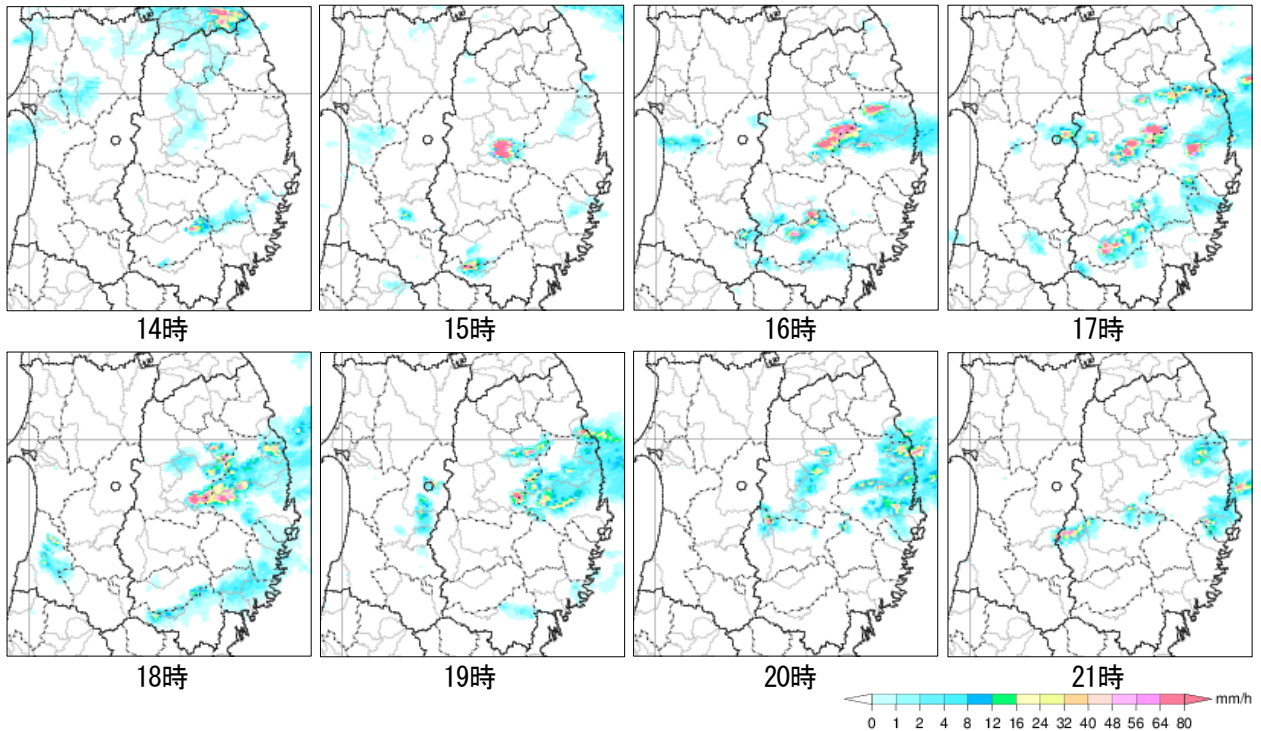
(1) 気象概況

日本付近は気圧の谷となり、東北地方の上空約5,500メートルに氷点下15度以下の寒気が流入した。このため、県内は大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う局地的な大雨となった地域があった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(6月14日18時)



○レーダーエコー(6月14日14時～21時)



○警報・注意報の発表状況(6月14日:岩手県)

警報	注意報	地域
大雨		盛岡市、宮古市、紫波町、矢巾町
	大雨	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、花巻市、北上市、遠野市
洪水		盛岡市、宮古市、紫波町、矢巾町
	洪水	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、花巻市、北上市、遠野市
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(6月14日)

・岩手県竜巻注意情報 第1号～第6号

○岩手県気象情報の発表状況(6月14日)

- ・雷と突風に関する岩手県気象情報 第1号
- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第2号～第3号

○6月14日の主な地点の降水量(mm)

地点名		日	日最大1時間(起時)
アメダス	普代	19.0	10.0 (17時32分)
	区界	75.0	58.5 (18時29分)
	川井	15.0	10.0 (19時54分)

※黄色は6月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	43,899	りんご等 17.11ha	盛岡市、宮古市
計		43,899		

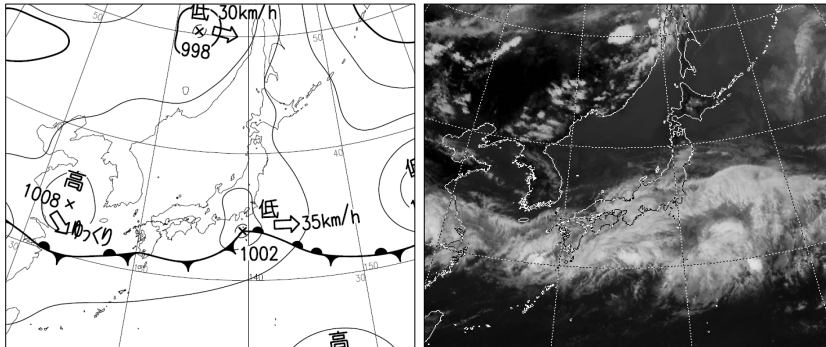
(単位:千円)

9 6月16日の大雨・降雹災害

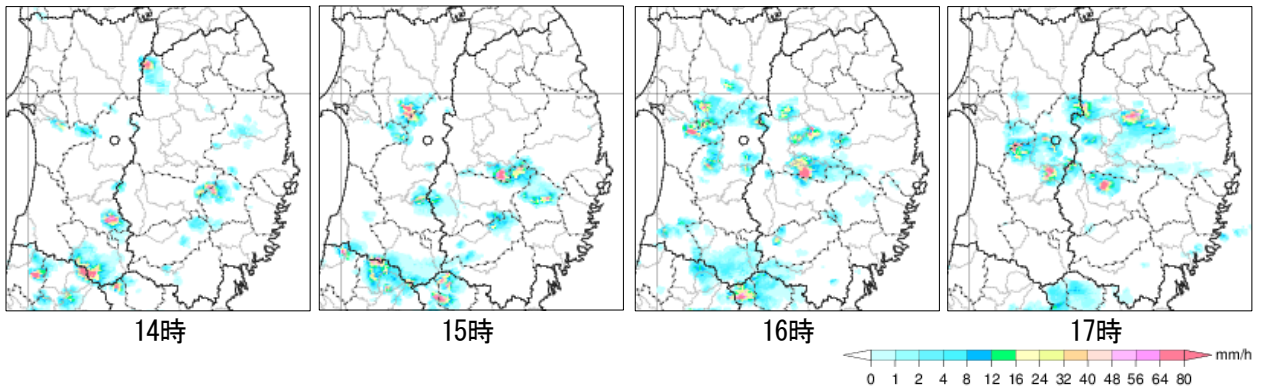
(1) 気象概況

北日本は高気圧に覆われたが、東北地方の上空約5,500メートルに氷点下12度以下の寒気が流入した。このため、県内は大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う局地的な大雨となった地域があった他、紫波町ではダウンバーストの可能性が高い局地的な突風が発生した。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(6月16日15時)



○レーダーエコー(6月16日14時~17時)



○警報・注意報の発表状況(6月16日:岩手県)

警報	注意報	地域
大雨		盛岡市、花巻市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町
	大雨	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、北上市、遠野市、八幡平市、葛巻町、岩手町、西和賀町
洪水		盛岡市、花巻市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町
	洪水	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、北上市、遠野市、八幡平市、葛巻町、岩手町、西和賀町
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(6月16日)

	地域
第1号	花巻市、紫波町
第2号	解除

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(6月16日)

- ・岩手県竜巻注意情報 第1号

○岩手県記録的短時間大雨情報の発表状況(6月16日)

- ・岩手県記録的短時間大雨情報 第1号

○岩手県気象情報の発表状況(6月16日)

- ・雷と突風に関する岩手県気象情報 第1号
- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第2号～第5号

○6月16日の主な地点の降水量(mm)

地点名		日	日最大1時間	
		値	値	起時
アメダス	紫波	98.0	95.5	16時30分

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	43,717	りんご、きゅうり等 25.75ha	紫波町
	農地・農業用施設	10,000	農地・水路等の法面崩壊 10箇所	紫波町
計		53,717		

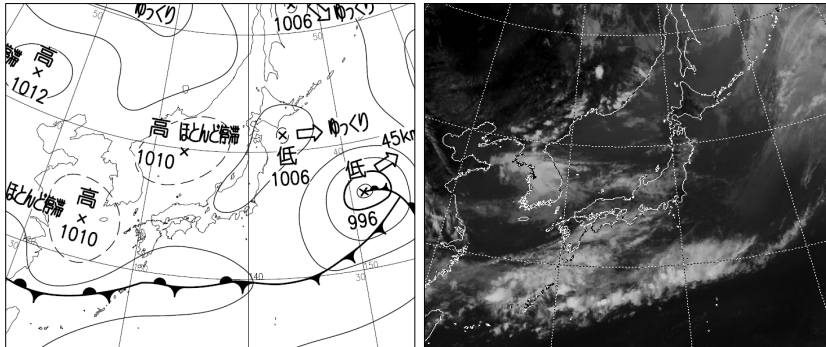
(単位:千円)

10 6月20日の落雷災害

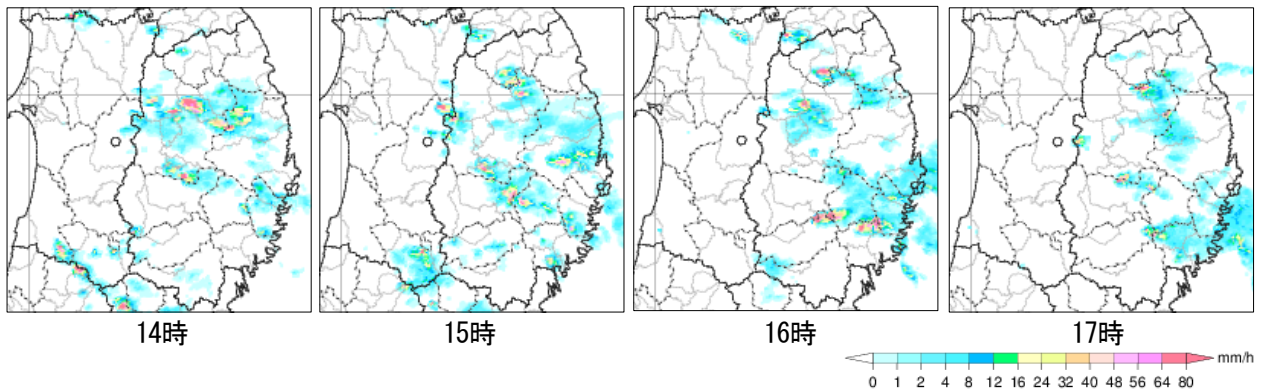
(1) 気象概況

日本付近は気圧の谷となり、東北地方の上空約5,500メートルに氷点下12度以下の強い寒気が流入した。このため、県内は大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う局地的な大雨となった地域があった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(6月20日15時)



○レーダーエコー(6月20日14時~17時)



○警報・注意報の発表状況(6月20日:岩手県)

警報	注意報	地域
	高潮	宮古市、山田町
大雨		花巻市
	大雨	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、北上市、遠野市、西和賀町
	洪水	岩手県
	雷	岩手県
	濃霧	沿岸北部、沿岸南部

○岩手県竜巻注意情報の発表状況(6月20日)

- ・岩手県竜巻注意情報 第1号~第4号

○岩手県気象情報の発表状況(6月20日)

- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号~第3号

○6月20日の主な地点の降水量(mm)

地点名		日	日最大1時間(起時)
アメダス	葛巻	22.5	14.5 (16時04分)
	紫波	39.0	33.5 (15時25分)
	米里	23.0	23.0 (17時10分)

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	10,000	集落排水施設の破損 1カ所	釜石市
計		10,000		

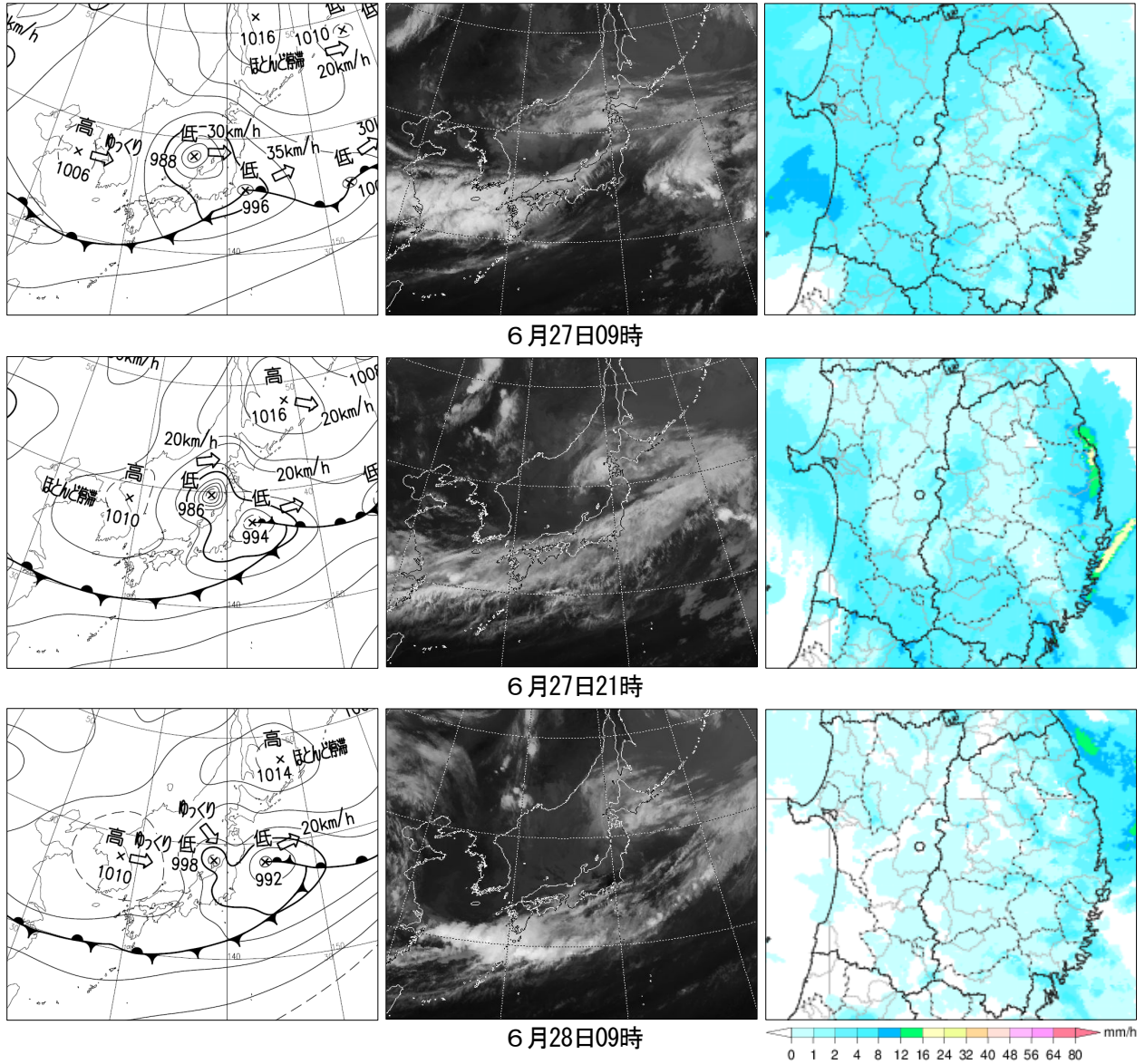
(単位:千円)

11 6月27日から28日の大雨・波浪災害

(1) 気象概況

低気圧が日本海中部にあり、また梅雨前線上の低気圧が関東の東にあつて三陸沖を北上した。このため、県内は大雨となった地域があり、海上では高波となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(6月27日09時、21時、6月28日09時)



○警報・注意報の発表状況(6月27日~28日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	岩手県
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨		沿岸北部、両磐地域、釜石地域、大船渡市、花巻市、奥州市
	大雨	二戸地域、盛岡地域、北上市、遠野市、陸前高田市、西和賀町、金ヶ崎町、住田町
洪水		釜石地域、宮古市、大船渡市、平泉町、岩泉町
	洪水	二戸地域、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、久慈地域、遠野市、一関市、陸前高田市、住田町、山田町、田野畑村
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(6月28日)

	地域
第1号	宮古市、野田村
第2号	宮古市、久慈市、野田村
第3号	宮古市、久慈市、普代村、野田村
第4号	宮古市、久慈市、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村
第5号	宮古市、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村
第6号	解除

○岩手県気象情報の発表状況(6月26日～28日)

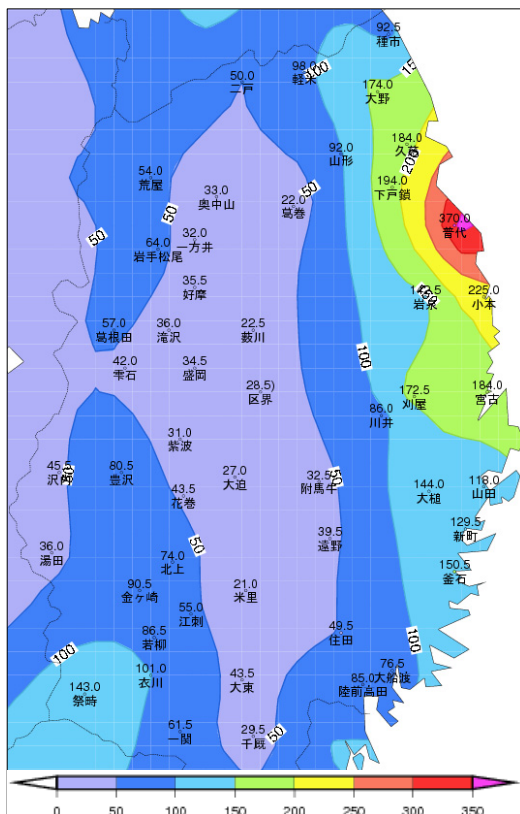
- ・大雨に関する岩手県気象情報 第1号～第5号
- ・大雨と高波に関する岩手県気象情報 第6号～第10号

○6月27日～28日の主な地点の降水量(mm)

地点名	期間 合計	27日		28日		
		日合計	日最大1時間(起時)	日合計	日最大1時間(起時)	
アメダス	大野	174.0	112.0	13.5 (10時09分)	62.0	11.5 (01時36分)
	久慈	184.0	91.5	12.0 (22時48分)	92.5	16.5 (04時20分)
	下戸鎖	194.0	142.0	13.5 (13時07分)	52.0	6.0 (03時35分)
	普代	370.0	206.0	26.0 (22時44分)	164.0	25.5 (04時37分)
	小本	225.0	38.0	6.0 (12時03分)	187.0	39.0 (05時37分)
	刈屋	172.5	145.5	14.0 (19時50分)	27.0	6.0 (05時30分)
	釜石	150.5	130.5	13.0 (22時07分)	20.0	5.5 (00時17分)
官署等	盛岡	34.5	33.0	7.0 (10時30分)	1.5	1.0 (17時24分)
	宮古	184.0	87.5	23.5 (24時00分)	96.5	24.5 (00時23分)
	大船渡	76.5	76.0	9.0 (14時38分)	0.5	0.5 (13時17分)

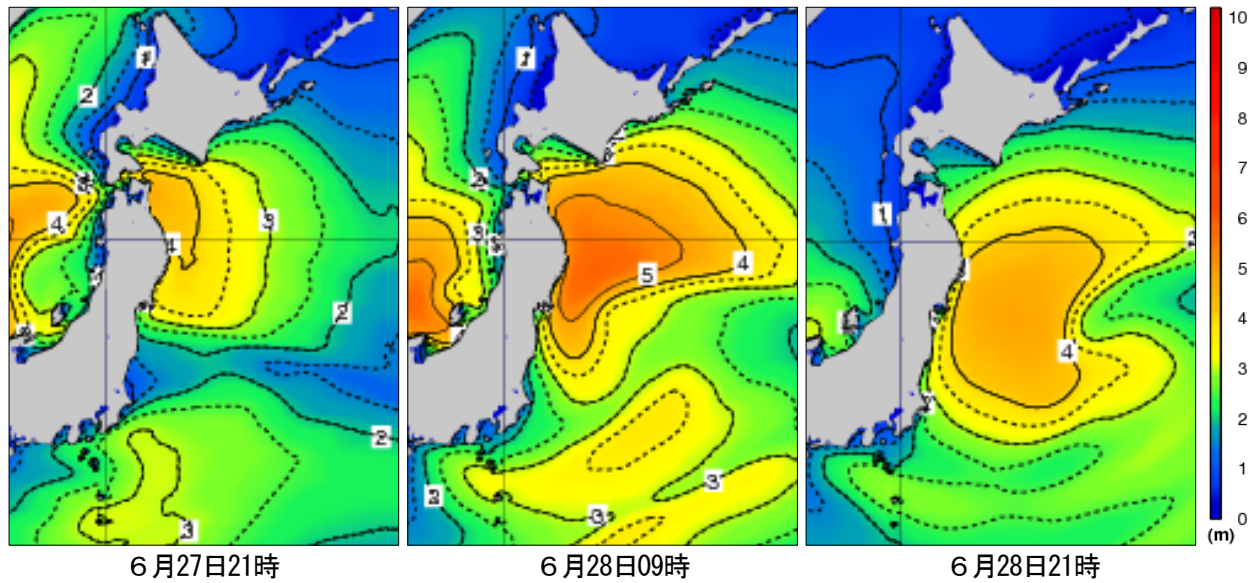
※黄色は6月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

○6月27日～28日の期間合計降水量(mm)の分布図



※)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

○沿岸波浪図(6月27日21時、6月28日09時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農地・農業用施設	2,000	農地・農道の法面崩壊 3箇所	宮古市、野田村
林業	林業施設	31,500	林道の法面崩壊等 11箇所	釜石市、岩泉町、野田村
水産業	水産物	46,300	養殖物の落下 413 t	宮古市
計		79,800		

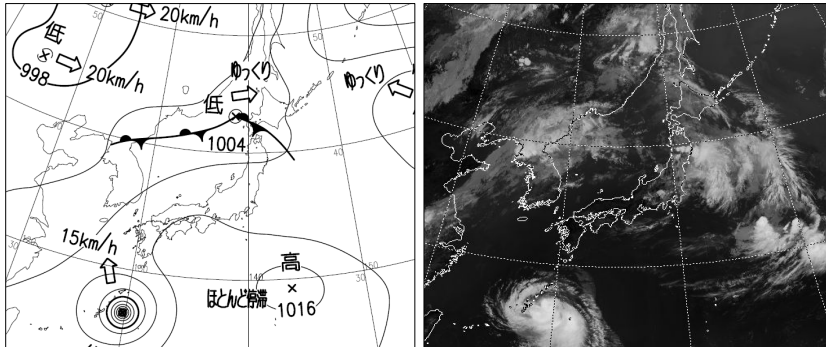
(単位:千円)

12 7月25日の大雨災害

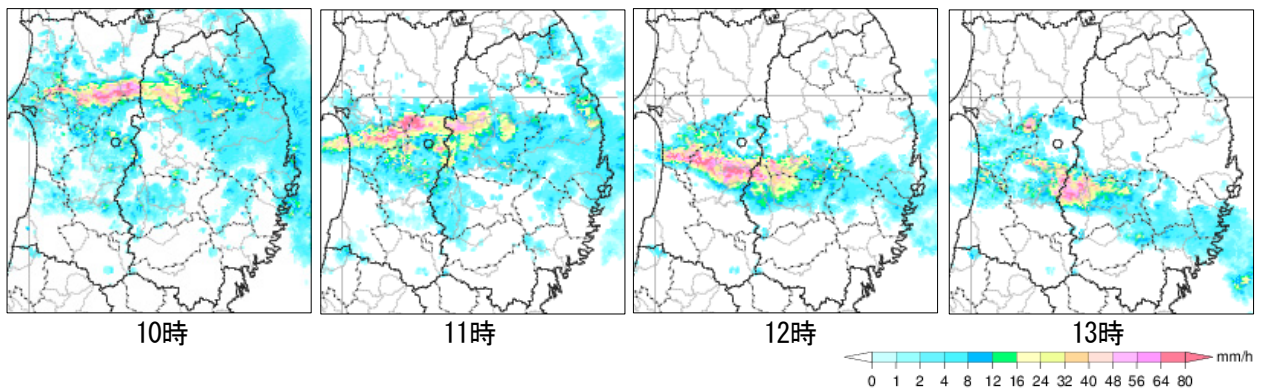
(1) 気象概況

梅雨前線が朝鮮半島から津軽海峡付近を経て三陸沖にのびて停滞し、前線に向かって暖かく湿った空気が流入した。このため、県内は大気の状態が不安定となり、大雨となった地域があった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像(7月25日12時)



○レーダーエコー(7月25日10時~13時)



○警報・注意報の発表状況(7月25日:岩手県)

警報	注意報	地域
大雨		二戸地域、花北地域、盛岡市、宮古市、遠野市、八幡平市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、岩泉町
	大雨	沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、久慈地域、滝沢市、山田町、田野畑村
洪水		花北地域
	洪水	沿岸北部、沿岸南部、二戸地域、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(7月25日)

	地域
第1号	八幡平市
第2号	花巻市、八幡平市
第3号	花巻市
第4号	花巻市、北上市、雫石町、西和賀町
第5号	花巻市、西和賀町
第6号	解除

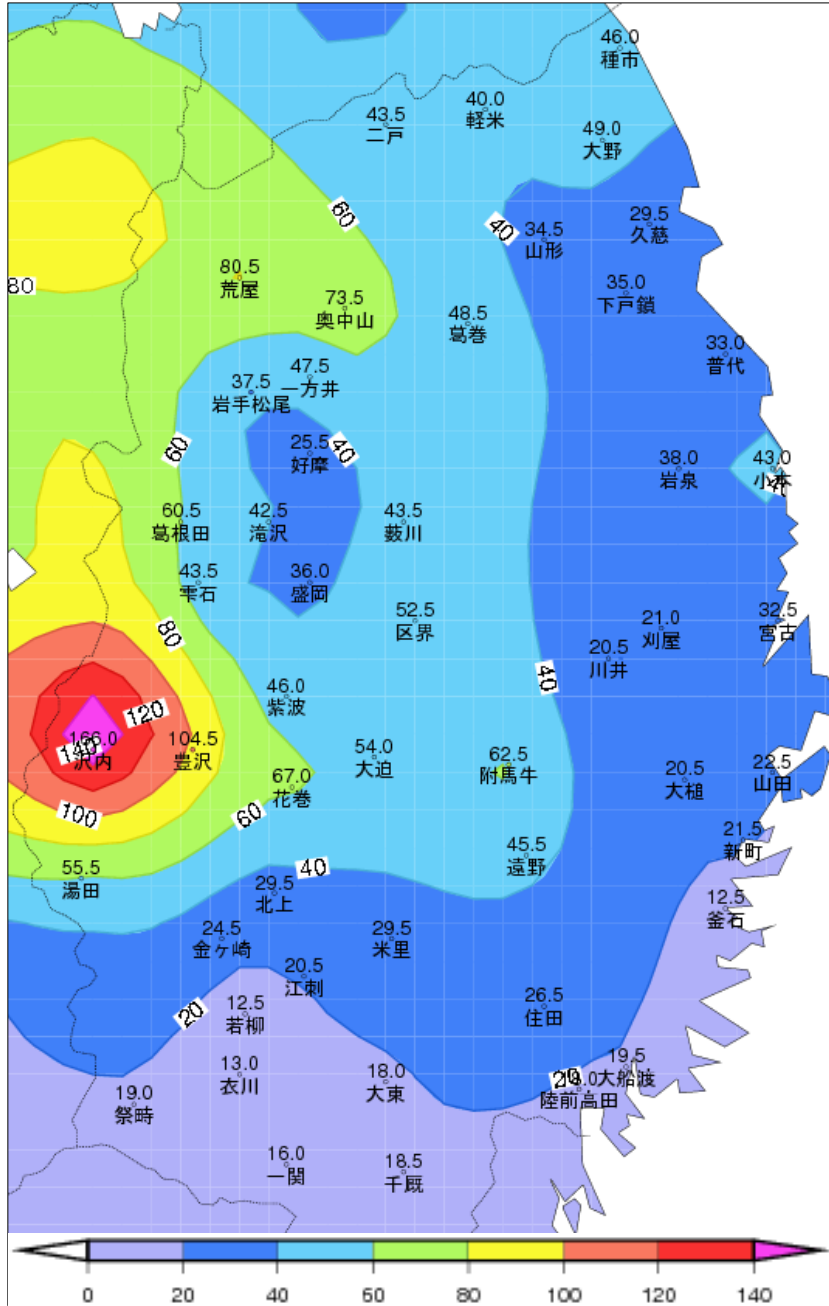
○岩手県気象情報の発表状況(7月24日~25日)

・大雨と雷に関する岩手県気象情報 第1号~第7号

○7月25日の主な地点の降水量(mm)

地点名		日合計	日最大1時間(起時)
アメダス	沢内	166.0	41.0 (13時08分)
	豊沢	104.5	24.0 (13時24分)
官署等	盛岡	36.0	10.5 (12時05分)
	宮古	32.5	8.0 (10時16分)
	大船渡	19.5	8.0 (08時58分)

○7月25日の日合計降水量(mm)の分布図



(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	2,889	水稻、そば等 74.00ha、牛 1頭、鶏 600羽	西和賀町
	農地・農業用施設	24,000	農地の法面崩壊 3箇所、 頭首工等の農業施設の破損 8箇所	西和賀町
計		26,889		

(単位:千円)

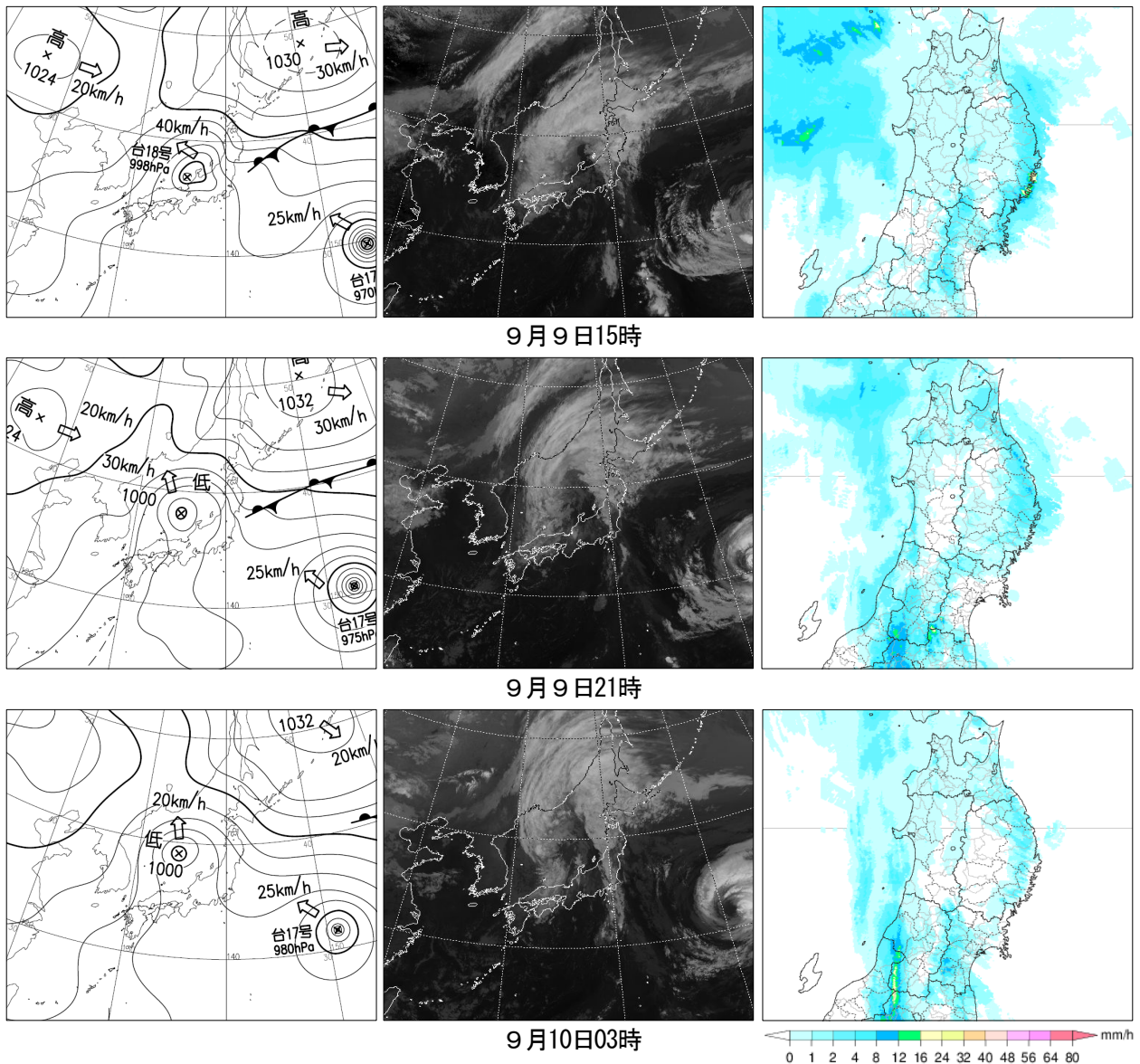
13 9月9日から11日の大雨災害

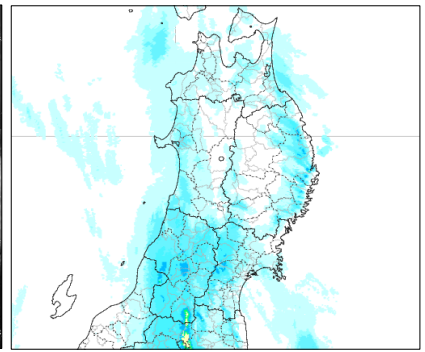
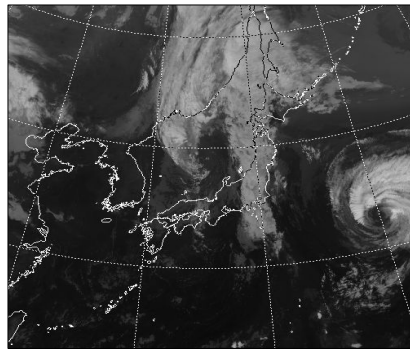
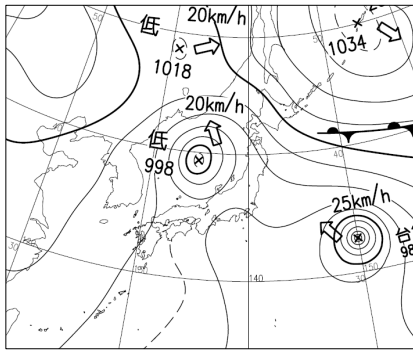
(1) 気象概況

前線が8日から9日にかけて三陸沖に停滞した。一方、日本の南海上にある台風第18号が北上し、9日に東海地方を経て日本海で低気圧に変わり、11日にかけて日本海中部をゆっくり北上した。また、台風第17号が10日から11日にかけて日本の東海上を北上した。このため、県内は9日から10日昼頃にかけて前線や湿った東よりの風の影響により沿岸を中心に大雨となり、また10日夜から11日朝にかけて台風第17号からの湿った東よりの風と日本海の低気圧をまわる西よりの風が収束し、発達した積乱雲が次々とかかった内陸の南部を中心に大雨となった。

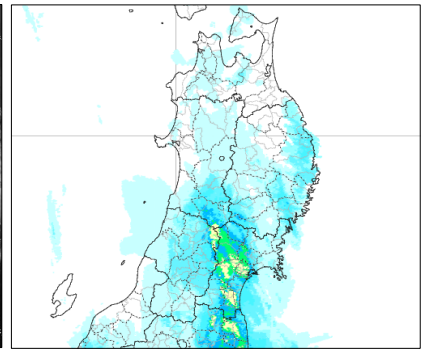
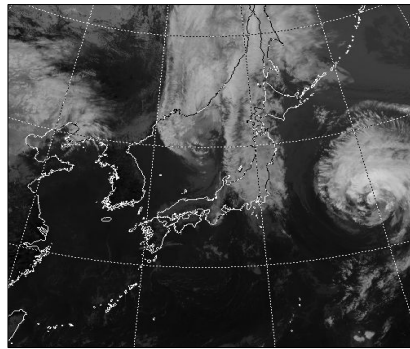
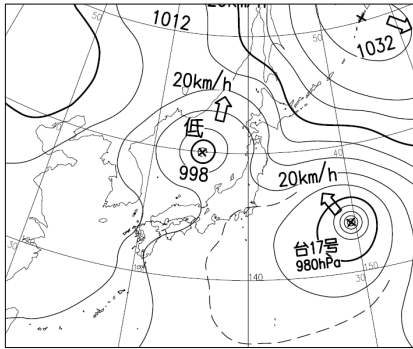
○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量

(9月9日15時、21時、9月10日03時、09時、15時、21時、9月11日03時、09時)

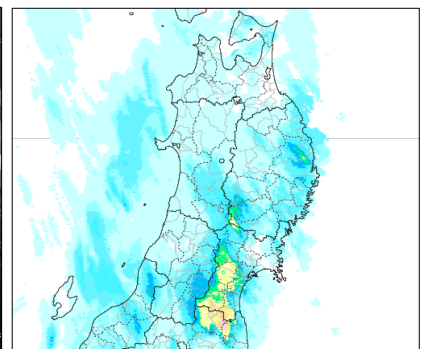
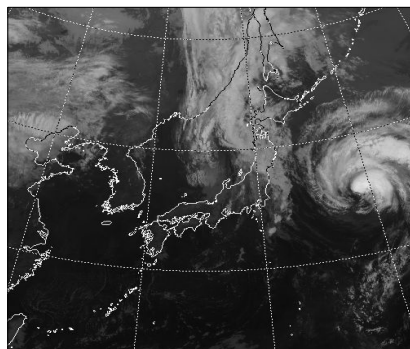
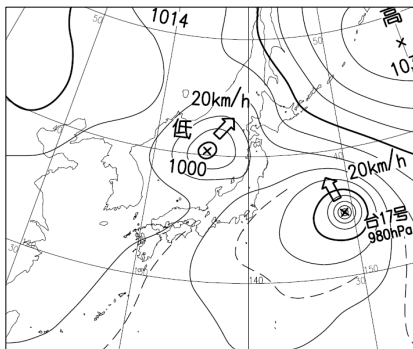




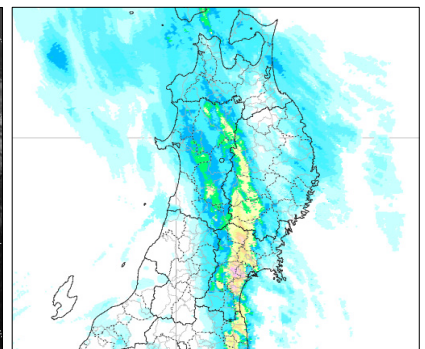
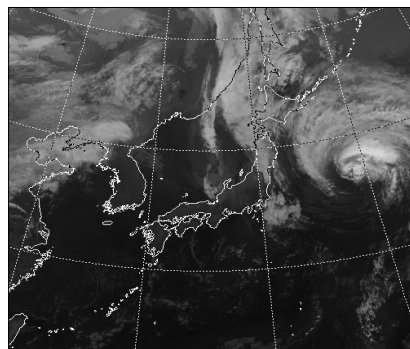
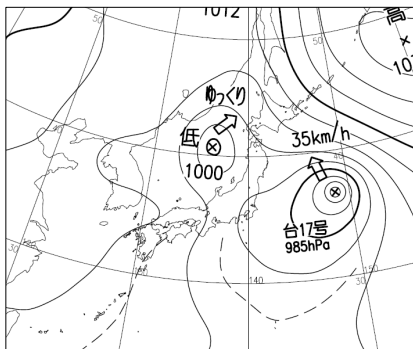
9月10日09時



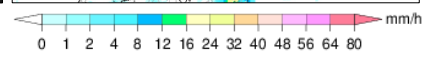
9月10日15時

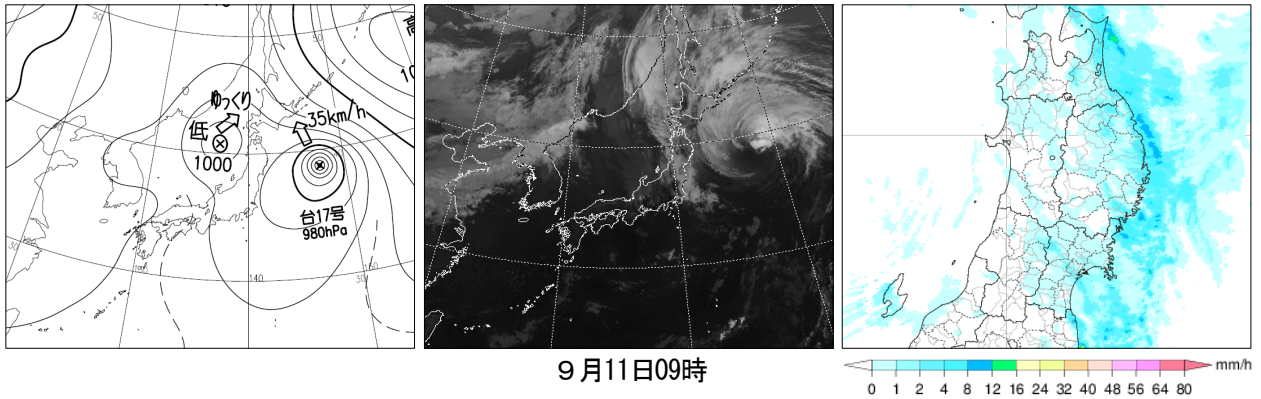


9月10日21時



9月11日03時





9月11日09時

○警報・注意報の発表状況(9月9日～11日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	宮古市、山田町
大雨		沿岸北部、沿岸南部、花北地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、盛岡市、遠野市、八幡平市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、軽米町、洋野町
	大雨	二戸市、葛巻町、岩手町、九戸村、一戸町
洪水		沿岸北部、沿岸南部、花北地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、盛岡市、遠野市、八幡平市、滝沢市、雫石町、紫波町、矢巾町、軽米町
	洪水	二戸市、葛巻町、岩手町、九戸村、一戸町
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(9月10日～11日)

	地域
第1号	一関市
第2号	一関市、奥州市
第3号	一関市、奥州市、平泉町
第4号	花巻市、北上市、一関市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町、平泉町
第5号	一関市
第6号	解除
第7号	岩泉町、田野畑村
第8号	解除

○指定河川洪水予報の発表状況(9月11日)

・北上川上流洪水予報 第1号～第5号(北上川上流はん濫注意情報)

○岩手県気象情報の発表状況(9月9日～9月11日)

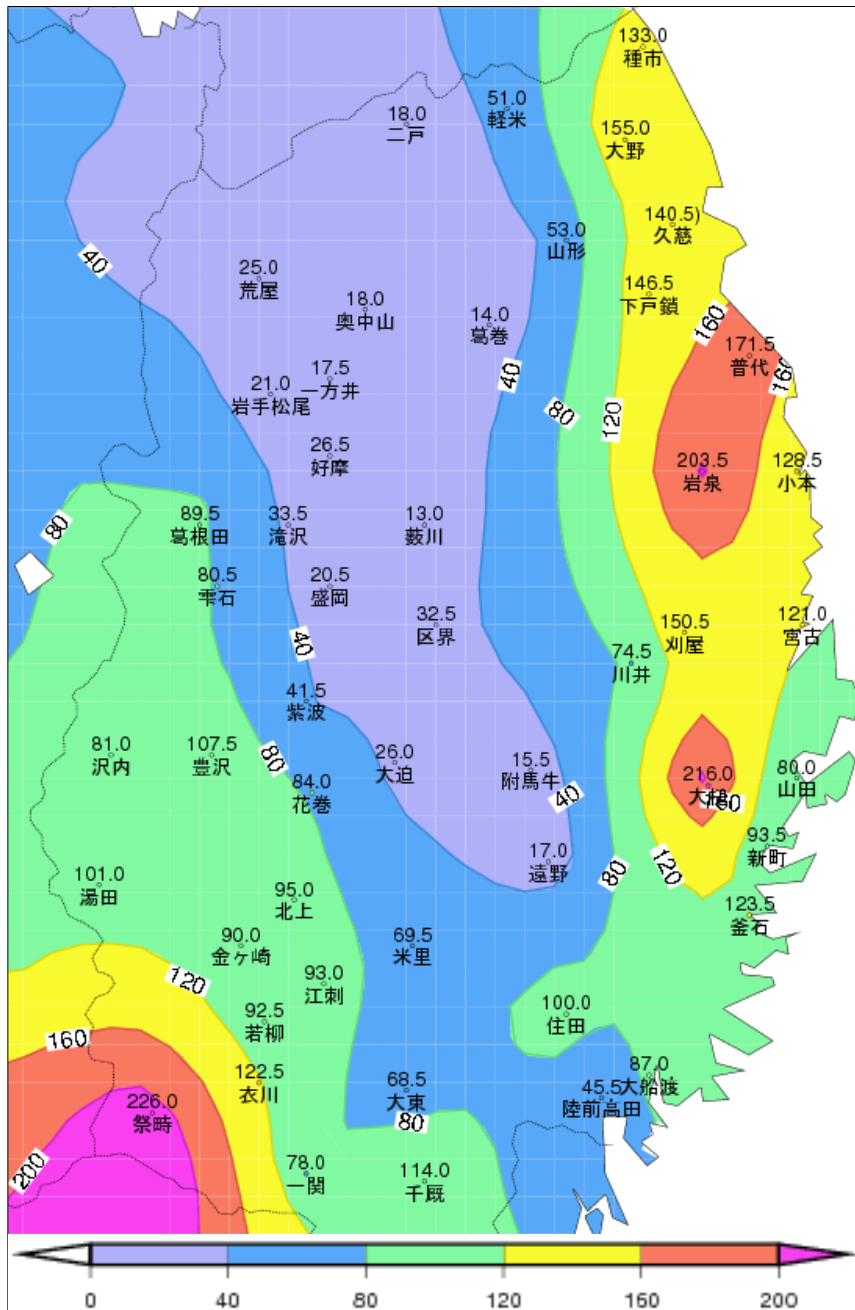
・大雨と高波に関する岩手県気象情報 第1号～第8号

○9月9日～11日の主な地点の降水量(mm)

地点名	期間 合計	9日		10日		11日	
		日	日最大1時間 (起時)	日	日最大1時間 (起時)	日	日最大1時間 (起時)
アメダス	大野	155.0	75.0 14.5 (17時57分)	41.0	6.5 (24時00分)	39.0	7.5 (08時04分)
	普代	171.5	64.5 14.5 (16時55分)	49.0	9.0 (22時07分)	58.0	10.5 (03時38分)

	岩泉	203.5	61.0	9.0 (18時56分)	96.0	11.5 (21時23分)	46.5	8.0 (07時12分)
	刈屋	150.5	46.5	10.5 (18時10分)	62.5	9.5 (20時50分)	41.5	8.0 (00時50分)
	大槌	216.0	49.0	12.0 (16時45分)	131.5	11.0 (24時00分)	35.5	11.0 (07時09分)
	祭時	226.0	17.0	6.0 (15時26分)	105.5	18.0 (22時55分)	103.5	45.0 (01時41分)
官署等	盛岡	20.5	0.0	-	2.5	1.5 (17時29分)	18.0	5.5 (06時37分)
	宮古	121.0	49.5	8.0 (15時31分)	32.5	13.5 (20時28分)	39.0	8.0 (06時50分)
	大船渡	87.0	25.0	8.5 (15時20分)	25.5	6.5 (22時12分)	36.5	18.5 (06時45分)

○9月9日～11日の期間合計降水量(mm)の分布図



(2) 被害状況

	区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	12,276	水稲・大豆等 58.20ha	一関市、奥州市、岩泉町等 4市町
	農業施設	300	パイプハウスの損壊 1棟	一関市
	農地・農業用施設	314,000	農地の法面崩壊等 130箇所、水路・農道等の法面崩壊等 160箇所	一関市、奥州市、花巻市等 7市町
林業	林業施設	68,650	林道の法面崩壊等 58箇所	一関市、奥州市、金ヶ崎町等 5市町
	林地荒廃	106,000	山腹崩壊 6箇所	一関市、宮古市
水産業	水産施設	1,268	共同利用施設の破損等 1箇所、定置網の破損 2ヶ統	洋野町、宮古市
計		502,494		

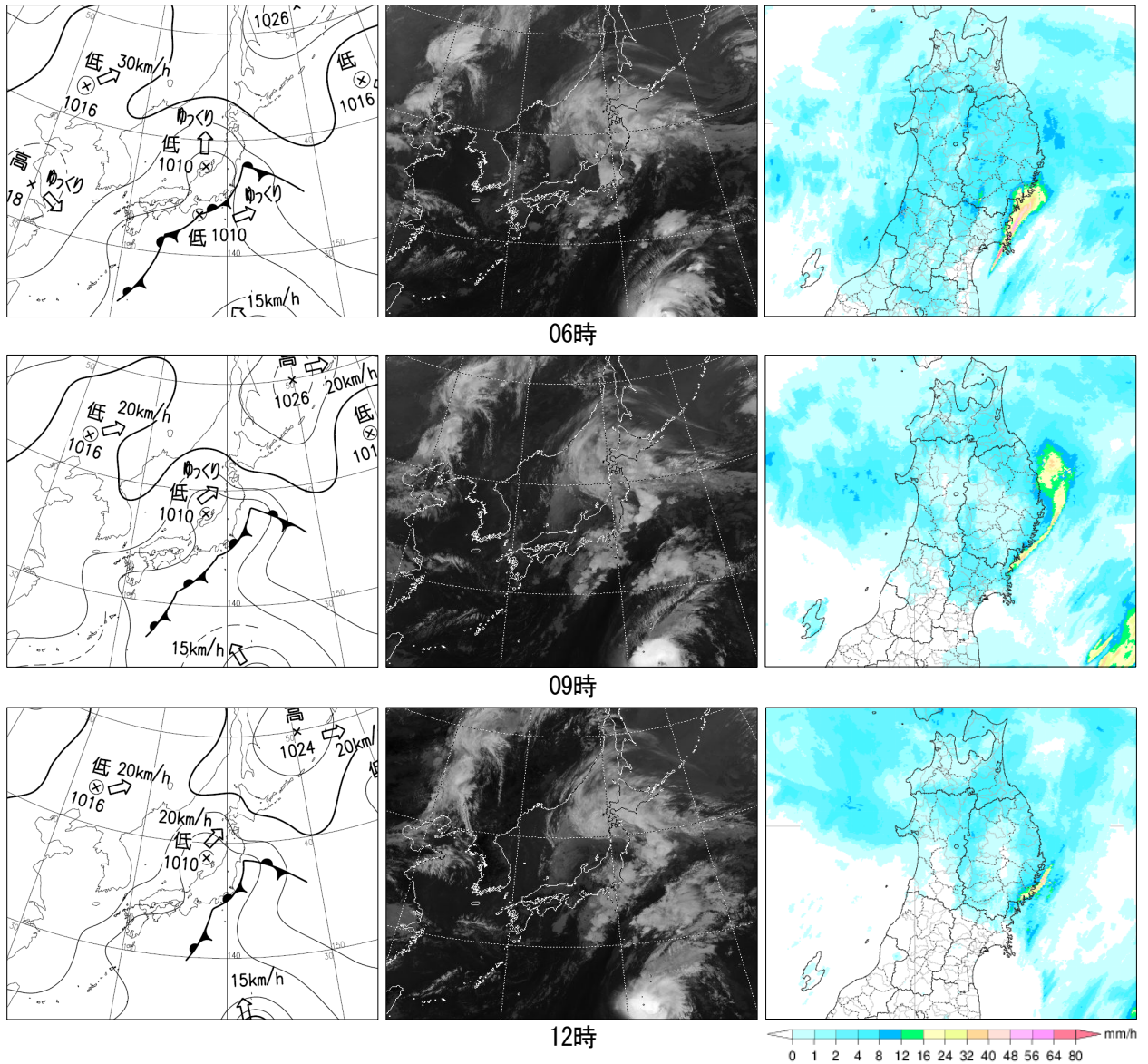
(単位:千円)

14 9月18日の大雨災害

(1) 気象概況

上空に寒気を伴った低気圧が能登半島付近にあってゆっくり北東に進んだ。また、日本の南から三陸沖にのびる前線が岩手県沿岸を北上した。このため、県内は沿岸南部で大雨となった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(9月18日06時、09時、12時)



○警報・注意報の発表状況(9月18日:岩手県)

警報	注意報	地域
	強風	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部、釜石地域
大雨		釜石地域、花巻市、大船渡市、陸前高田市
	大雨	沿岸北部、盛岡地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、北上市、遠野市、西和賀町、住田町、九戸村、
洪水		釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	洪水	沿岸北部、盛岡地域、花北地域、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、遠野市、住田町
	雷	岩手県

	濃霧	岩手県
--	----	-----

○岩手県土砂災害警戒情報の発表状況(9月18日~19日)

	地域
第1号	大船渡市、釜石市
第2号	解除
第1号	大船渡市、陸前高田市、釜石市、大槌町
第2号	解除

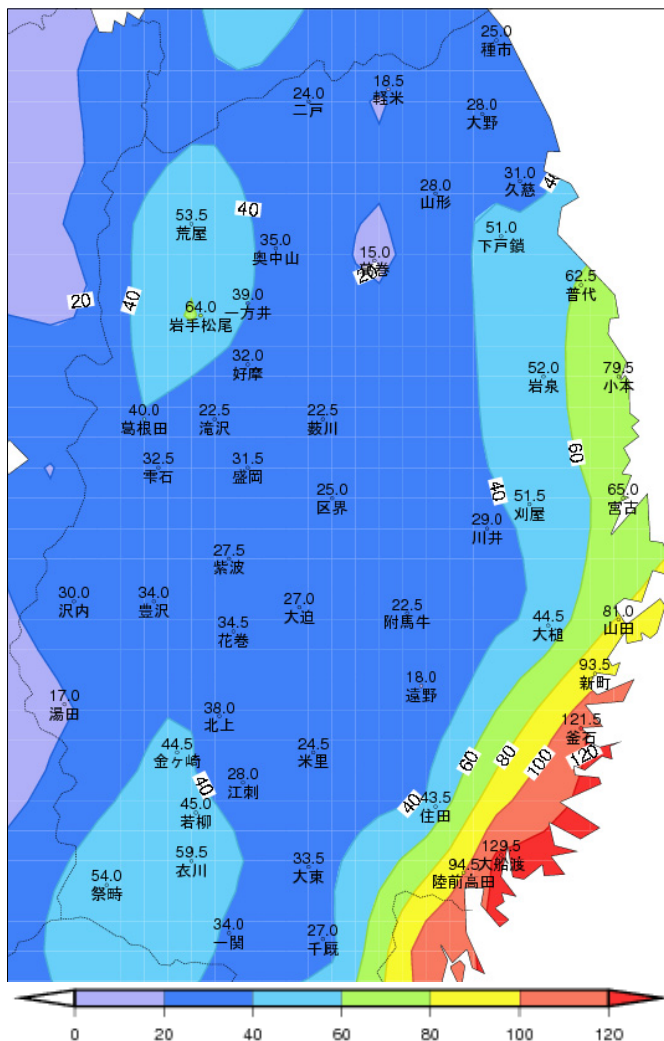
○岩手県気象情報の発表状況(9月17日~19日)

- ・大雨と雷及び突風に関する岩手県気象情報 第1号~第4号
- ・大雨と雷に関する岩手県気象情報 第5号、第6号

○9月18日の主な地点の降水量(mm)

		日	日最大1時間(起時)
アメダス	新町	166.0	16.0 (07時15分)
	釜石	104.5	20.5 (07時24分)
	陸前高田	94.5	17.5 (10時36分)
官署等	盛岡	31.5	7.5 (07時42分)
	宮古	65.0	11.0 (07時41分)
	大船渡	129.5	25.0 (11時30分)

○9月18日の日降水量(mm)の分布図



(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	95	大豆 0.94ha	陸前高田市
計		95		

(単位:千円)

15 5月から9月の暑熱災害

○5月14日(一関市)

(1) 気象概況

太平洋高気圧が本州付近に張り出し、県内は晴れた所が多く、最高気温が平年よりも高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(°C)

地点名		最高気温(14日)	
		値	起時
アメダス	一関		27.4
		+7.1	
千厩	25.4	13時39分	
		+5.8	

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	1,608	鶏3,324羽	一関市
計		1,608		

(単位:千円)

○7月2日~3日(奥州市、住田町、洋野町)

(1) 気象概況

2日から3日にかけて、低気圧が日本海北部から北海道に進み、梅雨前線が本州の南岸に停滞した。県内は2日を中心に晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりも高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(°C)

地点名		最高気温(2日)		最高気温(3日)	
		値	起時	値	起時
アメダス	種市		24.8		09時33分
		+4.4		+2.2	
	若柳	29.3	13時12分	27.0	15時59分
			+4.7		+2.3
	江刺	29.9	13時49分	27.5	14時42分
			+4.9		+2.4
	住田	29.1	12時31分	26.2	13時47分
			+5.2		+2.1

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	721	鶏1,491羽	奥州市等 3市町
計		721		

(単位:千円)

○7月8日(一関市)

(1) 気象概況

日本海北部にある高気圧が北日本を覆い、県内は晴れや曇りとなった。

・主な地点の最高気温(°C)

地点名		最高気温(8日)	
		値	起時

アメダス	一関	25.9	11時25分
			0.0
	千厩	24.0	11時30分
			-1.2

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	48	鶏100羽	一関市
計		48		

(単位:千円)

○7月12日～15日(盛岡市、大船渡市、花巻市、久慈市、一関市、陸前高田市、八幡平市、奥州市、金ケ崎町、住田町、田野畑村、野田村、一戸町)

(1) 気象概況

12日から15日にかけて、日本のはるか東にある高気圧が日本付近を覆い、県内は晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりもかなり高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(12日)		最高気温(13日)		最高気温(14日)		最高気温(15日)	
		値	起時	値	起時	値	起時	値	起時
			平年差		平年差		平年差		平年差
アメダス	山形	33.4	13時53分	35.1	13時33分	32.5	12時47分	30.1	15時11分
			+9.8		+11.4		+8.7		+6.1
	久慈	32.1	15時18分	28.8	12時20分	34.1	13時03分	28.8	14時04分
			+9.8		+6.3		+11.5		+6.0
	荒屋	31.4	13時47分	31.7	13時35分	29.2	14時24分	28.4	15時09分
			+7.1		+7.3		+4.6		+3.7
	奥中山	31.0	13時07分	30.8	13時14分	28.0	12時07分	26.7	14時40分
			+7.9		+7.6		+4.7		+3.3
	岩手松尾	32.4	14時43分	31.8	14時00分	30.5	12時56分	28.3	15時20分
			+7.1		+6.4		+4.9		+2.6
	好摩	32.7	15時26分	32.1	14時42分	30.4	14時23分	27.8	17時38分
			+7.7		+7.0		+5.2		+2.4
	蕨川	28.5	12時59分	29.5	12時47分	26.2	13時28分	25.2	14時53分
			+6.5		+7.4		+4.0		+2.9
花巻	34.1	14時33分	34.7	15時34分	34.0	13時11分	31.1	16時13分	
		+8.2		+8.7		+8.0		+5.0	
大迫	33.9	15時37分	34.7	13時32分	34.5	13時25分	31.3	15時57分	
		+8.0		+8.7		+8.4		+5.1	
若柳	33.7	15時38分	33.3	13時51分	35.8	12時06分	31.7	14時25分	
		+8.0		+7.5		+9.9		+5.7	
江刺	34.1	14時49分	34.6	13時31分	36.7	13時43分	33.6	15時37分	
		+8.1		+8.5		+10.5		+7.2	
住田	31.7	11時40分	31.6	11時32分	36.0	14時49分	32.7	12時25分	
		+6.6		+6.4		+10.6		+7.2	
陸前高田	29.3	13時53分	28.1	09時10分	36.8	11時47分	31.4	09時17分	
		-		-		-		-	
一関	33.9	13時12分	33.1	14時19分	38.0	13時38分	33.6	14時22分	
		+7.6		+6.6		+11.4		+6.9	
千厩	32.8	13時53分	33.0	13時43分	35.6	13時54分	33.5	15時08分	

			+7.1		+7.2		+9.7		+7.4
官署等	盛岡	33.8	15時32分	33.5	15時28分	31.5	13時20分	29.8	15時24分
			+8.3		+7.9		+5.8		+3.9
	大船渡	30.2	13時03分	28.2	09時38分	33.8	10時20分	31.6	09時31分
			+6.1		+3.9		+9.4		+7.1

※)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

※黄色は7月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

※陸前高田は平年値なし

・関連する情報の発表状況

情報	発表日
岩手県高温注意情報	7月13日、14日

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	25,143	鶏51,949	盛岡市、大船渡市等 13市町村
計		25,143		

(単位:千円)

○7月20日～23日(盛岡市、大船渡市、久慈市、一関市、二戸市、岩手町、軽米町、九戸村、洋野町、野田村、一戸町)

(1) 気象概況

20日から21日にかけて梅雨前線が東北地方を北上し、その後、23日にかけて高気圧が本州付近を覆った。県内は21日の後半から晴れた所が多くなり、21日から22日かけて最高気温が平年よりもかなり高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(20日)		最高気温(21日)		最高気温(22日)		最高気温(23日)	
		値	起時	値	起時	値	起時	値	起時
			平年差		平年差		平年差		平年差
アメダス	種市	21.4	13時51分	26.7	15時48分	34.2	11時44分	24.5	11時54分
		-1.8	+3.3		+10.5		+0.6		
	軽米	27.6	14時33分	29.4	11時15分	32.8	13時14分	26.2)	12時30分
		+2.0	+3.6		+6.8		-0.1		
	二戸	28.4	13時45分	31.2	15時10分	33.5	13時27分	25.6	13時20分
		+1.5	+4.1		+6.2		-1.9		
	山形	27.9	13時29分	28.9	11時23分	34.8	12時04分	27.7	12時56分
		+3.0	+3.8		+9.5		+2.1		
	久慈	24.8	13時39分	26.9	10時07分	33.5	11時24分	25.7	13時29分
		+1.1	+3.0		+9.4		+1.3		
奥中山	25.1	14時03分	29.6	16時34分	31.2	12時05分	24.2	16時58分	
	+0.7	+5.0		+6.4		-0.8			
好摩	27.4	16時32分	31.6	15時54分	33.8	14時24分	26.5	12時52分	
	+1.1	+5.1		+7.1		-0.4			
蕨川	23.8	13時46分	28.1	13時50分	29.9	12時36分	22.9	12時50分	
	+0.6	+4.7		+6.3		-0.9			
一関	26.4	17時12分	33.9	15時20分	36.8	13時52分	29.5	16時32分	
	-1.2	+6.1		+8.7		+1.2			
千厩	26.6	13時22分	33.3	14時58分	35.5	13時47分	28.0	14時49分	
	-0.4	+6.1		+8.1		+0.4			

官署等	盛岡	27.1	15時26分 +0.3	33.7	15時10分 +6.6	35.5	14時15分 +8.2	26.8	13時02分 -0.7
		24.5	16時03分 -0.8		27.6		09時59分 +2.1		33.4

※)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

※黄色は7月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

・関連する情報の発表状況

情報	発表日
岩手県高温注意情報	7月22日

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	7,612	鶏15,729羽	盛岡市、大船渡市等 11市町村
計		7,612		

(単位:千円)

○7月27日~28日(盛岡市、軽米町、九戸村)

(1) 気象概況

27日は日本の南にある高気圧が本州付近を覆い、28日は気圧の谷となった。県内は27日を中心に晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりもかなり高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(27日)		最高気温(28日)	
		値	起時	値	起時
			平年差		平年差
アメダス	軽米	32.6	13時11分 +5.6	28.3	14時38分 +1.2
	好摩	32.4	14時10分 +4.9	28.5	11時31分 +0.9
	藪川	28.4	13時42分 +4.0	26.0	10時13分 +1.4
官署等	盛岡	34.1	13時15分 +5.9	30.2	10時13分 +1.8

・関連する情報の発表状況

情報	発表日
岩手県高温注意情報	7月27日

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	2,100	鶏4,340羽	盛岡市等 3市町村
計		2,100		

(単位:千円)

○7月30日(久慈市、二戸市、軽米町、野田村、九戸村、洋野町)

(1) 気象概況

日本の南にある高気圧が本州付近を覆い、県内は晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりも高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(30日)	
		値	起時
			平年差
アメダス	種市	27.3	13時57分 +2.2
	軽米	31.5	13時00分 +4.2
	二戸	31.6	12時40分 +3.1
	山形	30.1	10時48分 +3.4
	久慈	29.5	13時05分 +3.8

・関連する情報の発表状況

情報	発表日
岩手県高温注意情報	7月30日

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	782	鶏1,803羽	久慈市、二戸市等 6市町村
計		782		

(単位:千円)

○7月31日～8月2日(一関市)

(1) 気象概況

1日は北日本を前線が通過したが大きな影響はなく、31日から2日にかけて本州付近は概ね高気圧に覆われた。県内は31日から2日にかけて晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりも高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(31日)		最高気温(1日)		最高気温(2日)	
		値	起時	値	起時	値	起時
			平年差		平年差		平年差
アメダス	一関	35.0	12時57分 +5.4	35.1	14時21分 +5.5	34.4	15時32分 +4.7
		千厩	33.6		12時34分 +4.7		33.4

・関連する情報の発表状況

情報	発表日
岩手県高温注意情報	7月31日、8月1日、2日

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	218	鶏451羽	一関市
計		218		

(単位:千円)

○8月5日～6日(大船渡市、久慈市、一関市、山田町、九戸村、洋野町)

(1) 気象概況

5日から6日にかけて、日本の東にある高気圧が本州付近を覆い、県内は晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりもかなり高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(°C)

地点名		最高気温(5日)		最高気温(6日)	
		値	起時	値	起時
			平年差		平年差
アメダス	種市	35.4	13時24分 +9.8	31.9	09時15分 +6.3
	山形	35.0	15時01分 +7.9		34.6
	久慈	35.7	13時17分 +9.5	34.5	11時23分 +8.2
	山田	36.5	16時04分 +9.3		31.8
	一関	36.8	14時49分 +7.0	36.4	14時36分 +6.6
	千厩	36.2	14時50分 +7.0		35.7
官署等	大船渡	37.0	12時06分 +9.8	35.6	11時28分 +8.3

※赤色は通年の極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

※黄色は8月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

・関連する情報の発表状況

情報	発表日
岩手県高温注意情報	8月5日、6日

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	4,934	鶏10,195羽	大船渡市、久慈市等 6市町村
計		4,934		

(単位:千円)

○8月10日(洋野町)

(1) 気象概況

日本のはるか東にある高気圧が北日本を覆い、県内は晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりも高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(°C)

地点名		最高気温(10日)	
		値	起時
			平年差
アメダス	種市	30.7	14時12分 +5.2

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	290	鶏600羽	洋野町
計		290		

(単位:千円)

○8月17日(盛岡市、奥州市)

(1) 気象概況

前線が本州の南岸に停滞し、県内は曇りや雨となった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(17日)	
		値	起時
アメダス	好摩		27.9
		平年差	
	蕨川	25.0	11時39分
			平年差
若柳	26.9	09時21分	
		平年差	
江刺	27.5	13時55分	
		平年差	
官署等	盛岡	29.0	11時20分
			平年差

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	118	鶏244羽	盛岡市、奥州市
計		118		

(単位:千円)

○9月2日～3日(大船渡市、一関市、奥州市、住田町、九戸村)

(1) 気象概況

2日は日本海中部の前線を伴う低気圧が東北地方を通過し、県内は曇りや雨の所が多かったが沿岸を中心に晴れた所もあり、最高気温が平年よりも高い所が多かった。3日は前線が本州の南岸に停滞したが県内に大きな影響はなく、晴れた所が多くなり、最高気温が平年よりも高い所が多くなった。

・主な地点の最高気温(℃)

地点名		最高気温(2日)		最高気温(3日)	
		値	起時	値	起時
アメダス	若柳		30.4		14時36分
		平年差		平年差	
	江刺	30.5	14時30分	28.5	13時00分
			平年差		平年差
住田	30.5	14時46分	29.2	13時43分	
		平年差		平年差	
一関	29.6	14時13分	29.2	13時24分	
		平年差		平年差	
千厩	31.7	14時50分	28.1	13時59分	
		平年差		平年差	
官署等	大船渡	29.5	15時41分	28.5	12時14分
			平年差		平年差

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	3,570	鶏7,376羽	大船渡市、一関市等 5市町村
計		3,570		

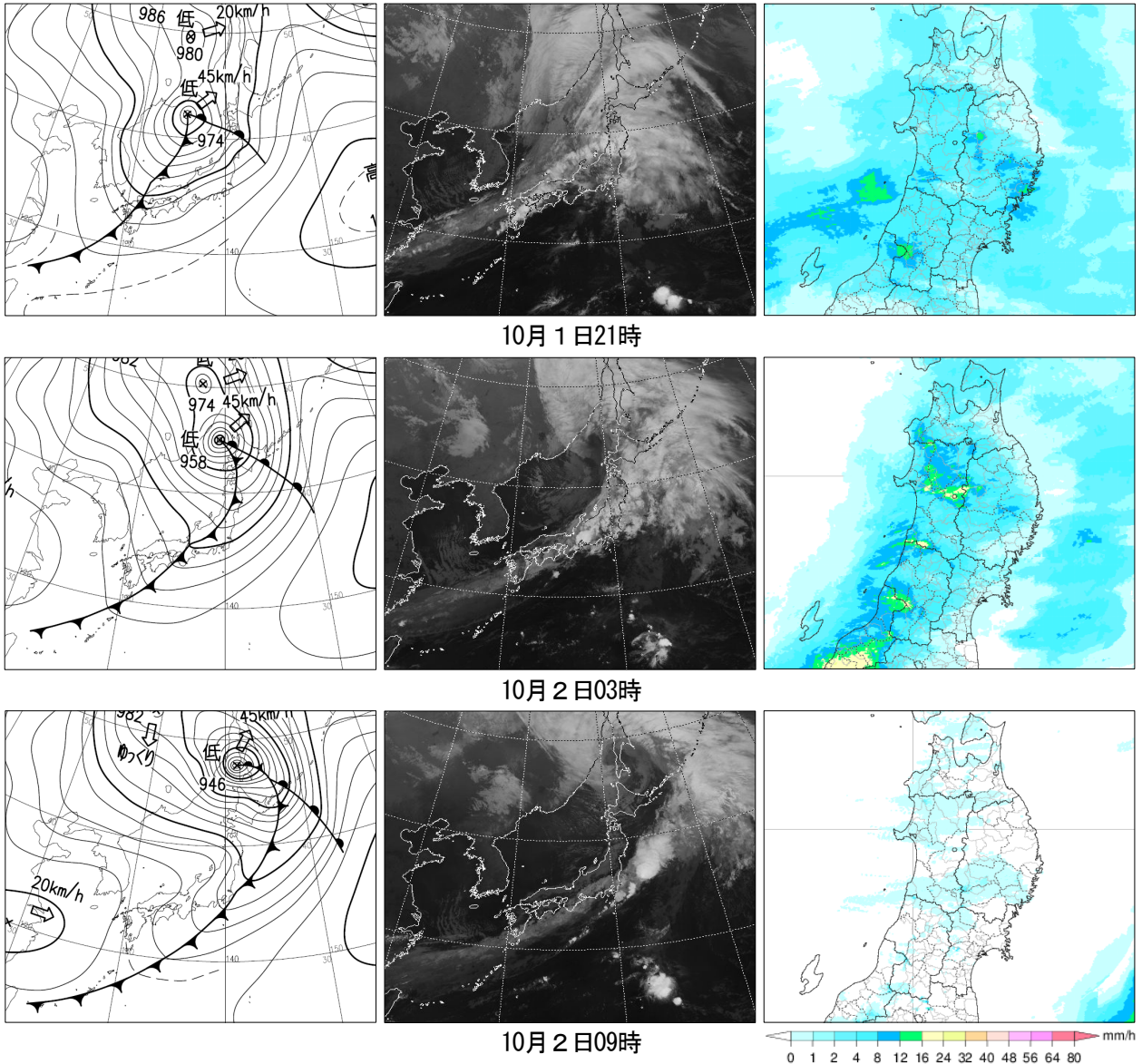
(単位:千円)

16 10月1日から2日の大雨暴風災害

(1) 気象概況

1日から2日にかけて、低気圧が急速に発達しながら黄海から日本海を経てサハリンに北東に進み、2日は低気圧からのびる寒冷前線が日本付近を通過した。このため、県内は寒冷前線通過時を中心に大雨となり、また通過後は西よりの風が強くなった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(10月1日21時、10月2日03時、09時)



○警報・注意報の発表状況(10月1日～2日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	内陸、住田町
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
大雨		盛岡市、花巻市、遠野市、八幡平市、滝沢市、雫石町
	大雨	沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、宮古地域、北上市、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町、西和賀町
洪水		盛岡市、花巻市、八幡平市、滝沢市、雫石町、紫波町

	洪水	沿岸南部、奥州金ヶ崎地域、両磐地域、宮古地域、北上市、遠野市、葛巻町、岩手町、矢巾町、西和賀町
	乾燥	沿岸南部
	濃霧	岩手県
	霜	内陸、沿岸北部

○岩手県気象情報の発表状況(9月29日～10月2日)

- ・発達する低気圧に関する岩手県気象情報 第1号
- ・暴風と高波に関する岩手県気象情報 第2号
- ・暴風と高波及び大雨に関する岩手県気象情報 第3号～第7号

○10月1日～2日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名		日最大風速			日最大瞬間風速		
		値	風向	起時	値	風向	起時
アメダス	軽米	11.1	西北西	2日09時22分	23.0	西	2日09時15分
	二戸	8.1	南西	2日10時19分	24.5	南西	2日07時08分
	久慈	12.8	西	2日13時08分	24.3	西	2日08時23分
	葛巻	11.5	南南西	2日07時10分	25.6	南南西	2日06時42分
	雫石	10.6	西	2日11時18分	23.3	西	2日05時49分
官署等	盛岡	12.7	南	2日03時19分	23.4	南	2日03時25分
	宮古	7.9	西南西	2日11時09分	19.4	西	2日11時40分
	大船渡	9.7	南	2日01時26分	20.0	西北西	2日10時35分

※黄色は10月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

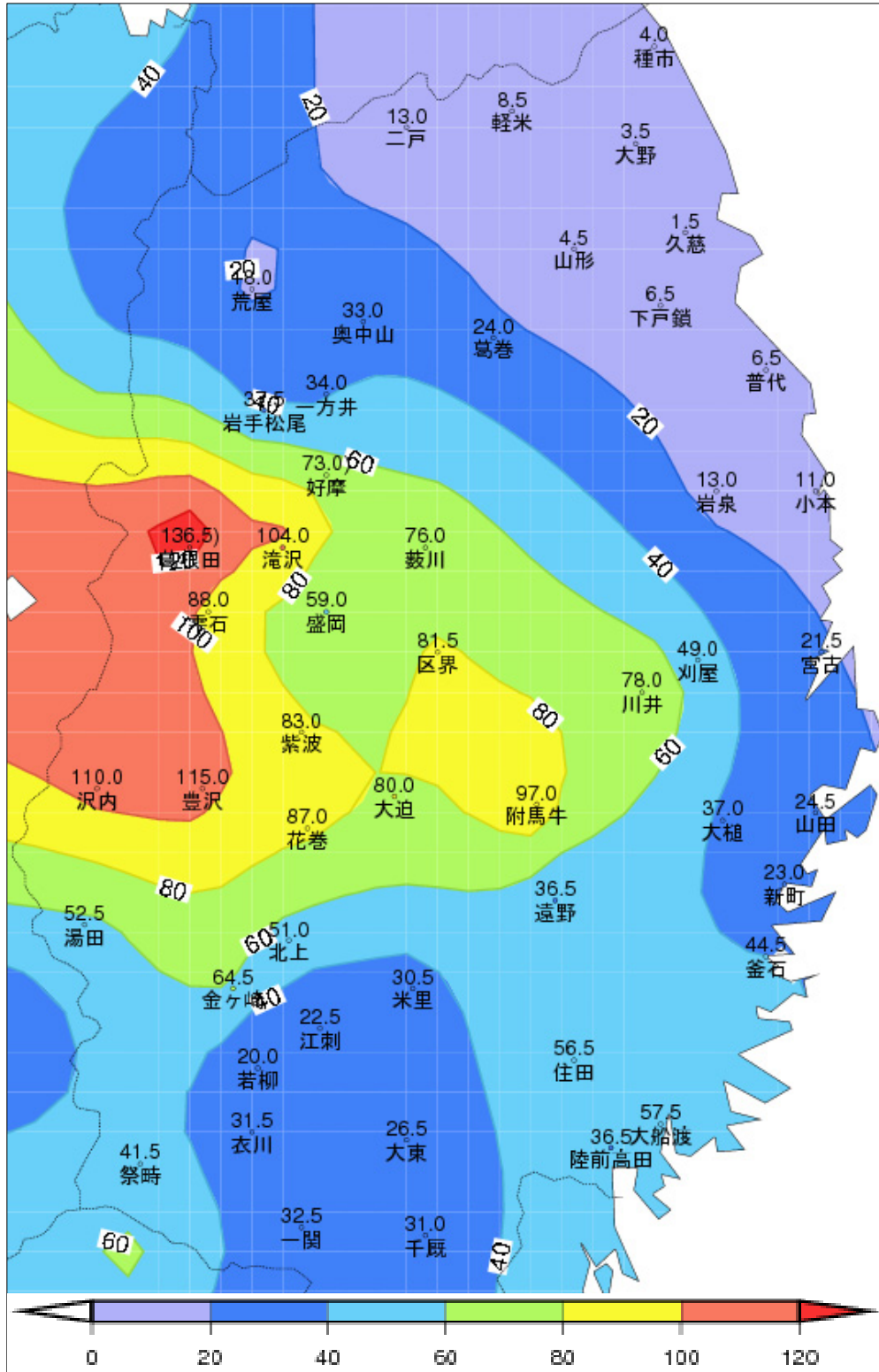
○10月1日～2日の主な地点の降水量(mm)

地点名		期間 合計	1日		2日	
			日	日最大1時間(起時)	日	日最大1時間(起時)
アメダス	葛根田	136.5)	75.0)	25.5 (23時47分)	61.5	24.0 (00時02分)
	滝沢	104.0	52.5	23.5 (23時45分)	51.5	20.0 (00時23分)
	沢内	110.0	61.5	24.0 (23時07分)	48.5	16.5 (00時09分)
	豊沢	115.0	74.5	23.5 (23時03分)	40.5	18.5 (00時18分)
官署等	盛岡	59.0	36.0	14.5 (23時55分)	23.0	14.0 (00時09分)
	宮古	21.5	15.5	7.0 (23時34分)	6.0	6.0 (00時09分)
	大船渡	57.5	54.5	20.0 (22時38分)	3.0	5.5 (00時01分)

※)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

※黄色は10月として極値(1位)を更新した値(アメダスは統計期間10年以上)

○10月1日～2日の期間合計降水量(mm)の分布図



)が付加された値は準正常値(統計を行う対象資料が許容範囲(20%以内)で欠けている)

(2) 被害状況

区分	被害額	被害状況	被害地域
農業	農畜産物	りんご・そば等 227.34ha	二戸市、奥州市、軽米町等 7市町
	農業施設	パイプハウス破損等 79棟	一戸町、花巻市、西和賀町等 15市町
計	127,947		

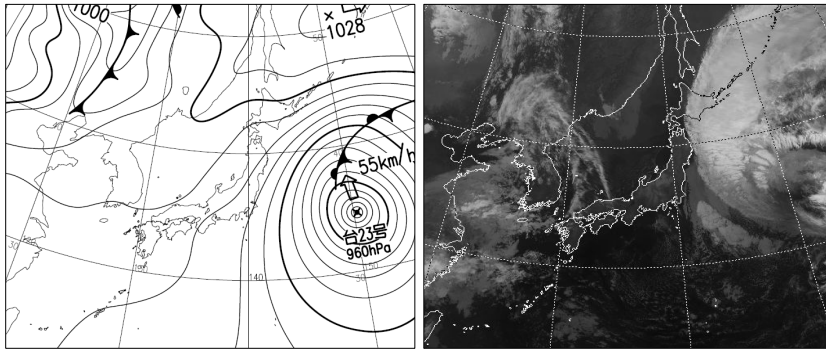
(単位:千円)

17 10月8日の台風第23号災害

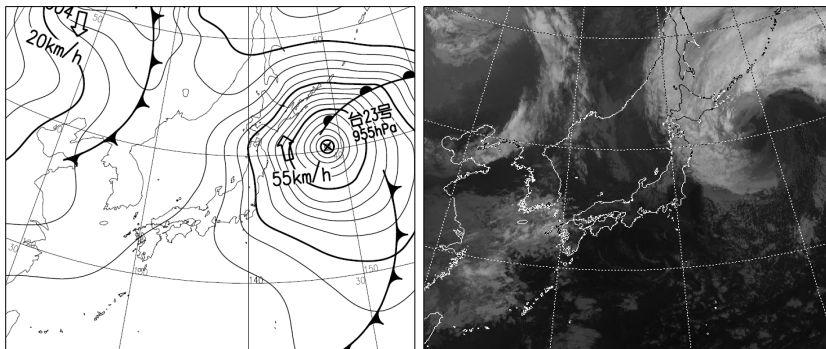
(1) 気象概況

台風第23号から温帯低気圧に変わりつつ日本の東を北上し、千島近海に進んだ。このため、県内は沿岸を中心に北から西よりの風が強くなり、海上は大しけとなった。

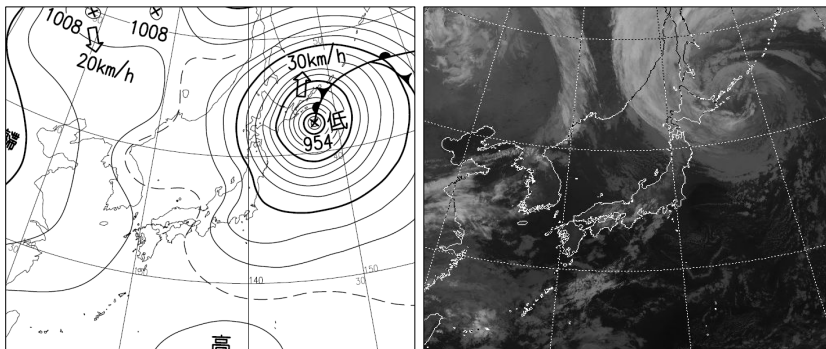
○地上天気図、気象衛星赤外画像(10月7日21時、10月8日09時、21時)



10月7日21時



10月8日09時



10月8日21時

○警報・注意報の発表状況(10月8日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	内陸、住田町
波浪		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	乾燥	沿岸南部

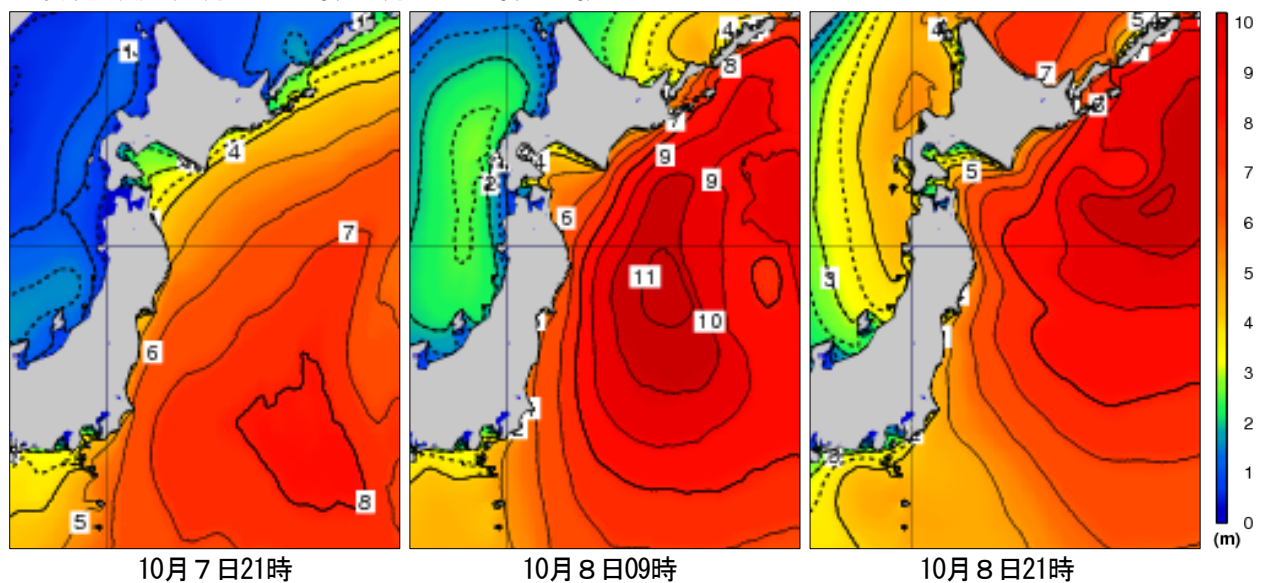
○岩手県気象情報の発表状況(10月6日～9日)

- ・平成27年 台風第23号に関する岩手県気象情報 第1号～第5号
- ・暴風と高波に関する岩手県気象情報 第1号

○10月8日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名		日最大風速			日最大瞬間風速		
		値	風向	起時	値	風向	起時
アメダス	釜石	9.3	西	23時43分	22.2	西北西	23時36分
	若柳	13.1	西	22時42分	22.7	西	20時57分
	紫波	12.2	北西	09時54分	27.5	西北西	14時49分
	川井	8.6	南南西	18時55分	22.9	南西	18時27分
官署等	盛岡	10.6	北	11時14分	18.8	北北西	12時16分
	宮古	8.7	北	03時15分	18.1	北北東	03時13分
	大船渡	11.4	北北西	18時32分	25.7	北西	22時00分

○沿岸波浪図(10月7日21時、10月8日09時、21時)



※波の高さ(有義波高)を等波高線で示す。等波高線は実線(1mごと)と破線(4m未満の領域のみ0.5mごと)で表示。

(2) 被害状況

区分	被害額	被害状況	被害地域	
農業	農畜産物	36,446	りんご 160.62ha	一関市、北上市、平泉町等 5市町
	農業施設	7,157	パイプハウスの破損等 98棟	一関市、西和賀町、花巻市等 5市町
水産業	水産施設	28,161	漁船保全修理施設等の破損 4箇所	普代村、洋野町、久慈市
	漁船	1,650	漁船の損傷等 3隻	宮古市
	養殖施設	1,800	養殖施設の破損等 677台	宮古市
	水産物	54,462	養殖物の落下 23t、293千個	宮古市、大槌町
漁港	漁港施設	786,430	消波ブロックの飛散等 42箇所	宮古市、普代村、久慈市
計	916,106			

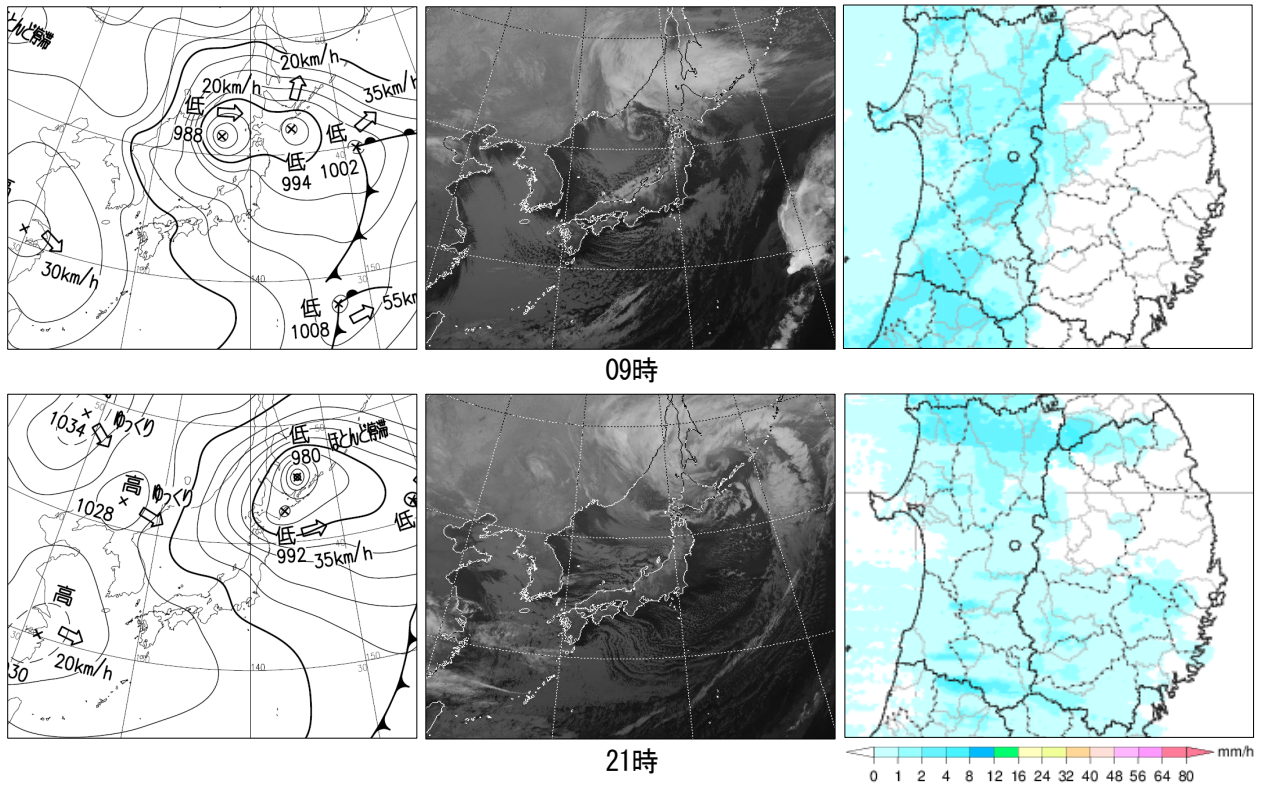
(単位:千円)

18 11月27日の強風災害

(1) 気象概況

発達した低気圧が日本海中部にあつて北東に進み、北海道を通過した。このため、県内は沿岸を中心に西よりの風が強くなった。

○地上天気図、気象衛星赤外画像、解析雨量(11月27日09時、21時)



○警報・注意報の発表状況(11月27日:岩手県)

警報	注意報	地域
暴風		沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	強風	内陸、住田町
	波浪	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	高潮	沿岸北部、釜石地域、大船渡市、陸前高田市
	雷	岩手県
	濃霧	岩手県

○岩手県気象情報の発表状況(11月26日～27日)

- ・暴風と高波に関する岩手県気象情報 第1号～第4号

○11月27日の主な地点の日最大風速(m/s)と日最大瞬間風速(m/s)

地点名	日最大風速			日最大瞬間風速			
	値	風向	起時	値	風向	起時	
アメダス	奥中山	7.9	西南西	23時10分	20.6	西南西	21時21分
	岩手松尾	10.3	西	21時00分	21.0	西	21時39分
	小本	9.2	南西	22時10分	20.6	西南西	22時01分
	雫石	12.6	西	20時48分	21.8	西	19時56分
官署等	盛岡	10.2	西	20時14分	20.3	南西	20時56分
	宮古	6.2	西南西	22時28分	17.0	南	23時51分
	大船渡	9.5	北北西	02時59分	17.2	北西	23時11分

(2) 被害状況

区分		被害額	被害状況	被害地域
農業	農業施設	160	パイプハウス破損 1棟	滝沢市
計		160		

(単位:千円)

IV 主な農林水産業気象災害における対策等の概要

1 9月10日から11日の大雨災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる農作物、果樹(りんご、ぶどう)や園芸施設(パイプハウス等)等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

また、被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業(貸付当初5年間実質無利子化)について、関係機関へ周知した。

(2) 農業施設被害

ア 被災農家への対策

被害を受けた農家等への資金の円滑な融通等が図られるよう、金融機関等に対し協力を要請したほか、(財)農林水産長期金融協会が実施する利子助成事業(貸付当初5年間実質無利子化)について、関係機関へ周知した。

(3) 農地・農業用施設被害

被災した農地及び農業用施設のうち、復旧事業費40万円以上の箇所について、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律(以下「暫定法」)に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し36箇所117,399千円の採択を申請した。

国による災害査定は、11月16日から20日にかけて実施され、36箇所107,507千円が採択された。

(4) 林業関係被害

ア 林業施設被害

被災した林業施設(林道)について、暫定法に基づく国庫補助の災害復旧事業により復旧することとし、国に対し7箇所36,270千円の採択を申請した。

国による災害査定は、9月17日から18日及び11月18日から20日にかけて実施され、7箇所33,023千円が採択された。

イ 林地荒廃

林地荒廃の被害については、予防治山事業により復旧することとし、国に対し1箇所54,000千円の復旧を申請し、採択された。

(5) 水産関係被害

施設の被害については、漁業共済に加入している場合の共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。

2 10月1日から2日の大雨・暴風災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

農業共済の対象となる農作物、果樹(りんご)や園芸施設(パイプハウス等)等については、農家からの被害申告を徹底させるとともに、迅速かつ適切な現地確認や損害評価の実施により共済被害量・共済金支払額を確定させるなど、共済金の早期支払体制の確立について農業共済団体を指導した。

3 10月8日の台風第23号災害

(1) 農作物被害

ア 技術対策等

ビニールハウス等が暴風により破損しないよう、農業改良普及センターを通じて農家等へ情報を提供した。

イ 被災農家への対策

被災農家に対し農業改良普及センターを通じて、暴風の前に事前にビニールハウスの破損部の補修を行う等の対策を周知した。

(2) 水産関係被害

漁船や施設の被害については、漁船保険、漁業共済に加入している場合の保険金や共済金による補てんも含め、所有者の自力復旧により対応した。生産物被害についても、漁業共済に加入している場合は、減収分の一定割合を補てんする共済金が支払われた。

(3) 漁港関係被害

漁港施設及び漁港海岸施設について、公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法(以下「負担法」)の採択基準を満たす被害があり、国に対し7箇所48,935千円の採択を申請した。

また、沿岸漁場整備開発施設(以下「漁場施設」)について、暫定法の採択基準を満たす被害があり、国に対し1箇所195,347千円の採択を申請した。

国による災害査定は、12月21・22日、24・25日及び1月25～26日にかけて実施され、負担法では7箇所41,063千円が採択され、暫定法では1箇所195,347千円が採択された。

V 参考資料

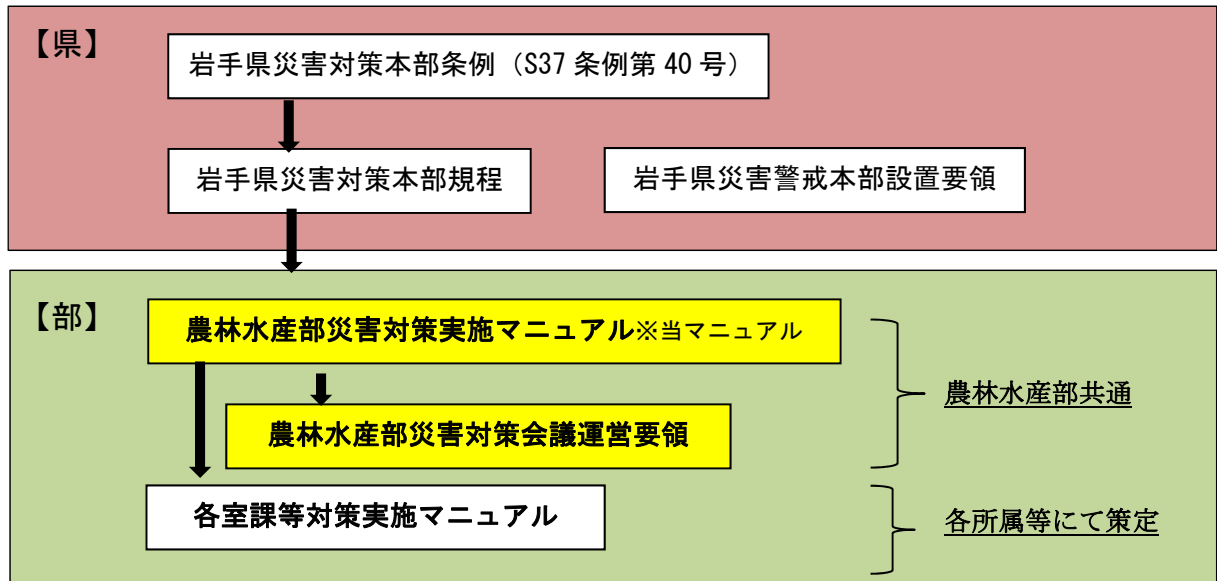
農林水産部災害対策実施マニュアル

制 定 平成 15 年 5 月 1 日
最終改定 平成 27 年 4 月 28 日

このマニュアルは、『岩手県災害対策本部規程（平成 8 年岩手県災害対策本部長訓令第 2 号）』第 9 条の規定により農林水産部の災害対策について必要な事項を定めたものである。

I 災害対策に係る例規等の体系

【災害対策に係る例規等の体系図】



II 災害応急対策の体系

1 『岩手県地域防災計画』

県の地域に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合（以下「災害発生時」という。）において、県が行う災害応急対策は、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」に定めるところにより実施する。

2 『岩手県災害警戒本部』、『岩手県災害特別警戒本部』又は『岩手県災害対策本部』の設置

災害予防及び災害応急対策は、災害発生規模等により岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部を設置して行われる。

また、岩手県災害警戒本部、岩手県災害特別警戒本部又は岩手県災害対策本部が設置された場合は、『岩手県災害警戒本部設置要領』別表又は『岩手県災害対策本部規程』別表第 5 に定める所管区域ごとに、関係する所管区域に地方支部が設置される。

なお、岩手県災害対策本部が設置された場合は、広域振興局に広域支部が設置される。

3 『岩手県災害対策本部規程』、『岩手県災害警戒本部設置要領』、『岩手県災害対策本部〇〇広域支部運営要領』、『岩手県災害対策本部〇〇地方支部運営要領』

岩手県災害警戒本部又は岩手県災害対策本部の防災活動又は応急対策の具体的な活動は、これらの要領等に基づいて実施される。

4 「農林水産部災害対策実施マニュアル」

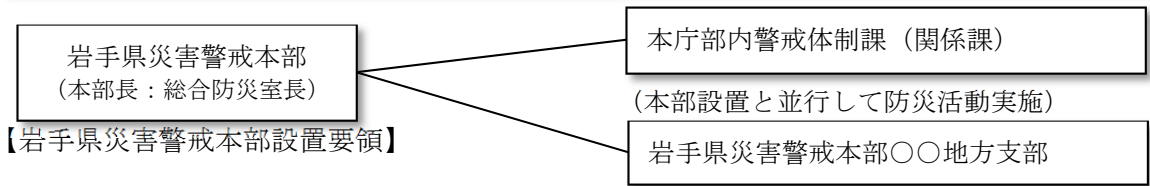
当マニュアルは、『岩手県地域防災計画』第 3 章「災害応急対策計画」及び上記要領等を踏まえ、農林水産部における災害対策に係る体制や具体的活動方法等を定めたものである。

《災害応急対策等の体系図》

★岩手県災害警戒本部の設置

主な設置基準

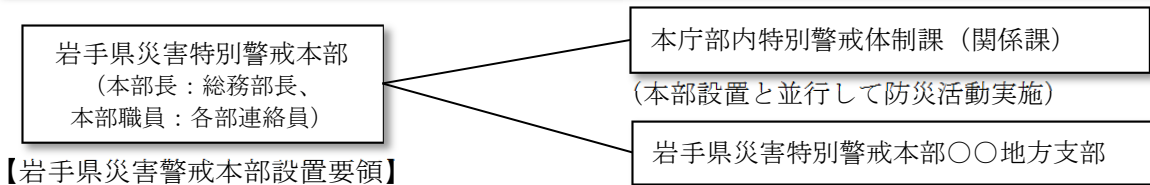
- 気象警報又は洪水警報などが発表された場合
- 北上川上流、雫石川、猿ヶ石川洪水予報のうち洪水警報（はん濫警戒情報・はん濫危険情報・はん濫発生情報）が発表された場合
- 大規模な火災、爆発等が発生した場合で、総合防災室長が必要と認めたとき
- 県内に震度4又は震度5弱の地震が発生した場合
- 原子力事業者から原子力災害対策指針に示された警戒事態に該当する事象等の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害特別警戒本部の設置

主な設置基準

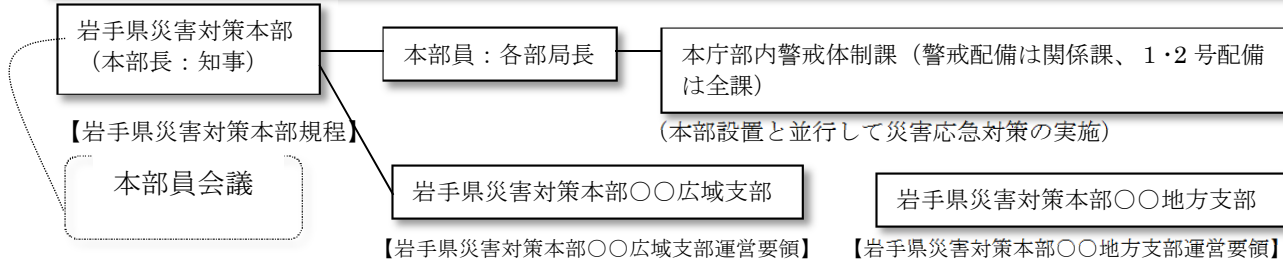
- 災害警戒本部の設置基準において、総務部長が応急措置の実施のため関係機関との調整が必要と判断したとき
- 津波注意報が発表された場合
- 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報レベル3が発表された場合
- 原子力事業者から特定事象に関する通報があった場合
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事故の発生に関する通報があった場合



★岩手県災害対策本部の設置

主な設置基準

- 相当規模の災害の発生のおそれがある場合
- 相当規模の災害が発生した場合
- 津波警報が発表された場合
- 県内に震度5強以上の地震が発生した場合
- 岩手山等の噴火警戒レベル4が発表された場合
- 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき
- 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、緊急事態応急対策を講じる必要があるとき



Ⅲ 災害対策本部の配備体制

1 職員の配備（県災害対策本部規程第 27 条）

災害発生時における職員の配備は、岩手県災害対策本部が設置された場合の配備体制の区分に応じて実施する。

配備体制の区分は、①指定職員配備（1号）、②主査以上配備（2号）、③全職員配備（3号）となっている。

また、気象予報・警報が発表された場合は、必要に応じ関係課において独自に警戒態勢をとり、防災活動を実施する。

2 配備職員への指示

配備体制に伴う職員への指示は、次のとおりである。

- (1) 本部連絡員は、県災害対策本部の指示により執務する。
- (2) 部内各室課（「V 分掌事務等」に掲げる本庁各室課）の職員は、農林水産部長の指示を受けた所属長の指示より執務する。
- (3) 広域振興局農林水産担当部等（「V 分掌事務等」に掲げる広域振興局農林水産担当部等。以下同じ。）の職員は各地方支部長の指示を受けた所属長に指示により、出先機関（「V 分掌事務等」に掲げる出先機関。以下同じ。）の職員は所属長の指示により、それぞれ執務する。

指定職員配備体制

区 分	説 明
配備基準	<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (カ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 次に掲げる警報のいずれかが発表された場合</p> <p>(ア) 気象特別警報 (イ) 高潮特別警報 (ウ) 波浪特別警報</p> <p>3 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 津波警報が発表されたとき</p> <p>5 県内に震度5強の地震が発生したとき</p> <p>6 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル4が発表された場合</p> <p>7 八幡平又は栗駒山に噴火警報（居住地域）又は噴火警報が発表された場合</p> <p>8 原子力事業者（原子力災害対策特別措置法（平成11年法律第156号。以下「原災法」という。）第2条第3号に規定する原子力事業者のうち本県に隣接する県の区域に同条第4号に規定する原子力事業所を設置するものをいう。以下同じ。）から原子力緊急事態（原災法第2条第2号に規定する原子力緊急事態をいう。以下同じ。）の発生に関する通報があり、かつ、当該原子力緊急事態の影響が本県の区域</p>

		<p>に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策（原災法第2条第5号の規定する緊急事態応急対策をいう。以下同じ。）を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>9 原子力事業者及び当該原子力事業者から放射性物質の運搬を委託された者から事業所外運搬事故（原災法第2条第2号に規定する事業所外運搬に係る事故をいう。以下同じ。）による特定事象（原災法第10条第1項に規定する事象のことをいう。以下同じ。）又は原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、当該特定事象又は当該原子力緊急事態の影響が本県の区域に及ぶ場合又は及ぶおそれがある場合において、本部長が指定職員配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>10 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>	
本 庁	活動要領	部長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。また、必要に応じて次の措置を講じる。</p> <p>(1) 災害対策本部員会議への付議</p> <p>(2) その他必要と認める事項の処理</p> <p>2 予測される災害に対処し、必要と認められる物資、車両、機材等を点検整備し、直ちに使用できるよう準備を整える。</p> <p>3 予測される災害に対処し、必要と認める予防措置を検討し、被害を最小限に止めるために必要な計画を検討する。</p> <p>4 状況の推移に応じて、次の配備体制に応じ得る体制を整える。</p>
		各室課の長	<p>(農林水産企画室長処理事項)</p> <p>本庁関係課、広域振興局農林水産担当部及び出先機関から収集した情報を部長に報告し、かつ、災害対策本部長に報告する。</p> <p>(各室課の長共通処理事項)</p> <p>1 マニュアルに従い、広域振興局農林水産担当部から収集した災害情報等の処理に当たる。</p> <p>2 部長の指示、命令事項の処理に当たる。</p>
	配備職員	農林水産企画室、農村建設課、林業振興課、森林整備課、森林保全課及び漁港漁村課の長並びに部長が特に必要と認める課の主任主査以上の職員及び防災・庶務担当及び各課の長があらかじめ指名する職員	
産 担 当 部 等	活動要領	長 水産担当部等の	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、本庁関係課及び農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、支部長に対し応援を要請する。</p>
広域振興局農林水	配備職員	広域振興局農林水産担当部長等があらかじめ指名する職員	
出 先 機 関	活動要領	出先機関の長	<p>1 情報の収集、報告及び伝達並びに応急措置を行う。</p> <p>2 車両、機材等を点検整備し、災害応急対策に活用できるよう措置する。</p> <p>3 収集した情報、応急措置の業務に従事している職員数及び応急措置の進捗状況を随時、農林水産企画室長に報告する。</p> <p>4 情報の収集及び応急措置を実施するため職員及び機材等が不足する場合は、農林水産企画室長に対し応援を要請する。</p>
	配備職員	部長が特に必要と認める出先機関の課長以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員	

主 査 以 上 配 備 体 制

区 分		説 明
配備基準		<p>1 次に掲げる警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が、主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>(ア) 気象警報 (イ) 高潮警報 (ウ) 波浪警報 (エ) 洪水警報 (オ) 気象特別警報 (カ) 高潮特別警報 (キ) 波浪特別警報 (ク) 北上川上流洪水予報、雫石川洪水予報及び猿ヶ石川洪水予報のうちのはん濫警戒情報、はん濫危険情報又ははん濫発生情報（洪水警報） (ケ) 水防警報（知事が指定した河川に係るものに限る。）</p> <p>2 大規模な火災、爆発等による相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>3 津波警報が発表され、かつ、相当規模の災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において本部長が主査以上配備体制により災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>4 県内に震度6弱の地震が発生したとき</p> <p>5 岩手山又は秋田駒ヶ岳に噴火警報（居住地域）又は噴火警報のうち噴火警戒レベル5が発表された場合</p> <p>6 原子力事業者から原子力緊急事態の発生に関する通報があり、かつ、原子力緊急事態宣言（原災法第15条第2項に規定する原子力緊急事態宣言をいう。以下同じ。）に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県に隣接する県の区域が含まれる場合において、本部長が主査以上配備体制により緊急事態応急対策を講じる必要があると認めたとき。</p> <p>7 その他本部長が特に必要と認めた場合</p>
本 庁	活動要領	部長 指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、災害応急対策を実施する。
		長 各室課の (農林水産企画室長処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。 (各室課の長共通処理事項) 指定職員配備体制における活動に準ずる。
	配備職員 すべての室課の主査相当職以上の職員及び各室課の長があらかじめ指名する職員	
担 当 部 等 広 域 振 興 局 農 林 水 産	活動要領 長 水産担当部等の 広域振興局農林	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員 すべての所属の主査相当職以上の職員及び広域振興局農林水産担当部等の長があらかじめ指名する職員	

出先機関	活動要領	出先機関の長	指定職員配備体制における活動要領に定めるもののほか、必要に応じて災害応急対策を実施する。
	配備職員		すべての出先機関の主査相当職以上の職員及び各出先機関の長があらかじめ指名する職員

全職員配備体制

区分		説明
配備基準		1 大規模な災害が発生した場合において、本部長が本部のすべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる必要があると認めたとき。 2 津波警報（大津波）が発表された場合 3 県内に震度6強又は震度7の地震が発生した場合 4 原子力緊急事態宣言がなされた場合において当該原子力緊急事態宣言に規定する緊急事態応急対策を実施すべき区域に本県の区域が含まれる場合又は本県の区域が含まれることが想定される時。 5 その他本部長が特に必要と認めた場合
本庁	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
等産局広 担農域 当農振 部林興 部水興	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員
関出 先機	活動要領	すべての組織及び機能を挙げて災害応急対策を講じる。
	配備職員	全職員

【備考】出先機関の配備体制は、次のとおりとする。

- 1 当該機関の周辺区域において上記の配備基準に該当する災害が発生した場合等に、各配備体制をとるものとする。
- 2 農林水産企画室長からの配備指令があるまでの間の配備体制について、各機関で作成した行動マニュアルに上記と異なる規定をした場合は、それによることができる。

3 本部連絡員（県災害対策本部規程第8条）

本部に、本部連絡員を置き、農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

本部員連絡員の職務

災害対策本部が設置された場合に、本部長の命令伝達、各部門・部内の連絡調整及び情報収集の事務を担当する。

4 緊急初動要員（県災害対策本部規程第28条の2）

本部（及び地方支部）に、緊急初動要員を置き、本部にあっては農林水産部長が部内の職員のうちから指名する。

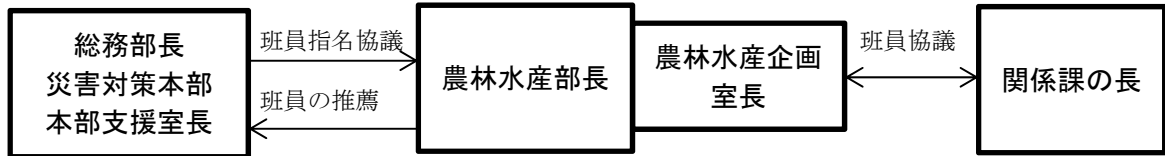
緊急初動要員の職務

本部（又は地方支部）の体制が整うまでの間、災害応急対策に係る情報収集・指示、本部支援室・地方支部・関係機関との連絡調整等に関する事務を行う。

5 災害対策本部支援室、調査班への職員派遣（県災害対策本部規程第 23 条、第 25 条）

岩手県災害対策本部に本部支援室が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、支援室各班の業務への従事を命ぜられることがある。また、調査班が設けられた場合、部内職員が班員に指名され、災害地に派遣されることがある。

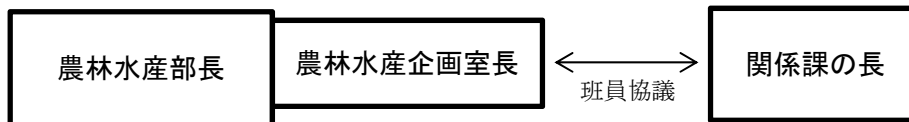
本部支援室班員は総務部長が、調査班員は本部支援室長が、それぞれ農林水産部長と協議して指名する。



6 農林水産部調査班

農林水産部長が必要と認めた場合、県災害対策本部の調査班とは別に部調査班を設け、現地に職員を派遣することがある。

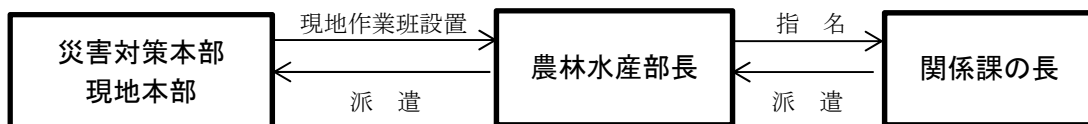
班員は、農林水産企画室長が部内関係課総括課長と協議して指名する。



7 現地作業班（県災害対策本部規程第 26 条）

本部長は、災害地における応急対策活動上必要があると認められるときは、現地作業班（医療班、防疫班等）を設け、災害地に派遣する。

農林水産部所掌業務に係る「現地作業班」が設置された場合は、班長、副班長及びその他の班員を農林水産部長が指名する。



8 標識の着用（県災害対策本部規程第 35 条）

災害応急対策事務に従事するとき、又は災害応急対策業務に自動車を使用するときは、定められた腕章又は標識旗を着用する。

IV 非常招集

1 非常招集の方法

(1) 配備指令による参集（県災害対策本部規程第 29 条）

① 農林水産部長は、県災害対策本部長から配備指令を受けたときは、速やかに「農林水産部非常招集系統図」（別途定める）により本庁各室課の長に連絡する。

【県災害対策本部長からの配備指令は、携帯電話（災害用）を利用して、部長のほか、副部長、各担当技監及び本部連絡員にも伝えられる。】

② ①の連絡を受けた本庁各室課の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

③ 広域振興局農林水産担当部等の長は、所轄の地方支部長から配備体制の指令を受けたときは、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に連絡する。

④ 農林水産企画室長は、必要に応じて関係する出先機関の長に連絡する。

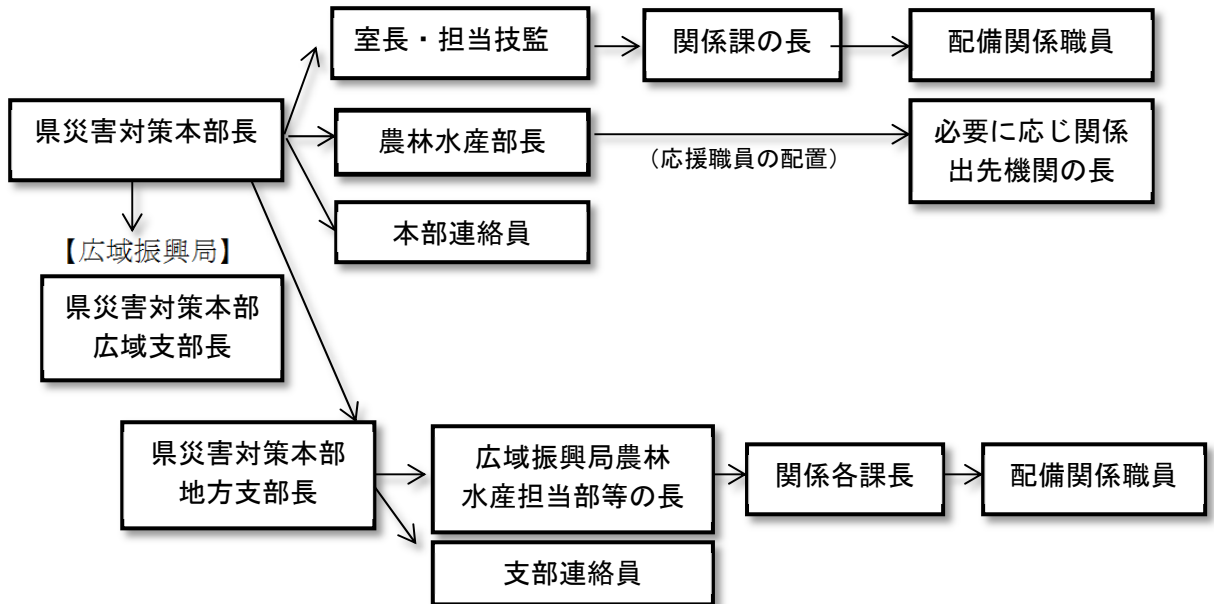
⑤ ④の連絡を受けた出先機関の長は、速やかに当該所属の非常招集系統図により関係職員に

連絡する。

⑥ ①から⑤の連絡を受けた職員は、速やかに参集し、配備体制をとるものとする。

《非常招集体系図》

【本庁・出先機関】



(2) 自主参集（県災害対策本部規程第 30 条）

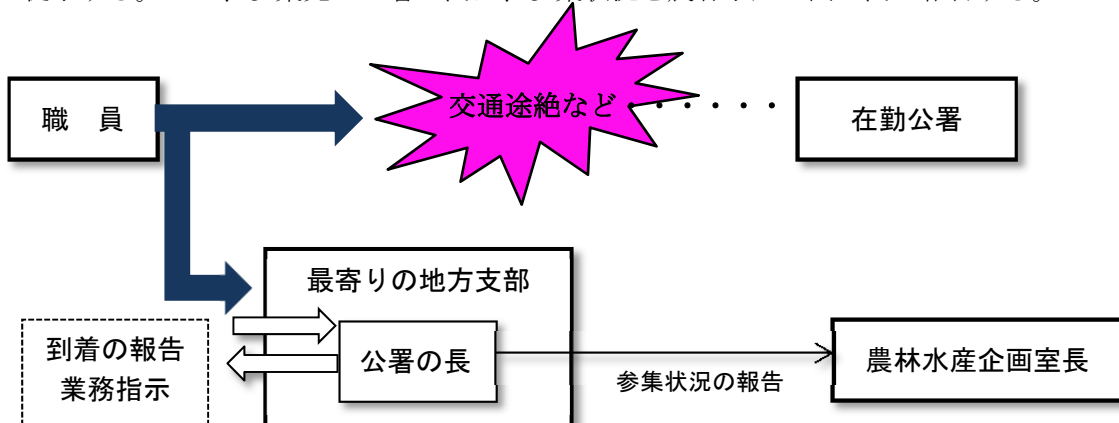
配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外において、配備基準に該当する事態が発生したと認められるときは、配備指令を待たずに、直ちに、在勤公署に参集する。

【自主参集の対象となる災害発生状況と参集職員の範囲は、「Ⅲ 配備体制 1 職員の配備」と同様である。】

2 在勤公署に参集できない場合の対応（県災害対策本部規程第 31 条）

配備職員は、夜間、休日等の勤務時間外に災害が発生した場合において、交通機関の途絶など、やむを得ない事情により在勤公署に参集できないときは、在勤公署の長に連絡のうえ、最寄りの地方支部に参集することができる。

この場合、参集先の公署の長に到着の報告を行うとともに、その指示に従い、必要な事務に従事する。また、参集先の公署の長は、参集状況を農林水産企画室長に報告する。



3 非常招集事務担当

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び各出先機関の長は、あらかじめ所属職員の中から非常招集事務担当者を指名する。

非常招集事務担当者の職務

- 1 非常招集系統図(配備体制がわかるもの)の作成に関する事。
- 2 災害発生時における職員の出勤状況の把握、職員及びその家族の安否確認に関する事。
- 3 安否不明の職員がある場合、農林水産企画室総務管理担当へその旨報告する事。

V 分掌事務等

災害発生時における本庁各室課、広域振興局農林水産担当部及び各出先機関の分掌事務は、次のとおりとする。

1 本庁各室課

所 属 等	県 災 害 対 策 本 部 規 程 で 定 め る 主 な 担 当 業 務	県 地 域 防 災 計 画 (災 害 応 急 対 策 計 画) で 定 め る 担 当 内 容	そ の 他 の 分 掌 事 務
農 林 水 産 企 画 室	<ol style="list-style-type: none"> 1 部内各課等の統括に関する事。 2 農畜産物、農業施設、農地・農業用施設、林業施設、水産施設、漁港施設等の被害調査及び応急対策の総括に関する事。 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項(岩手県知事部局行政組織規則第12条に規定する農林水産部の分課の分掌事務のことをいう。以下同じ。)に係るものに限る。) 4 災害特別警戒本部の対応に関する事。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施設被害情報の収集 ・ 農作物等被害情報の収集 ・ 家畜等被害情報の収集 ・ 水産関係被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施設被害報告 ・ 農作物等被害報告 ・ 家畜等被害報告 ・ 水産関係被害報告 3 広報広聴計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所管業務に係る広報資料の収集、作成整理 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業施設被害情報の収集 ・ 農作物等被害情報の収集 ・ 家畜等被害情報の収集 	
団 体 指 導 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 農業共済に関する事。 2 農業金融、林業金融及び水産金融に関する事。 3 他課等に対する応援に関する事。【保健福祉企画室】 		
流 通 課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関する事。 2 食料品取り扱い機関との連絡に関する事 3 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関する事(原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。) 	<ol style="list-style-type: none"> 1 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 米穀の調達に係る東北農政局岩手農政事務所に対するあっせん要請 ・ 農産副食物の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部に対するあっせん要請 ・ 上記物資の農水省に対するあっせん要請 2 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農畜産物及びその加工品の調達及びあっせん 	
農 業 振 興	1 経営構造対策事業、山村等		1 農作物気

課	<p>振興対策事業等で整備した施設の被害調査及び応急対策に関すること。</p> <p>2 他課等に対する応援に関すること。【商工企画室】</p>		<p>象災害の取りまとめに関すること。</p>
農業普及技術課	<p>1 農作物の被害の技術対策に関すること。</p> <p>2 農業気象に関すること。</p> <p>3 肥料の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>4 病虫害防除用の資機材の調達及びあっせんに関すること。</p> <p>5 病虫害防除に関すること。</p> <p>6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>7 他課等に対する応援に関すること。【市町村課】</p>	<p>1 県、市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料及び病虫害防除用資機材の調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 <p>2 農林水産物応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 	<p>1 低温・日照不足の異常気象による被害防止対策や関係機関や団体に対する適時適切な情報提供等に関すること。</p>
農村計画課	<p>1 他課等に対する応援に関すること。【経営支援課】</p>		
農村建設課	<p>1 防災ダムの洪水調節及び応急対策に関すること。</p> <p>2 農地・農業用施設、農村生活環境施設並びに農地の保全に係る海岸保全施設及び地すべり防止施設の被害調査及び応急対策に関すること（県土整備部下水環境課の主管に属するものを除く。）。</p>	<p>1 活動体制計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害情報の収集 <p>2 情報の収集・伝達計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害報告 ・農林水産省農村振興局所管海岸保全施設被害報告 <p>3 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（農林水産省農村振興局所管海岸保全施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 <p>4 林野火災応急対策計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地農業用施設被害情報の収集 ・農業用ダムの流量調整に係る連絡調整 	
農産園芸課	<p>1 農作物の種苗、蚕桑の輸送及びあっせんに関すること。</p> <p>2 農作物の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>3 蚕種及び養蚕の被害に対する応急対策に関すること。</p> <p>4 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。</p> <p>5 他課等に対する応援に関すること。【流通課】</p>	<p>1 市町村等応援協力計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農作物の種苗及び蚕種に調達に係る関係団体等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 	

畜産課	<ol style="list-style-type: none"> 1 広域農業開発事業により造成された施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 畜産物の被害の応急対策に関すること。 3 家畜、家きん及び家畜飼料の被害の応急対策に関すること。 4 家畜伝染病予防及び家畜防疫対策に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜伝染病被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜飼料の調達に係る全国農業協同組合連合会岩手県本部等に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・家畜対策全般 	
林業振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 食料品、生活必需品の物資の調達及びあっせんに関すること。 2 林産及び特用林産施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林産物（苗木を除く）の被害調査及び応急多雨策に関すること。 4 国有林関係被害の情報収集に関すること。 5 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害報告 ・林産物（苗木を除く）被害報告 ・国有林関係被害報告 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・木材の調達に係る県木材協同組合連合会に対するあっせん要請 ・木炭の調達に係る県木炭協会及び県木炭移送協同組合に対するあっせん要請 3 応急仮設住宅の建設等及び応急修理計画 <ul style="list-style-type: none"> ・応急仮設住宅の供与及び被災住宅の応急修理に係る木材の確保 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林産及び特用林産施設被害情報の収集 ・林産物（苗木を除く）被害情報の収集 	
森林整備課	<ol style="list-style-type: none"> 1 森林火災の予防及び森林火災の発生状況の把握に関すること。 2 林業種苗の調達及びあっせんに関すること。 3 林業道（県有林を除く）及び苗畑施設の被害調査及び応急対策に関すること。 4 国有林及び県有林以外の森林の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること。【地域福祉課（災害ボランティアに関すること。）】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害報告 ・林産物（苗木）被害報告 ・国有林及び県有林以外の森林被害報告 2 市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・林業種苗の調達に係る種苗業者に対するあっせん要請 ・上記物資の農水省に対するあっせん要請 3 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除に係る技術指導 4 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・消火資機材の調達及びあっせん ・作業道（県有林を除く）及び苗畑施設被害情報の収集 ・林産物（苗木）被害情報の収集 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・国有林及び県有林以外の森林被害情報の収集 	
森林保全課	<ol style="list-style-type: none"> 1 治山施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 県有林の被害調査及び応急対策に関すること。 3 林地荒廃の被害調査及び応急対策に関すること。 4 林道施設の被害調査及び応急対策に関すること。 5 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害報告 ・県有林関係被害報告 ・林地荒廃被害報告 ・林道施設関係被害報告 2 林野火災応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・治山施設被害情報の収集 ・県有林関係被害情報の収集 ・林地荒廃被害情報の報告 ・林道施設被害情報の収集 	
水産振興課	<ol style="list-style-type: none"> 1 水産関係の応急対策に関すること。 2 食料品、生活必需品等の物資の調達及びあっせんに関すること 3 漁船による海上輸送に関すること。 4 漁業災害補償に関すること。 5 海上災害に係る連絡調整及び応急対策に関すること。 6 県内で生産等された農林水産物、粗飼料等の放射性物質濃度の測定等に関すること（原子力災害の場合及び所管事項に係るものに限る。）。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 交通確保・輸送計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁船による海上輸送の要請 2 県、市町村等応援協力計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産食品の調達に係る県漁業協同組合連合会及び県水産加工業共同組合連合会に対するあっせん要請 ・上記物資の水産庁に対するあっせん要請 3 食料、生活必需品等供給計画 <ul style="list-style-type: none"> ・水産物の調達及びあっせん要請 4 農林水産物応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・栽培・管理に係る技術指導 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁連、漁協との連絡調整 ・港外にいる漁船に対する災害の周知 	
漁港漁村課	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁港施設及び漁港区域に係る海岸保全施設の被害調査及び応急対策に関すること。 2 漁場施設の被害調査及び応急対策に関すること。 3 応急対策に係る漁港の利用に関すること。 4 他課等に対する応援に関すること【産業経済交流課】 	<ol style="list-style-type: none"> 1 活動体制計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設等被害情報の収集 ・水産庁所管海岸保全施設被害情報の収集 2 情報の収集・伝達計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港施設被害報告 ・水産庁所管海岸保全施設被害報告 3 廃棄物処理・障害物除去計画 <ul style="list-style-type: none"> ・漁港関係障害物の除去 4 公共土木施設・鉄道施設等応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・各公共土木施設（水産庁所管海岸保全施設、漁港施設）に係る被害状況調査及び応急対策の実施 5 海上災害応急対策計画 <ul style="list-style-type: none"> ・所管漁港又は港湾に係る保全措置 ・在籍船舶に対する災害の周知 ・災害防止のための応急措置 	
競馬改革推進室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。【市町村課】 		
県産米戦略室	<ol style="list-style-type: none"> 1 他課等の応援に関すること。 		

備考 【 】内は「岩手県災害対策本部規程の運用について」（H24.3.30 付け総防第 1213 号県災害対策本部通知）により規定された応援先の室課名であること。

2 広域振興局農林水産担当部等

広域振興局 農政（林）部 林務部 水産部 農林振興センター 農村整備センター 水産振興センター 農村整備室 林務室 林務出張所 家畜保険衛生所 漁業取締事務所 水産技術センター 農業改良普及センター （中央の県域Gを除く。）	1 本庁関係課又は農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
--	--	--	--

3 出先機関

病虫害防除所 生物工学研究所 農業研究センター 林業技術センター 内水面水産技術センター 農業大学 中央農業改良普及センター（県域Gに限る。）	1 農林水産企画室との連絡調整に関すること。 2 所掌業務に係る災害情報の収集、報告及び応急対策に関すること。 3 その他特に命じられたこと。		
---	---	--	--

本庁各室課の長、広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、それぞれの業務について、実施マニュアルを作成しておくものとする。

VI 災害情報の収集・伝達及び応急対策

1 災害情報の収集・伝達

災害情報は次の種類別に区分される。

種類	内容	報告様式	伝達手段	伝達者
初期情報報告	被害発生直後にその概要を報告するとともに、災害応急対策の内容とその進捗状況について、逐次、報告するもの	岩手県地域防災計画（様式1）	原則として、電子メール及び県情勢情報ネットワークによるものとし、防災行政無線（電話、FAX）等はバックアップ用として利用するものとする。	市町村本部～地方支部～総合防災室
	災害の規模やその状況が判明するまでの間（災害発生初期）に、種類別に報告するもの	岩手県地域防災計画（様式F及び3、10～16）		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
被害額等報告	被害額等が判明した時に、種類別に報告するもの	同上		市町村本部～地方支部～農林水産部～総合防災室
その他の	前記の報告以外で、必要	任意様式	市町村本部～地方	

報告	な事項について報告するもの			支部～農林水産部 ～総合防災室
----	---------------	--	--	--------------------

※報告様式・・・農林水産部関係を掲載しています。

上記災害報告に関し、当部における具体的な情報伝達経路を次のとおりとする(体系は16頁)。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	報告・伝達	最終報告先
庁舎等被害報告	様式 3	出先機関	農林水産 企画室	関係課に伝 達	農林水産 部長
農業施設被害報告	様式 12	市町村本部			
農作物等被害報告	様式 13	↓ 広域振興局 等(農林水 産担当部) 及び出先機 関			
家畜等関係被害報告	様式 14				
水産関係被害報告	様式 10				
農地農業用施設被害報告	様式 15	農林水産企 画室に報告	農林水産企 画室に報告	県災害対策 本部長(総 合防災室)	
林業関係被害報告 (林産及び特用林産施 設、林産物、国有林)	様式 16				農村建設課
林業関係被害報告 (作業道(県有林除く)、 苗畑施設、緑資源機構※、 市町村有林、私有林)	様式 16				林業振興課
林業関係被害報告 (林道、治山施設、県有 林、林地荒廢)	様式 16				森林整備課
漁港施設等被害報告	様式 11		森林保全課		
			漁港漁村課		

※ 現・森林農地整備センター

2 応急対策及び指示

- (1) 広域振興局農林水産担当部等の長及び出先機関の長は、所管施設等において災害が発生し又は発生するおそれがある場合は、速やかに所要の応急措置を講ずるものとする。
- (2) ただし、相当規模の災害等で、農林水産部長の指示を要すると認める場合にあっては、その指示に基づいて応急対策を講ずるものとする。

報告事項	報告様式	報告者	報告先	最終報告先
応急対策実施(又は部 長の指示確認)	別紙様式 1	広域振興局農林水 産担当部等及び出 先機関	農林水産企画室又は本 庁関係課(情報伝達と 同様)	農林水産部長

VII 農林水産部災害対策会議

災害対策の連絡調整及び重要事項を協議するため、部内に農林水産部災害対策会議を置き、その構成及び運営については、別途「農林水産部災害対策会議運営要領」で定める。

【会議の概要】

	内 容	備 考
構 成	部長、室長、担当技監、各課総括課長	状況に応じて、部長が指定した者によって開催できる
協議事項	1 災害情報 2 災害に関する予防措置の検討、諸計画の樹立 3 応急対策 4 応急対策に関する部内職員の配置及び応援職員の派遣 5 その他	
招 集	県災害対策本部設置基準に該当する災害が発生するおそれがある場合、又は発生した場合に部長が招集	
庶 務	農林水産企画室総務管理担当者	

【災害に応じた主な構成員】

災害の種類	主 な 構 成 員		
	緊急を要する場合 (警戒配備による招集課長等) ※ここでの課長は、総括課長をいう。	拡大構成員 ※左記に同じ。	その他
震度5強以上の地震	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	状況に応じて、部長が指定した者
津 波	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
台 風	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長、漁港漁村課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長、水産振興課長	
大 雨	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
山 火 事	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長		
火 山 噴 火	室長、担当技監、農林水産企画室担当課長、農村建設課長、林業振興課長、森林整備課長、森林保全課長	農業振興課長、農業普及技術課長、農産園芸課長、畜産課長	
その他の災害	状況に応じて、部長が指定した者		

※1 本表は、勤務時間外で、概ね災害直後に招集される会議を想定しているものであること。

※2 勤務時間内については、原則全構成員の対応となること。

※3 拡大構成員は、何らかの応急措置を伴う課（V分掌事務参照）の長が対象となること。

Ⅷ その他関係事項

1 各所属等において措置すべき事項

対象者	措置すべき事項	措置する時期	備考
農林水産企画室長	農林水産部非常招集系統図作成	毎年度当初	本庁のみ
農林水産部長	本部連絡員の指名	毎年度当初	本庁のみ
部長 (広域振興局農林水産担当部等の長)	緊急初動要員の指名協議	毎年度当初	本庁及び広域振興局等
本庁各室課の長 広域振興局農林水産担当部等の長 出先機関の長	非常招集系統図(配備体制区分がわかるもの)作成	毎年度当初	本庁は農林水産企画室に提出
同上	各分掌事務に係る実施マニュアル及び職員の事務分担作成	毎年度当初	
同上	非常召集事務担当者の指名	毎年度当初	

農作物等気象災害防止対策本部設置要綱

(設置)

第1 岩手県地域防災計画（災害応急対策計画）に基づき、農作物等気象災害の未然防止及び災害が発生した場合における対策の迅速かつ適切な実施を図るため、農作物等気象災害防止対策本部（以下「本部」という。）を置く。

(所掌事務)

第2 本部は、次に掲げる事項に関し必要な調査及び連絡調整を行う。

- (1) 気象災害に係る情報の収集、広報及び啓発に関すること
- (2) 気象災害による農作物等被害の防止及び回復に関すること
- (3) 気象災害の発生に対処する農業経営安定化対策の推進に関すること
- (4) 関係機関及び関係団体との協調推進に関すること
- (5) その他必要な対策に関すること

(組織)

第3 本部は、本部長、副本部長及び委員をもって組織する。

- 2 本部長は農林水産部長を、副本部長は農林水産企画室長及び農政担当技監をもって充てる。
- 3 委員は別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

(本部長及び副本部長)

第4 本部長は、部務を総理し、会議を主宰する。

- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、本部長があらかじめ定める順序により、その職務を代理する。

(会議)

第5 本部の会議は、必要に応じて本部長が招集する。

- 2 災害発生時において、農林水産部災害対策実施マニュアルに基づく農林水産部災害対策会議（以下「対策会議」という。）が設置された場合には、本部協議事項は対策会議において協議する。

(幹事長及び幹事)

第6 本部に幹事長及び幹事を置く。

- 2 幹事長は、農林水産企画室企画課長をもって充てる。
- 3 幹事は、別表2に掲げる職にある者をもって充てる。
- 4 幹事長及び幹事は、本部の所掌事務につき委員を助ける。

(地方支部)

第7 広域振興局及び広域振興局農林振興センター（以下、「広域振興局等」という。）の所管区域（別表3に掲げる区域をいう。）ごとに地方支部を置く。

- 2 地方支部の所掌事務及び会議の招集は、本部に準ずるものとする。
- 3 地方支部は、地方支部長、副地方支部長及び委員をもって組織する。
- 4 地方支部長は広域振興局等の農政部長、農林部長又は広域振興局農林振興センター所長をもって充て、副地方支部長は、盛岡広域振興局農政部にあっては農業振興室長、その他の広域振興局等の農政部、農林部及び農林振興センターにあっては農作物等気象災害防止対策の事務を所掌する課長及び所管区域を所掌する農業改良普及センターの所長（花巻地方支部にあっては中央農業改良普及センター副所長）をもって充てる。
- 5 委員は、地方支部長が関係出先機関の職員のうちから指名する者をもって充てる。
- 6 地方支部長及び副地方支部長については、第4の規定中、本部長にあっては地方支部長と、副本部長にあっては副地方支部長とそれぞれ読み替えて準用する。

(庶務)

第8 本部の庶務は、農林水産企画室において処理する。

(補則)

第9 この要綱に定めるもののほか、本部の運営に関し必要な事項は本部長が定める。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

この要綱は、平成15年4月1日から施行する。

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

この要綱は、平成17年8月8日から施行する。

この要綱は、平成18年8月17日から施行する。

この要綱は、平成21年7月28日から施行する。

この要綱は、平成26年3月24日から施行する。

この要綱は、平成27年7月2日から施行する。

別表 1（要綱第 3 関係）

職 名	
農林水産企画室	企画課長
団体指導課	総括課長
流通課	総括課長
農業振興課	総括課長
農業普及技術課	総括課長
農村計画課	総括課長
農村建設課	総括課長
農産園芸課	総括課長
畜産課	総括課長
県産米戦略室	県産米戦略監
中央農業改良普及センター	所長

別表 2（要綱第 6 関係）

職 名	
農林水産企画室	主任主査
団体指導課	金融共済担当課長
流通課	6次産業化推進担当課長
農業振興課	担い手対策課長
農業普及技術課	普及担当課長
農村計画課	団体指導・国営担当課長
農村建設課	水利整備・管理担当課長
農産園芸課	水田農業課長
畜産課	畜政担当課長
県産米戦略室	主任主査
中央農業改良普及センター（県域普及グループ）	普及課長

別表3 (要綱第7関係)

広域振興局等	所管区域
盛岡広域振興局	盛岡市、八幡平市、滝沢市、岩手郡、紫波郡
県南広域振興局	奥州市、胆沢郡
花巻農林振興センター	花巻市、北上市、和賀郡
遠野農林振興センター	遠野市
一関農林振興センター	一関市、西磐井郡
沿岸広域振興局	釜石市、上閉伊郡
宮古農林振興センター	宮古市、下閉伊郡（普代村を除く。）
大船渡農林振興センター	大船渡市、陸前高田市、気仙郡
県北広域振興局	久慈市、下閉伊郡のうち普代村、九戸郡（軽米町及び九戸村を除く。）
二戸農林振興センター	二戸市、九戸郡のうち軽米町及び九戸村、二戸郡

農業共済事業の種類と仕組み

1 制度共済（共済掛金国庫負担金対象）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
農作物共済	水稻 麦	気象災害（冷害・風水害・干害等）、病虫害、鳥獣害、火災 上記事故による減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少（災害による減収分と品質低下分の補償：品質方式・災害収入共済方式）	【当然加入制】 ・水稻 30 a 以上（盛岡地域、岩手中部、胆江地域） 25 a 以上（磐井、東南部、宮古地域、岩手北部） ・麦 10a 以上（全組合）	【一筆・半相殺・全相殺方式】 共済金額（全損被害時に支払われる最高補償額）＝単位当補償金額×基準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める補償割合の中から組合員が選択した割合） 【水稻品質・麦災害収入共済方式】 基準生産金額の6～9割
	りんご ぶどう	【減収総合方式】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害 【特定危険方式】 特定の事故のみの限定方式（暴風雨、降ひょう、凍傷、降霜） 【災害収入共済方式】 減収又は品質の低下を伴う生産金額の減少 【樹体共済】 気象災害（冷害、風水害、干害等）、病虫害、鳥獣害による樹体の枯死、流失、滅失、埋没及び損傷	・栽培面積10a以上（最低加入基準） 【特定危険方式】 ・20 a 以上の栽培面積で早・中・晩生種ごとに10a以上の栽培面積と栽培経験5年以上	【半相殺・全相殺・樹園地単位方式】 単位当補償金額×標準収穫量×補償割合（組合が共済規程に定める最低割合～最高補償割合の中から組合員が選択した割合） 【災害収入共済方式】 基準生産金額の最低割合（4～6割）～8割 【樹体共済】 共済価格の最低割合（4～6割）～8割
	畑作物共済	大豆 そば ホップ 蚕繭（春・初秋・晩秋）	・気象災害（冷害・風水害・干害等） ・病虫害、鳥獣害、火災 ・気象災害（風水害、地震等） ・病虫害、鳥獣害、火災	・栽培面積5 a 以上（最低加入基準） 最低加入基準：蚕種の掃立量；春蚕繭（1箱以上）、初秋蚕繭（0.5箱以上）、晩秋蚕繭（0.5箱以上）

※岩手県で引受の対象としているものは次のとおり

- ・特定危険・半相殺方式及び特定危険・樹園地単位方式
- ・減収総合・半相殺方式及び減収総合・樹園地単位方式

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
家畜共済	牛 馬 豚	死亡（胎児の場合、人工授精等の後 240 日以上経過していることが要件）、 廃用（胎児・肉豚を除く）、 病気（胎児・肉豚を除く）、 傷害（胎児・肉豚を除く） 【事故除外】 特定の事故のみ限定	・乳牛の雌等（乳用子牛等、乳用成牛） ・肉用牛等（肥育用子牛・肥育用成牛、その他の肉用子牛等、その他の肉用成牛）（等の中に（人工授精等の後 240 日以上）胎児が含まれる・子牛は出生後 6 か月未満・成牛は出生後 6 か月以上）	・共済金額＝共済価額×付保割合（共済価額：家畜個体評価額の合計額、付保割合：組合共済規程で定める最低割合～8割の間で選択） ・高被害率農家（死産事故多発農家）には、共済金の支払いに一定の限度が設けられるが、火災や自然災害、伝染病による死産事故の場合は限度適用前の共済金額の範囲内で支払われる
園芸施設共済	プラスチックハウス・ガラス室・鉄骨ハウス	・気象災害（風水害、雪害、地震等） ・火災、破裂、爆発 ・航空機の墜落及び接触等 ・車両の衝突等 ・病虫害、鳥獣害	・組合員であり、ハウスを所有し農作物を栽培管理していること ・1a 当たりの再建築価額が 3 万円未満の施設や畜舎、蚕室、タバコ乾燥室など農作物の栽培以外で使用されている施設は除く	・共済金額＝共済価額（施設時価額）×付保割合（付保割合：組合共済規程に定める最低割合～8割の間で選択） ※平成 27 年 2 月より補償拡充（①耐用年数の見直しと補償価格の引上げ、②農家選択による補償の追加、③撤去費用の追加） ※施設内農作物の共済金額＝施設の再建築価額（新築価額）×該当施設内農作物の価額算定率（花き類、果菜類、葉菜類ごとに栽培のために投下した生産費）×付保割合

2 任意共済（共済掛金国庫負担金対象外）

引受対象		共済支払対象事故	加入基準	補償対象
建物共済	建物 家具類 小農器具	(火災共済) ・火災、落雷、破裂、漏水（除く凍結損害）、車両飛込、落下、盗難に伴う汚損 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・風水害、雪害、地震、噴火、津波、その他の自然災害	・所有又は管理している住宅、農作業場、畜舎等 ・上記住宅に收容されている家具、家財 ・農作業場等に收容されている小農器具	(火災事故) ・共済期間＝掛金納入日の午後4時から1年間 ・共済金額＝損害額×（加入金額／再建築価額×加入割合）で算定される額 ※加入割合8割以上：損害共済金＝損害額（加入金額限度） ※加入金額8割未満：加入割合によって支払（風水害事故） ・損害額が再建築価額の5%又は1万円を超えた場合に支払 ・共済金額＝（損害額－1万円）×（加入金額／再建築価額）
農機具共済	農機具	(火災共済) ・火災、落雷、獣害、盗難、衝突 等 (総合共済) ・火災共済に加え ・墜落、転覆、風水害、雪害、クローラの切断、自然災害 (更新共済) ・総合共済に加え ・将来の買替費用の積立	・所有または管理している未使用の状態取得した農機具	・共済金額＝損害額×（加入金額／新品価格）で算定される額 ※損害額1万円以上の事故から対象 ※機械の腐食等の自然消耗等は対象外

漁業共済事業の種類と仕組み

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
漁獲共済	1号漁業	採貝採藻業のうちわかめこんぶあわび	【収獲高保険方式】 漁獲金額が不漁等により減少した場合の損失補償	【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者全員をまとめて漁協が契約者となる 「集団契約」 【漁協自営加入】 対象漁業を営む漁協が契約	【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式 【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定しててん補する方式 【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式 【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の漁獲金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式 【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式
	2号漁業	漁船漁業 定置漁業		【連合加入】 漁協ごと・漁業区分ごとに漁業者がまとめて加入(個別契約、漁協一括契約、集団契約) 【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)	

引受対象	補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法
特定養殖共済	<p>わかめ こんぶ ほたて貝 かき えぞいしかげ貝 ほや</p> <p>過去5年間の養殖単位 当たり生産 金額のうち 最高と最低 を除く3年 平均 × 契約年のさ く数、台数、 または幹縄 の延長数 × 一定割合 (養殖種類 ごとに一 律)</p>	<p>【収穫高保険方式】 生産金額が病虫害等により減少した場合の損失補償</p>	<p>【義務加入】 漁協ごと・区域ごとに全員加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【連合加入】 漁協ごと・区域ごとに漁業者がまとまって加入(個別契約、漁協一括契約)</p> <p>【任意加入】 1人からでも加入できる(個別契約)</p>	<p>【全事故比例てん補方式】 減収分を比例的に補償する方式</p> <p>【約定限度内てん補方式】 共済限度額(補償水準)に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)までに限定して、てん補する方式</p> <p>【支払上限付てん補率てい増方式】 支払上限割合(50%)までをてん補するが、25%以下の損失については1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害低てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までの全額をてん補するが、判定ライン以下の場合は1/2をてん補する方式</p> <p>【支払上限付小損害不てん補方式】 損失割合が事故判定ライン(30%)を上回る場合は支払上限割合(50%)までをてん補するが、判定ライン以下の場合は不てん補とする方式</p> <p>【支払上限付低事故不てん補方式】 損失割合が共済限度額に対する約定割合(10%、20%、30%のいずれか選択)を上回る場合は、約定割合から支払上限割合(50%)までをてん補する方式</p> <p>【大損害比例てん補方式】 加入区全体の損失割合が30%以上の場合は全額がてん補対象で、30%未満の場合は約定割合の1/2を填補する方式(漁協一括契約のみ)</p> <p>【地震等限定てん補方式】 事故判定基準の「激甚災害に政令指定された地震・噴火又は、これらによる津波により、操業の制限を受け、かつ、責任期間中の生産金額が共済限度額の70%に満たないこと」に該当する場合、共済限度額の70%を下回った部分をてん補する方式</p> <p>【地震等比例てん補付約定限定内てん補方式】 通常は「約定限度内てん補方式」によりてん補し、「地震等限定てん補方式」の事故判定基準に該当する場合は、「全事故比例てん補方式」によりてん補する方式</p>

引受対象		補償水準等	共済事故	加入方法	補償方法	
漁業施設共済	漁具	定置網	新調価格 × 引受現有害率	【物損保険方式】 漁業に供用中の 漁具・養殖施設 が台風等の自然 災害により受け た損壊や第三者 により受けた損 害(盗難を除く) を補償	水域ごとに全ての施設が加 入	【全損契約】 全部損害の場合のみ補償 【各網全損特約】(定置網) 【分損特約契約】 3割以上の損害の場合に補償 【地震等限定てん補(分損)契約】 地震・噴火又は、これらによる津 波が原因で3割以上の損害の場合に 補償
	養殖施設	はえ縄 いかだ 網いけす				
地域共済	休漁補償共済	漁船漁業 定置漁業	漁獲共済の 共済限度額 × 10% (漁獲共済 の共済限度 額×10%が 3千万円を 超える場合 は3千万円)	漁船又は定置網 に生じた不慮の 事故によって、 当該漁業の操業 が10日以上制限 され、漁獲金額 が減少した場合 に補償。 また、漁船に生 じた不慮の事故 によって、代船 を借り上げて当 該漁業を操業し た場合に補償。	漁獲共済とのセット加入	【一般損害】 推定減収額の50% (3分の1の填補特約が付されている 場合は推定減収額の3分の1) 【費用損害】 代船の借上げに最低限必要な経費
		ほたて貝 特定かき ほや の種苗	特定養殖共 済の共済限 度額 × 20% (特定養殖 共済に加入 できない者 は、当該地域 の養殖業の 事情を勘案 して組合が 決める額)	地震若しくは噴 火又はこれらに よる津波により 種苗が被災した 場合に補償(漁 業施設共済で全 損共済金が支払 われる場合に限 る)	特定養殖共済及び漁業施設 共済とのセット加入	【一般損害】 種苗が被災したことによる損害額 の80%

- ※1 個別契約
漁業者が直接加入する方式
- 2 漁協一括契約
漁協が加入する方式
- 3 集団契約
漁業者がグループで加入する方式

森林災害復旧造林事業と被害森林整備事業の概要

区分	森林災害復旧造林事業			環境林整備事業（被害森林整備）		
根拠法	激甚災害に対処するための特別の財政援助等に関する法律（激甚災害法）			森林法		
目的	激甚災害を受けた森林の復旧			気象害等の被害を受けた森林の復旧		
対象 災害の 範囲	激甚災害 国民経済に著しい影響を及ぼし、かつ、特別の助成等が特に必要と認められる災害で、政令で指定するもの			火災（山林火災）、気象災（風倒害、雪害等）、 病虫獣害等		
事業を 実施で きる地 域	農林水産大臣が告示する市町村 激甚災害による森林被害額が1,500万円以上で、かつ、要復旧面積が90ha以上の市町村 （激甚災害が暴風雨による場合） 森林被害額が4,500万円以上、かつ、要復旧面積が40ha以上の市町村			① 森林所有者の自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において、人工造林等を実施するため、事業主体が森林所有者等との協定を締結していること ② 1施行地の面積が0.1ha以上		
事業 内容	人工林被害跡地に おける被害木等の 伐採・搬出及び造林	倒伏した造 林木の引き こし	作業路 の開設	被害森林におけ る被害木等の伐 採・搬出及び人工 造林等	倒伏木の引 起こし	森林作業 道の開設 及び改良
事業 主体	都道府県、市町村、森林組合、生産森林組合、 森林組合連合会、任意団体等			都道府県、市町村、森林組合等、特定非営利 活動法人等、森林経営計画策定者（ただし、 事業主体が自ら所有する森林で実施する場合 を除く。）		
補助率	国：1／2、県：1／6			国：3／10、県：1／10 （査定係数 170）		
事業費 査定	あり			なし		

森林保険の制度と仕組み

引受対象	保険支払対象事故	加入方法（保険料）	補償方法
<p>人工林</p> <p>・樹種、林齢、面積等に制限なし。ただし、竹林や天然林は対象外</p>	<p>・火災</p> <p>・気象災害 (風害・水害・雪害・干害・凍害・潮害)</p> <p>・噴火災</p> <p>※地震、病虫獣害は対象外</p>	<p>・契約者が、付保率等を選択し、保険金額を設定</p> <p>・保険料は、設定した保険金額に対して保険料率（保険金額 1,000 円につき年間 1.2 円～4.3 円）を乗じて算出</p>	<p>保険金は、契約保険金額の範囲内で損害に応じて支払</p> <p>【保険金＝損害額×保険金額／保険価額】</p> <p>[保険金支払責任を負わない場合]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損害が保険契約者等の故意又は重大な過失によって生じたとき ・保険契約者等が損害が生じてから通知をせずに3年経過したとき ・損害が戦争、変乱又は地震によって生じたとき ・保険金の支払額が4,000円未満のとき <p>[支払対象とならない損害]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒木起こし等復旧可能な損害 ・成林に支障のない程度の軽微な損害 ・造林技術上の欠陥又は病虫・獣害等によるものと認められる損害 ・活着不良等により通常生じる枯損による損害

農作物災害対策要綱

(昭和 61 年 4 月 1 日制定)
(平成 8 年 3 月 25 日一部改正)
(平成 13 年 4 月 1 日一部改正)
(平成 17 年 9 月 6 日一部改正)
(平成 19 年 12 月 11 日一部改正)

(趣旨)

第 1 この要綱は、農作物について、暴風雨、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、低温、渇水、降ひょうその他の異常気象による災害（以下「気象災害」という。）の未然防止並びに被害の軽減回復及び拡大防止のための対策を推進し、農作物の生産確保及び再生産を図り、もって農業経営及び農家生活の安定に資するために必要な事項を定めるものとする。

(対策の内容)

第 2 この要綱による対策の内容は、次のとおりとする。

- (1) 緊急病虫害防除対策
- (2) 播き直し、改植、代作の対策
- (3) 生育回復対策
- (4) 農業経営維持に必要なものとして知事が特に認める対策

(被害の把握)

第 3 県は、気象災害が発生したときは、別に定める農業被害報告要領に基づき、農業被害状況を取りまとめるものとする。

- 2 県は、前項の規定により取りまとめた農業被害状況を対策実施の基礎とするとともに、必要があると認めるときは現地調査を行うものとする。

(助成措置の適用)

第 4 県は、原則として、次の各号のすべてに該当する場合に助成措置を講ずるものとする。

- (1) 2 以上の市町村における農作物の被害額が 1 億円以上の場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (2) 被害率が 31 パーセント以上（第 2 第 2 号に掲げる対策を実施する場合にあっては 71 パーセント以上）の農作物がある場合又は同程度以上の被害の発生が予測される場合
- (3) 第 2 の各号に掲げる対策を実施することにより、気象災害の未然防止又は被害の軽減回復若しくは拡大防止の効果が大きいと認められる場合
- (4) 災害発生之都度（発生が予測される場合を含む。）、別に定める補助事業の交付要領等により算出される県の補助金の見込額が、1 市町村 1 作目当たり 15 万円以上であり、かつ、1 市町村における県の補助金の見込額が 30 万円以上となる場合

(対策の推進体制)

第 5 被害の把握については農林水産企画室長が、助成措置の適用については農産園芸課総括課長が所掌する。

農作物災害復旧対策事業の実施状況（県単 昭和61年～平成27年被害（農作物被害額1億円以上））

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
S61	8月4日～5日	台風10号	3,272.8	500,232	水稲	病害虫防除	1,272.6	8,336	2,775	一関市等6市町村	
					大豆	代作	10.2	2,881	959	一関市等3市町村	
					野菜	代作	3.9	1,175	391	川崎村	
						生育回復	4.9	92	30	川崎村	
						小計	8.8	1,267	421	7市町村	
	桑	生育回復	60.3	2,603	865	北上市等5市町村					
計		1,351.9	15,087	5,020	7市町村						
9月7日	降雹	112.5	100,740	果樹	病害虫防除	78.0	3,779	1,259	大東町		
年度計							1,429.9	18,866	6,279		
S62	5月6日	凍霜害	4,640.0	1,201,346	果樹	病害虫防除	551.9	14,798	4,851	盛岡市等14市町村	
						生育回復	121.7	27,193	9,058	松尾村等9市町村	
						小計	673.6	41,991	13,909	14市町村	
					野菜	改植	10.0	2,961	986	滝沢村	
						生育回復	232.2	5,445	1,792	葛巻町等15市町村	
	桑	生育回復	1,547.1	5,828	1,902	大迫町等10市町村					
	計		2,462.9	56,225	18,589	25市町村					
	8月16日～18日	大雨洪水	3,670.5	678,589	水稲	病害虫防除	1,424.5	11,924	3,973	一関市等5市町村	
						病害虫防除	2.1	11	3	藤沢町	
					豆類	代作	2.8	596	198	藤沢町、川崎村	
	8月29日	大雨洪水	970.4	236,652	野菜	代作	39.6	8,394	2,794	岩手町、一関市、平泉町	
						生育回復	5.5	59	19	川崎村	
					小計	45.1	8,453	2,813	4市町村		
桑	生育回復	84.1	4,457	1,483	北上市等5市町村						
計		1,558.6	25,441	8,470	7市町村						
9月22日	降雹	10,582.1	1,479,501	果樹	病害虫防除	139.0	4,355	1,440	紫波町等4市町村		
				野菜	代作	3.2	689	224	紫波町		
				計	142.2	5,044	1,664	4市町村			
年度計							4,163.7	86,710	28,723		
S63	6月18日	降雹	221.0	110,806	野菜	病害虫防除	2.8	29	9	安代町	
						改植	5.0	672	224	安代町	
					小計	7.8	701	233			
	8月28日～31日	大雨	3,942.8	1,145,609	果樹	病害虫防除	31.0	1,126	374	二戸市	
						計	38.8	1,827	607	2市町	
					水稲	病害虫防除	435.9	2,812	935	胆沢町等5市町村	
						病害虫防除	100.4	839	278	金ヶ崎町等4市町村	
					大豆	代作	10.0	1,640	546	金ヶ崎町	
					小計	110.4	2,479	824	4市町村		
					野菜	病害虫防除	114.2	4,643	1,529	紫波町等5市町村	
代作	34.8	8,040	2,636	岩手町等5市町村							
小計	149.0	12,683	4,165	6市町村							
桑	生育回復	52.0	2,398	798	川崎村、北上市						
計		747.3	20,372	6,722	11市町村						
夏期 低温・日照不足							95,026.0	30,127,805		別途対策事業を実施	
年度計							786.1	22,199	7,329		
H元	6月10日～11日	降霜	2,770.8	240,701	大豆	播き直し	64.0	1,814	604	軽米町、九戸村	
					小豆	播き直し	6.4	156	52	軽米町、九戸村	
					野菜	播き直し	54.2	8,344	2,764	二戸市等3市町村	
					果樹	生育回復	9.0	177	59	軽米町	
					とうもろこし	播き直し	99.7	4,832	1,609	岩泉町等6市町村	
	計		233.3	15,323	5,088	6市町村					
7～8月	少雨	1,799.4	309,224	水稲	病害虫防除	110.2	2,622	873	紫波町		
8月下旬～9月下旬	長雨	714.8	401,839	野菜	病害虫防除	61団地	23,079	7,617	紫波町等4市町村		
					計	110.2	25,701	8,490	4市町村		
計		185.5	4,923	1,623	岩手町等4市町村						
年度計							529.0	45,947	15,201		
H2	7月24日	降雹	351.8	276,326	レタス	病害虫防除	80.7	2,553	850	川井村、一戸町	
						代作	13.3	4,112	1,369	川井村、一戸町	
					小計	94.0	6,665	2,219	2町村		
	キャベツ	病害虫防除	10.0	161	53	一戸町					
		計	104.0	6,826	2,272	2町村					
	8月26日	降雹	810.9	277,266	りんご	病害虫防除	57.0	2,056	684	東和町、北上市	
	9月19日～20日	台風19号	4,489.2	671,624	だいこん	病害虫防除	2.0	23	7	紫波町	
						代作	8.0	1,031	343	紫波町	
					小計	10.0	1,054	350			
					ねぎ	病害虫防除	2.0	17	5	花巻市	
						代作	2.0	258	85	花巻市	
	小計	4.0	275	90							
	ほうれんそう	播き直し	4.9	631	210	遠野市、宮守村					
	ブロッコリー	病害虫防除	4.0	28	9	花巻市					
		代作	4.0	515	171	花巻市					
		小計	8.0	543	180						
	レタス	代作	3.0	386	128	遠野市					
ごぼう	代作	2.0	258	85	花巻市						
わさび	植え直し	0.3	2,039	679	宮守村						
計		32.2	5,186	1,722	4市町村						
年度計							193.2	14,068	4,678		

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況									
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考				
H3	8月30日～31日	台風14号	357.3	104,153	りんどう	改植	0.8	2,080	665	安代町				
	9月27日～28日	台風19号	5,875.2	2,418,472	ほうれんそう	播き直し	67.6	9,118	3,013	岩手町等7市町村				
					りんご	病害虫防除	842.7	31,930	10,575	盛岡市等15市町村				
						改植	3,300本	3,400	1,131	盛岡市等5市町村				
					小計	842.7	35,330	11,706	15市町村					
	夏期	長雨・日照不足・低温	100,360.6	25,761,883	別途対策事業を実施									
			年度計				911.1	46,528	15,384					
H4	6月14日	降雹	445.7	144,624	りんご	病害虫防除	30.0	534	178	盛岡市				
			年度計				30.0	534	178					
H5	7月28日～29日	大雨洪水	311.5	112,727	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	夏期	異常低温・日照不足	141,252.0	102,690,977	別途対策事業を実施									
H6	6月17日	降雹	112.8	105,419	レタス	病害虫防除	24.8	521	173	岩手町、一戸町				
						改植・代作	11.6	4,593	1,531	岩手町、一戸町				
						計	36.4	5,114	1,704	2町				
	7月～8月	高温乾燥・少雨	49,533.0	4,372,730	レタス	改植・代作	27.8	14,695	4,894	岩手町、遠野市、一戸町				
					だいこん	改植・代作	10.0	1,249	416	岩手町				
					キャベツ	改植・代作	5.0	1,874	624	一戸町				
					はくさい	改植・代作	2.0	626	208	一戸町				
					さといも	改植・代作	23.0	14,924	4,974	北上市				
					牧草	改植・代作	20.0	694	197	金ヶ崎町				
						計	87.8	34,062	11,313	5市町村				
9月30日	台風26号	2,824.4	155,193	農作物災害復旧対策事業は実施せず										
			年度計				124.2	39,176	13,017					
H7	8月2日～7日	大雨洪水	2,784.9	1,338,377	水稲	病害虫防除	1,295.0	15,214	5,056	一関市等4市町村				
	11月7日～9日	暴風雪	1,010.0	293,169	りんご	病害虫防除	23.0	464	154	大東町				
						改植	7.3	6,825	2,272	盛岡市、紫波町、石鳥谷町				
										小計	30.3	7,289	2,426	4市町村
					ぶどう	改植	23.0	8,580	2,764	紫波町、石鳥谷町、大迫町				
	ぶどう棚復旧	37.1	53,069	17,688		紫波町、石鳥谷町、大迫町								
						小計	60.1	61,649	20,452	3市町村				
					計	90.4	68,938	22,878	5市町村					
			年度計				1,385.4	84,152	27,934					
H10	5月11日	凍霜害	158.7	142,760	ぶどう	薬剤散布	51.5	3,491	1,163	紫波町、大迫町				
						雨よけ被覆	6.9	30,101	10,033	紫波町、大迫町				
						改植	1,949本	3,306	1,102	紫波町、大迫町				
						計	58.4	36,898	12,298	2町				
	8月26日～9月1日	大雨洪水	2,821.7	1,261,302	水稲	病害虫防除	1,719.8	17,048	5,679					
9月15日～16日	台風5号	850.5	235,454	りんご	病害虫防除	42.6	2,057	685	藤沢町、田野畑村					
					引き起こし	4.6	2,725	908	藤沢町、田野畑村					
									計	47.2	4,782	1,593	2町村	
			年度計				1,825.4	58,728	19,570					
H11	7月12日～14日	大雨	705.0	115,411	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	7月下旬～8月中旬	高温乾燥	5,988.1	552,407	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
	10月27日～28日	大雨	920.5	217,022	りんどう	改植	0.6	4,365	1,455	軽米町、九戸村				
					スプレーギク	改植	0.1	601	200	九戸村				
					計	0.7	4,966	1,655	2町村					
			年度計				0.7	4,966	1,655					
H12	7月4日	降雹	180.1	100,900	葉たばこ	代作	1.5	1,898	632	宮守村				
	7月8日～9日	台風3号	3,061.8	545,492	農作物災害復旧対策事業は実施せず									
			年度計				1.5	1,898	632					
H13	4月下旬	凍霜害	1,959.7	1,883,809	キャベツ	改植	8.8	3,129	1,042	岩手町、西根町				
						病害虫防除	613.2	43,202	14,388	二戸市等13市町村				
					りんご	代作	0.9	1,164	387	二戸市				
						花粉購入	7.8	157	51	滝沢村、江刺市、軽米町				
						小計	621.9	44,523	14,826	13市町村				
	おうとう	病害虫防除	9.2	1,304	434	二戸市、一戸町								
	西洋なし	病害虫防除	57.5	4,517	1,503	紫波町等4市町村								
					計	697.4	53,473	17,805	14市町村					
8月30日～31日	大雨洪水	1,615.6	173,156	農作物災害復旧対策事業は実施せず										
			年度計				697.4	53,473	17,805					
H14	7月10日～11日	台風6号	7,274.9	1,381,338	きゅうり	緊急薬剤散布	1.03	19	6	北上市				
						播き直し	0.07	134	45	北上市				
					ごぼう	代作(キャベツ)	0.6	450	150	北上市				
					スイートコーン	代作(キャベツ)	0.87	648	216	北上市				
					水稲	緊急薬剤散布	314.7	4,160	1,385	川崎村、藤沢町、東山町				
						計	317.27	5,411	1,802					
	8月	長雨・日照不足	1,467.5	686,136	レタス	緊急薬剤散布	164.0	9,871	3,290	一戸町、岩手町				
					キャベツ	緊急薬剤散布	33.0	791	263	一戸町、岩手町				
					だいこん	緊急薬剤散布	28.18	1,285	428	川井村				
										計	225.18	11,947	3,981	
									年度計	542.45	17,358	5,783		
H15	6月下旬以降	低温・日照不足	95,685.6	32,906,921	水稲	緊急薬剤散布	1,889.4	10,889	3,625	滝沢村等6市町村				
						代作	10.9	7,928	2,637	雫石町等6市町村				
										計	1,900.3	18,817	6,262	
			年度計				1,900.3	18,817	6,262					

年度	農作物被害状況				農作物災害復旧対策事業実施状況						
	月 日	被害の内容	被害面積 (ha)	被害金額 (千円)	対象作物	対策の内容	対象面積 (ha)	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	備 考	
H16	4月下旬～5月上旬	凍霜害	532.6	115,327	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月20日	台風15号	1,758.8	392,461	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	8月31日	台風16号	1,042.4	209,739	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月30日	台風21号	522.7	100,785	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	9月～11月	降雨による品質低下	3,018.6	363,914	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H17	4月以降	豪雪	970.0	562,000	水稲	生育回復	6.5	1,391	463	沢内村	
					りんどう	生育回復	17.5	826	275	沢内村	
	年度計							24.0	2,217	738	
H18	6月22日	降雹	68.7	192,883	りんご	緊急薬剤散布	35.0	3,282	1,094	北上市、奥州市(江刺区)	
						生育回復対策	35.0	388	129	北上市、奥州市(江刺区)	
	年度計							70.0	3,670	1,223	
H19	10月6～8日	大雨暴風	1,402.9	264,620	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
	年度計							70.0	3,670	1,223	
	6月6～8日	降雹	108.7	127,976	りんご	緊急薬剤散布	29.3	584	194	三戸市	
						生育回復対策	29.3	269	89	三戸市	
						おうとう	緊急薬剤散布	2.5	363	121	三戸市
9月17～20日	大雨・洪水	2,975.0	620,553	りんどう	改植	1.0	3,601	1,200	八幡平市、奥州市衣川区		
					大豆	代作	76.8	8,263	2,750	一関市、平泉町	
					飼料用稲	代替粗飼料確保	28.2	8,958	2,984	一関市、平泉町	
年度計							106.0	20,822	6,934		
年度計							169.6	22,141	7,372		
H20	4～5月	低温	186.1	110,481	りんご	緊急薬剤散布	20.5	857	285	軽米町	
						生育回復対策	20.5	1,405	468	軽米町	
	加工もも	生育回復対策	16.5	986	329	軽米町					
年度計							57.5	3,248	1,082		
H21	7月10日、13日	強風	134.2	113,632	ホップ	緊急薬剤散布	30.0	1,003	334	遠野市	
						生育回復対策	30.0	456	152	遠野市	
	年度計							60.0	1,459	486	
	10月8日	台風18号	1,114.33	387,157	りんご	改植	0.279	1,494	498	江刺市	
						緊急薬剤散布	29.79	669	223	江刺市	
年度計							30.069	2,163	721		
年度計							90.069	3,622	1,207		
H22	7月8日、17～25日	降雹・大雨	273.0	197,391	キャベツ	緊急薬剤散布	5.85	289	96	岩手町	
						まき直し	6.00	2,038	679	岩手町	
						改植	4.00	2,335	778	岩手町	
						大根	改植(大根)	4.47	1,014	337	岩手町
	7月から8月	暑熱	630.9	498,018	ほうれんそう	まき直し	6.89	1,563	520	岩手町	
計						27.21	7,239	2,410			
年度計							15.80	2,921	950	岩手町	
年度計							43.01	10,160	3,360		
H23	9月21～22日	台風15号	2,174.0	417,985	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		
H24	6月4日、6日	降雹	60.0	150,454	りんご	緊急薬剤散布	50.0	1,713	571	一関市	
						生育回復対策	45.5	701	234	一関市	
	年度計							95.5	2,414	805	
H25	6月8日から8月9日	大雨・洪水	2,589.9	723,914	果菜・葉菜	播き直し等	25.4	8,274	2,758	盛岡市他3町	
						花き	播き直し等	3.6	13,621	4,540	雫石町他2町
						菌茸	菌床の更新	90.1	1,174	391	雫石町
						畜産	代替粗飼料の購入	40.6	12,786	4,262	雫石町他2町
	年度計							159.8	35,855	11,952	
年度計							159.8	35,855	14,765		
H27	10月1日から2日	大雨・暴風	227.3	123,923	農作物災害復旧対策事業は実施せず						
年度計							0.0	0	0		

1億円以上の被害額となった災害：57災害（S61～H26）
うち農作物災害復旧対策事業を実施した災害：40災害

平成元年以降の農林水産業気象災害

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
元	1月24日～27日にかけての波浪災害													37,430	37,430	37,430
	2月26日大雪災害		4,395		4,395						15,300				15,300	19,695
	3月21日～22日にかけての波浪災害									200	8,180	12,355	390,918	26,888	438,541	438,541
	4月8日～9日及び11日～12日にかけての大雨等災害	1,001	129	265,000	266,130	104,484			104,484							370,614
	5月14日～15日にかけての強風災害	650			650											650
	5月15日の降雹災害	9,110			9,110											9,110
	6月3日の降雹災害	3,434			3,434											3,434
	6月10日～11日にかけての降雹災害	240,701			240,701											240,701
	7月～8月にかけての少雨による被害	468,709			468,709											468,709
	8月15日～16日にかけての台風14号による波浪災害										11,250				11,250	11,250
	8月27日～28日にかけての台風17号による大雨洪水等災害	56,414	7,172	607,000	670,586	19,498			19,498		2,630		800		3,430	693,514
	8月下旬～9月下旬にかけての長雨による被害	401,839			401,839	80,000			80,000							481,839
	9月4日～5日にかけての大雨災害					3,883			3,883							3,883
	9月5日～8日にかけての大雨洪水等災害	26,013		665,000	691,013	50,000			50,000							741,013
	9月9日～10日にかけての大雨洪水災害			41,000	41,000	1,379			1,379							42,379
11月2日の地震、波浪災害			131,000	131,000						1,300	40	3,175		4,515	135,515	
12月15日～16日にかけての波浪災害										1,730				1,730	1,730	
2	4月8日～9日にかけての強風災害		8,559		8,559											8,559
	4月15日～16日にかけての降雪災害	278	5,647		5,925											5,925
	4月22日～23日にかけての大雨洪水災害	5,194		587,000	592,194	108,404			108,404				300		300	700,898
	5月25日の凍霜災害	80,209			80,209											80,209
	6月21日～22日にかけての豪雨災害			20,000	20,000											20,000
	6月26日～28日にかけての豪雨災害	2,145		263,000	265,145											265,145
	7月4日～5日にかけての豪雨災害			21,000	21,000											21,000
	7月17日～19日にかけての大雨洪水災害	23,117		312,000	335,117	30,157		1,799	31,956							367,073
	7月24日の降雹等災害	276,326	550	18,000	294,876											294,876
	7月25日～26日にかけての豪雨災害			59,000	59,000											59,000
	8月10日～11日にかけての台風11号による大雨等災害	14,003	3,119	111,000	128,122	18,186			18,186	18,820					18,820	165,128
	8月16日～18日にかけての豪雨災害			327,000	327,000											327,000
	8月26日の降雹等災害	277,266	5,812		283,078											283,078
	9月3日の豪雨災害			39,000	39,000											39,000
	9月11日～12日にかけての豪雨災害			121,000	121,000											121,000
	9月19日～20日にかけての台風19号による大雨等災害	671,624	1,568	2,930,000	3,603,192	400,461		100,320	500,781	22,080	65,428	8,400	13,095		109,003	4,212,976
	10月24日の波浪災害									3,080	146,031	3,300	7,320		159,731	159,731
	10月26日～27日にかけての大雨等災害	20,209		905,000	925,209	295,380		26,402	321,782							1,246,991
	11月4日～5日にかけての大雨洪水等災害	99,507	13,332	3,747,000	3,859,839	1,794,597	6,172	381,635	2,182,404	10,518	134,530	43,174	187,116	720,267	1,095,605	7,137,848
	11月11日～12日にかけての強風災害	13,994			13,994											13,994
11月30日～12月1日にかけての台風28号から変わった温帯低気圧による大雨等災害		4,404	3,000	7,404					3,820	31,940	18,435	84,744		138,939	146,343	
3	1月19日の波浪災害										2,600				2,600	2,600
	2月15日～17日にかけての低気圧災害	24,089	48,692	10,000	82,781			2,954,892	2,954,892	483,419	391,886	554,518	3,586,701	2,781,730	7,798,254	10,835,927
	2月28日～3月1日にかけての強風災害	8,437	21,105		29,542											29,542
	3月6日～7日にかけての強風災害		1,690		1,690											1,690

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
20	7月24日の岩手県沿岸北部を震源とする地震	1,810	29,203	65,000	96,013	25,061		419,086	444,147	10,662		100		7,750	18,512	558,672
	7月27日から29日の大雨災害	1,830		143,000	144,830	21,000			21,000							165,830
	8月21日から22日の大雨災害							90,745	90,745							90,745
	8月23日から25日の大雨災害			69,000	69,000											69,000
	8月28日から31日の大雨災害			241,000	241,000	1,506		162,800	164,306							405,306
	7月から8月の暑熱災害	14,903			14,903											14,903
	9月12日の大雨災害			6,000	6,000											6,000
	10月24日の大雨災害							101,019	101,019							101,019
	11月3日から8日の強風災害	64,860	2,511		67,371											67,371
	11月28日の強風災害		192		192											192
21	1月9日から11日にかけての低気圧接近による災害		4,221		4,221	3,300			3,300	200	4,905	4,536	18,380	20,583	48,604	56,125
	1月30日から31日にかけての暴風雪災害		763		763					270		300			570	1,333
	2月7日の強風災害		105		105											105
	2月14日の強風災害	7	9,803		9,810											9,810
	2月20日から21日にかけての暴風雪災害		2,842		2,842											2,842
	3月7日の強風災害		696		696											696
	3月10日の強風災害		774		774											774
	3月23日の強風災害		882		882											882
	3月30日の融雪災害					6,500			6,500							6,500
	4月21日から22日にかけての大雨災害					4,900			4,900							4,900
	4月23日の強風災害		28		28											28
	4月25日から26日にかけての強風、波浪災害										4,407	4,660		700	9,767	9,767
	4月25日から27日にかけての大雨災害			10,000	10,000			224	224							10,224
	4月から5月にかけての降雪災害	16,199			16,199											16,199
	5月17日から18日にかけての強風災害		5,064		5,064						800	50			850	5,914
	6月5日から7日にかけての大雨災害			1,000	1,000	18,305			18,305					1,500	1,500	20,805
	7月10日から13日にかけての強風災害	111,054	10,355		121,409											121,409
	7月19日の大雨災害			8,000	8,000	75,800			75,800							83,800
	7月26日の大雨災害			2,000	2,000											2,000
	8月31日から9月2日にかけての台風11号による災害		79		79			40,000	40,000							40,079
10月8日から9日にかけての台風18号による災害	387,157	59,641	117,000	563,798	35,233		321,811	357,044	3,701	703,880	1,460	642	37,020	746,703	1,667,545	
11月15日の強風災害		440		440											440	
12月7日の強風災害		327		327											327	
22	1月1日から2日にかけての暴風雪、波浪災害	29	1,081		1,110						100				100	1,210
	1月13日の大雪災害		17,760		17,760											17,760
	2月28日の津波災害									1,800		656,379	1,157,146		1,815,325	1,815,325
	3月10日から11日にかけての大雪災害	805	72,867		73,672			200	200		900				900	74,772
	3月13日から14日にかけての強風災害		739		739											739
	3月21日の強風災害	83	4,638		4,721											4,721
	4月13日から14日にかけての強風災害	97	7,613		7,710											7,710
	4月21日から25日にかけての強風災害		320		320											320
	4月28日から29日にかけての大雨災害			2,000	2,000	16,152		41,180	57,332	1,200	1,100			5,020	7,320	66,652
	5月24日から25日にかけての大雨災害					14,700		2,000	16,700							16,700

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
23	9月4日の台風12号による災害		100		100											100
	9月21日から22日にかけての台風15号による災害	429,985	19,527	1,278,000	1,727,512	318,994	2,300	663,962	985,256	10,281	175,630		15,315	12,700	213,926	2,926,694
	12月3日から4日にかけての強風、波浪災害	831	29,858		30,689						500				500	31,189
24	1月29日の波浪災害										3,950			391,010	394,960	394,960
	3月12日の大雪災害	24	25,039		25,063											25,063
	4月3日から4日の暴風・波浪災害	1,672	279,838		281,510	17,946	1,360	859	20,165	3,400	14,150	35,734	50,880	1,197	105,361	407,036
	5月3日から4日の大雨災害	477	30	132,000	132,507	206,060		70,650	276,710		1,102	37,937	234,480	4,900	278,419	687,636
	5月6日の降雹災害	4,329	131		4,460											4,460
	5月11日から12日の波浪災害										1,000				1,000	1,000
	5月28日の降雹災害	2,102			2,102											2,102
	6月4日の降雹災害	144,684		9,000	153,684											153,684
	6月6日の降雹災害	5,770			5,770											5,770
	6月7日の波浪災害										2,200				2,200	2,200
	6月20日の台風4号災害	4,932	340		5,272						600				600	5,872
	7月16日の大雨災害			15,000	15,000											15,000
	9月4日の大雨災害			5,000	5,000											5,000
	9月25日の降雹災害	15,272			15,272											15,272
	7月から9月の暑熱・少雨災害	102,808			102,808											102,808
	10月1日の台風17号災害	1,668	120	15,000	16,788	64,000		18	64,018		1,130				1,130	81,936
11月26日から27日の強風災害	5,024	2,987		8,011											8,011	
12月4日の大雨・降雹・波浪災害	788	50		838			40,000	40,000		1,000				1,000	41,838	
25	1月25日から26日の大雪災害		1,500		1,500											1,500
	3月2日の暴風雪災害		1,786		1,786											1,786
	3月10日の暴風雪災害		20,959		20,959											20,959
	4月6日から8日の暴風雨災害	53	18,444		18,497	17,900			17,900	10,420	17,730	8,100	77,802	93,880	207,932	244,329
	5月8日の低温被害	925			925											925
	6月7日の降雹被害	499			499											499
	6月14日の少雨高温被害	28,924			28,924											28,924
	6月25日の降雹災害	20,286			20,286											20,286
	7月15日の大雨災害	25,170		42,000	67,170											67,170
	7月26日から28日の大雨・洪水災害	108,705	6,480	1,969,000	2,084,185	297,118	2,126	486,617	785,861		150			3,500	3,650	2,873,696
	8月9日の大雨洪水災害	597,212	12,642	5,298,000	5,907,854	763,328	2,600	2,273,533	3,039,461							8,947,315
	9月16日の台風18号災害	337,329	119,808	2,785,000	3,242,137	184,350		253,916	438,266	40,100	2,130	100	17,450	100	59,880	3,740,283
	10月16日の台風26号災害	309,785	71,840	48,000	429,625	12,821			12,821	15,940	506,727	7,334	125,312	826,630	1,481,943	1,924,389
	10月26日から27日の大雨災害													350	350	350
11月7日の強風災害	4,326	200		4,526											4,526	
12月15日の強風災害		100		100											100	
12月20日から21日の暴風雪災害										19,370	1,570		500	21,440	21,440	
26	2月9日の大雪・波浪災害	3,181	166,223		169,404											169,404
	2月15日から16日の大雪・暴風雪・波浪災害	5,316	1,425,105		1,430,421	29,743		8,592	38,335	840	2,310	6,201	265,051	180,300	454,702	1,923,458
	3月20日から21日の大雪・暴風雪・波浪災害	442	101,037		101,479			5,564	5,564		10,981				10,981	118,024
	3月30日の暴風雪災害		120		120						600	310	1,490		2,400	2,520

年	災 害 名	農畜産物	農業施設	農地・農業 用施設	農業 被害額計	林業施設	林産・特用 林産物	森 林	林業 被害額計	水産施設	漁船・漁具	養殖施設	水産物	漁港施設	水産業 被害額計	農林水産業 被害額計
26	4月3日チリ地震により発生した津波災害												7,000		7,000	7,000
	4月20日の降雹災害	10,379			10,379											10,379
	5月29日の降雹災害	11,713			11,713											11,713
	6月16日の降雹災害	7,158			7,158											7,158
	7月11日の台風8号大雨災害			5,000	5,000											5,000
	8月8日の大雨災害	52			52											52
	8月10日から11日の台風11号大雨災害	48,153	2,670	13,000	63,823	1,200			1,200		1,501				1,501	66,524
	8月15日の大雨災害	137		20,000	20,137			23,000	23,000							43,137
	8月22日の大雨・降雹災害	404	120	1,000	1,524											1,524
	9月12日の降雹災害	18,230	4,000		22,230											22,230
	10月6日の台風18号災害										1,000	50	1,705		2,755	2,755
	10月14日の台風19号災害	84,406	3,688	5,000	93,094	4,000		4,000	8,000		300	398	13,754		14,452	115,546
	10月17日の強風災害	48,569	1,347		49,916											49,916
	11月2日から3日の強風災害	6,385	20		6,405											6,405
	12月3日の降雪災害		25,993		25,993											25,993
12月17日の暴風雪災害		2,620		2,620						2,046				2,046	4,666	
27	1月7日の暴風雪災害		3,372		3,372						1,000				1,000	4,372
	2月13日の暴風雪災害	574	19,550		20,124											20,124
	3月9日から11日の大雨暴風雪災害	22	9,436	23,000	32,458	7,300			7,300		1,686			1,600	3,286	43,044
	5月13日の地震災害		500	9,000	9,500	1,400			1,400							10,900
	5月14日、17日の強風災害		342		342											342
	6月4日の強風災害	807			807											807
	6月6日の降雹災害	18,672			18,672											18,672
	6月14日の降雹災害	43,899			43,899											43,899
	6月16日の大雨・降雹災害	43,717		10,000	53,717											53,717
	6月20日の落雷災害			10,000	10,000											10,000
	6月27日から28日の大雨・波浪災害			2,000	2,000	31,500			31,500				46,300		46,300	79,800
	7月25日の大雨災害	2,889		24,000	26,889											26,889
	9月10日から11日の大雨災害	12,276	300	314,000	326,576	68,650		106,000	174,650	268	1,000				1,268	502,494
	9月18日の大雨災害	95			95											95
	4月～9月の暑熱災害	48,050			48,050											48,050
	10月1日から2日の大雨災害	123,923	4,024		127,947											127,947
	10月8日の台風23号災害	36,446	7,157		43,603					28,161	1,650	1,800	54,462	786,430	872,503	916,106
	11月27日の強風災害		160		160											160
11月の暑熱災害	690			690											690	